









一金員ノ計算ハ各項ニ於テ四拾五入シ圓ニ止ムヘシ  
 一備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ説明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

丙號表五 縣立師範學校公立學校及公立圖書館職員國庫納金、公費支出表

種別	縣納金		計	公費支出		退職給與金
	縣納金	納金		合計	合計	
縣立師範學校						
公立中學校						
公立高等女學校						
公立專門學校						
公立實業學校						
其他ノ公立學校						
公立圖書館						
合計						

丙號表五樣式說明

一本表ハ年度ニ屬スル納入並支出ニ就キ掲クヘシ  
 一國庫納金ノ部職員納金ノ欄ニハ府縣立師範學校長納金ハ記入ヲ要セス  
 一備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ説明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

○教育會又ハ教育品展覽會等開設届出ノ件

明治二十四年二月二十七日  
 大分縣訓令甲第八號

郡役所 町村役場  
 教育上ノ改良擴張ヲ企圖シ教育會又ハ教育品展覽會等ヲ開設スルモノアルトキハ其規約書ヲ具シ當廳ニ届出ツヘシ

○道廳府縣立諸學校備外國人傭入解傭等報告方

明治二十三年八月九日  
 文部省訓令第六號

北海道廳 府 縣  
 本年四月内閣訓令第四號ヲ以テ明治十六年太政官第三十二號達廢止相成候ニ付テハ自今道廳及府縣立諸學校備外國人ノ儀ハ傭入傭繼解傭共其時々當省へ報告スヘシ

(參照)

明治二十三年四月内閣訓令第四號

明治十六年太政官第三十二號達ヲ廢ス但外國人雇入並雇繼廢止ノ節ハ其時々内閣ニ報告スヘシ

○學事ニ關スル廳府縣令訓令申報方

明治十九年十一月十一日  
 文部省令第二十號

北海道廳 府 縣  
 學事ニ關スル廳府縣令訓令ハ其公布ノ都度文部省ニ申報スヘシ  
 但豫メ稟申シタル件ハ此限ニアラス

○高等教育會議規則

明治三十一年六月十七日  
 勅令 第百五號



(明治三十四年勅令第百八十一號同三十七年勅令第二百二十六號同三十九年勅令第四十九號同三十九年勅令第二百二十九號同四十二年勅令第二百二十二號改正)

一五八

- 第一條 高等教育會議ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス
- 第二條 高等教育會議ハ文部大臣ノ諮詢ニ應シテ左ノ事項ノ要領ヲ審議ス
  - 一 帝國大學及文部省直轄諸學校圖書館ノ設置廢止ニ關スル事項
  - 二 文部省直轄諸學校公立私立學校ノ教育ノ目的並ニ其ノ學科課程設備及管理ニ關スル事項
  - 三 學齡兒童ノ就學義務及小學校授業料ニ關スル事項
  - 四 學事監督ニ關スル事項
  - 五 教科用圖書ニ關スル事項
  - 六 文部省直轄諸學校並ニ公立私立學校職員ノ資格ニ關スル事項
  - 七 文部大臣ニ於テ必要ト認ムル事項
- 第三條 高等教育會議ハ教育ニ關スル事項ニ就キ各省大臣ニ建議スルコトヲ得
- 第四條 高等教育會議ハ左ノ議員ヲ以テ之ヲ組織ス
  - 一 學習院長、帝室博物館總長
  - 二 內務省地方局長
  - 三 陸軍及海軍教育主任將校各一人
  - 四 文部省各局長及視學官二人
  - 五 農商務省農務局長、商務局長及工務局長
  - 六 帝國大學總長、法科大學長一人、醫科大學長一人、工科大學長、文科大學長一人、理科大學長、農科大學長一人、理工科大學長

- 七 高等師範學校校長一人、女子高等師範學校校長一人、高等農林學校校長一人、高等商業學校校長一人、高等工業學校校長及高等工藝學校校長ノ中一人、高等學校長一人、醫學專門學校長一人、東京外國語學校長、東京美術學校長、東京音樂學校長
  - 八 帝國圖書館長
  - 九 高等師範學校附屬中學校主事一人、女子高等師範學校附屬高等女學校主事一人
  - 十 商船學校長
  - 十一 教育事務ヲ擔任スル道廳府縣事務官二人
  - 十二 師範學校長二人
  - 十三 公立中學校長二人
  - 十四 公立高等女學校長一人
  - 十五 公立實業學校長三人
  - 十六 私立學校長四人
  - 十七 帝國學士院長、帝國學士院部長
  - 十八 學識アル者又ハ教育事業ニ閱歷アル者七人以内
- 此ノ他臨時ノ須要ニ應シ臨時議員若干人ヲ置クコトヲ得
- 職務上當然議員タル者ヲ除ク外議員及臨時議員ハ文部大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス但シ第一項第十二乃至第十四ノ議員ハ當該各學校長ニ於テ二倍ノ數ヲ互選セシメ其ノ中ニ就キ文部大臣奏請シ内閣ニ於テ之ヲ命ス
- 第五條 文部大臣ハ必要ニ依リ前條ノ外部下高等官ヲ高等教育會議ニ臨時出席セシムルコトヲ得但シ







第七條 師範學校長公立中學校長及公立高等女學校長互選人名ハ第二條ノ告示ノ日ノ現在ニ依リ確定シ五日以内ニ之ヲ告示ス

第八條 投票ハ嚴封シテ選舉管理者ニ宛テ開票ノ一時間前マテニ到達スル様郵便ヲ以テ之ヲ送スヘシ其時ヲ過キテ到達シタルモノハ無効トス

第九條 投票ハ選舉管理者ニ於テ其到達ノ期日ヲ帳簿ニ記載シ直ニ投票函ニ收メ選舉ノ期日マテ嚴ニ保管スヘシ

第十條 投票ノ開票點檢ハ選舉期日ノ午前十時ヨリ高等教育會議幹事立會ノ上選舉管理者之ヲ行フ

第十一條 左ニ掲クル投票ハ無効トス  
一 成規ノ投票用紙ヲ用ヒサルモノ  
二 投票書式ニ反シタルモノ  
三 汚染塗抹毀損等ニ依リ記載スル所ノ選舉者若クハ被選者ノ氏名ヲ認知スヘカラサルモノ

第十二條 投票ニ記載シタル被選者ノ氏名ニシテ定員ヨリ多キトキハ定員ニ超エタル氏名ヲ末尾ヨリ除却スヘク又定員ヨリ少キトキハ現ニ記載シタル者ノミヲ計算スヘシ

第十三條 投票ノ總數ヲ得タル者ハ之ヲ當選者トス  
投票同數ナルトキハ當該官職任命ノ日ノ早キ者ヲ當選者ト定ム其日同一ナルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 高等教育會議規則第四條第一項第十二乃至第十四ノ議員ニ缺員ヲ生シタル場合ニハ此規則ニ依リ補缺選舉ヲ行フ

○文部省視學官及文部省視學委員職務規程 明治四十一年九月十日 文部大臣訓令

第一條 文部省視學官學事視察ノ爲全國ヲ左ノ七地方部ニ分割ス

- 第一地方部 東京府 神奈川縣 埼玉縣 千葉縣 茨城縣 山梨縣
- 第二地方部 新潟縣 群馬縣 長野縣 福島縣
- 第三地方部 北海道 宮城縣 巖手縣 青森縣 山形縣 秋田縣
- 第四地方部 三重縣 愛知縣 靜岡縣 滋賀縣 岐阜縣 福井縣
- 第五地方部 石川縣 富山縣
- 第五地方部 京都府 大坂府 兵庫縣 奈良縣 和歌山縣 德島縣
- 第六地方部 高知縣
- 第六地方部 鳥取縣 島根縣 岡山縣 廣島縣 山口縣 香川縣
- 愛媛縣
- 第七地方部 長崎縣 福岡縣 大分縣 佐賀縣 熊本縣 宮崎縣



鹿兒島縣 沖繩縣

第二條 文部省視學官ノ内七名ハ前條各一地方部内ノ學事視察ヲ擔任ス

地方部ヲ擔任スル文部省視學官ハ主トシテ其内部ノ普通教育及甲種程度以下ノ實業教育ヲ視察スヘシ

第三條 地方部ヲ擔任スル文部省視學官ノ視察ハ分テ定期及臨時ノ二種トス

定期視察ハ毎年左ノ時期ニ於テ之ヲ行フモノトス

一 一月中旬ヨリ三月上旬迄ノ期間ニ於テ凡五十日間

二 四月中旬ヨリ六月上旬迄ノ期間ニ於テ凡五十日間

三 九月下旬ヨリ十二月中旬迄ノ期間ニ於テ凡五十日間

臨時視察ハ特命ニ依リ之ヲ行フモノトス

第四條 地方部ヲ擔任セサル文部省視學官ハ全國ヲ通シテ專門教育及實業教育ヲ視察シ又ハ特命ニ依リ學事視察ニ從事スヘシ

第五條 文部省視學官ノ視察スヘキ事項ノ概目左ノ如シ

- 一 教育行政ノ狀況
- 二 學校教育ノ狀況
- 三 學校衛生ノ狀況
- 四 學校經濟ノ狀況
- 五 學事關係職員職務ノ狀況
- 六 教育學藝ニ關スル諸施設ノ狀況

七 其他特ニ指命ヲ受ケタル事項

第六條 文部省視學官視察中緊急處理ヲ要スト認メタル事項アルトキハ直ニ文部大臣ニ具申スヘシ

第七條 文部省視學官ハ視察中左記ノ事項ニ就キ關係者ニ意見ヲ陳述スルコトヲ得

- 一 法令ニ牴觸シタル事項
  - 二 省議ノ決定シタル事項
  - 三 教授方法ニ關スル事項
  - 四 其他特ニ指命ヲ受ケタル事項
- 第八條 文部省視學官視察上必要ト認メタルトキハ日課ヲ變更シテ教授ヲナサシメ又ハ生徒兒童ノ學力ヲ試驗スルコトヲ得
- 第九條 文部省視學官視察ヲ終リタルトキハ直ニ口頭ヲ以テ大要ヲ文部大臣ニ復命シ更ニ一箇月以内ニ復命書ヲ提出スヘシ
- 第十條 文部省視學官ハ省内ニ在リテハ其ノ擔任スル地方部又ハ學校ニ關シ各局ノ事務ヲ助ケ
- 第十一條 文部省視學官ハ文部大臣ノ命ヲ承ケ各局ニ屬シ其ノ事務ヲ助ケ又ハ臨時諸般ノ調査ニ從事スルコトアルヘシ
- 第十二條 文部省視學官ハ文部大臣ノ命ヲ承ケ主トシテ特ニ指示セラレタル學事ヲ視察ス
- 第六條乃至第八條ノ規定ハ文部省視學委員ニ關シ之ヲ準用ス

○郡視學視察規程

明治卅三年三月廿七日  
大分縣訓令第九號



郡役所 町村役場 小學校

第一條 郡視學ハ郡長ノ指揮命令ヲ受ケ毎年少クトモ二回以上其郡内ニ於ケル町村ノ學事ヲ視察スヘシ

第二條 郡視學視察ノ要項左ノ如シ

- 一 御眞影並 勅語謄本奉置ニ關スル事項
- 二 教育ニ關スル 勅語ノ主旨ノ實際ニ行ハル、情況
- 三 學事法令實施ノ情況
- 四 小學校設置區域校數位置ノ適合及兒童通學ノ便否ニ關スル事項
- 五 町村學校組合及兒童教育事務委託ニ關スル事項
- 六 學齡兒童就學及出席ノ情況
- 七 小學校設備ニ關スル事項
- 八 小學校ノ教授管理及訓練ニ關スル事項
- 九 小學校學級ノ編制教員ノ配置及學科課程ニ關スル事項
- 十 學事表簿ノ整理ニ關スル事項
- 十一 小學生徒ノ成績及風儀ニ關スル事項
- 十二 小學校衛生ニ關スル事項
- 十三 町村吏員ノ教育事務整理ニ關スル事項
- 十四 小學校長及教員ノ品行學力及服務ニ關スル事項
- 十五 學事集會ノ情況

十六 小學校經費ニ關スル事項

十七 小學校授業料ノ徵收及免除等ニ關スル事項

十八 小學校基本財産蓄積ノ方法及實施ノ情況

十九 以上ノ外學事上必要ナル事項

第三條 郡視學ハ視察ノ際左ニ列記スル事項ニ關シ當事者ニ指示スルコトヲ得

一 法令ノ明文ニ牴觸セル事項

二 教授管理及訓練ニ關スル事項

三 以上ノ外特ニ郡長ノ指令ヲ受ケタル事項

第四條 郡視學ハ學校及町村役場ノ帳簿ヲ査閱スルコトヲ得

第五條 郡視學ハ學校視察ノ際授業時間ヲ變更セシメ時間外ニ授業ヲナサシメ又ハ授業ヲ休止セシムルコトヲ得

第六條 郡視學ハ學校視察ノ際必要アル場合ハ自ラ授業ヲナシ又ハ生徒ノ學業等ヲ試驗スルコトヲ得

第七條 郡視學ハ學校視察ノ際町村學事關係者ノ參席ヲ求ムルコトヲ得

第八條 郡視學ハ必要アル場合ハ郡長ノ指揮ヲ受ケ郡内學事關係者ヲ召集シ又ハ郡内ニ於ケル學事ニ

關スル集會ニ臨席シテ意見ヲ述フルコトヲ得

第九條 郡視學ハ巡視毎ニ其ノ情況ヲ具シ意見ヲ付シテ郡長ニ復命スヘシ



### 第三編 普通教育

#### 第一章 小學校幼稚園及盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校

##### ○小學校令

明治三十三年八月十八日  
勅令第三百四十四號

##### 第一章 總則

第一條 小學校ハ兒童身體ノ發達ニ留意シテ道德教育及國民教育ノ基礎並其ノ生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授クルヲ以テ本旨トス

第二條 小學校ハ之ヲ分チテ尋常小學校及高等小學校トス

尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ一校ニ併置スルモノヲ尋常高等小學校トス  
市町村、町村學校組合又ハ其ノ區ノ負擔ヲ以テ設置スルモノヲ市町村立小學校トシ私人ノ費用ヲ以テ設置スルモノヲ私立小學校トス

第三條 尋常高等小學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分ニ對シテハ尋常小學校ノ規定ヲ準用シ高等小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分ニ對シテハ高等小學校ノ規定ヲ準用ス但シ文部大臣ニ於テ別段ノ規定ヲ設ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 町村組合ニシテ其ノ町村一切ノ事務ヲ共同處分スルモノハ之ヲ一町村ト同視ス

第五條 幼稚園、盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校ノ規定ニ關シテハ本令中別段ノ規定アルモノヲ除クノ外文部大臣之ヲ定ム

##### 第二章 設置



第六條 市町村ハ其ノ區域内ノ學齡兒童ヲ就學セシムルニ足ルヘキ尋常小學校ヲ設置スヘシ

第七條 郡長ハ一町村ノ資力尋常小學校設置ニ關スル費用ノ負擔ニ堪ヘスト認メタルトキハ其ノ町村ヲシテ尋常小學校設置ノ爲他ノ町村ト學校組合ヲ設ケシムヘシ

第八條 郡長ハ一町村ニ於テ就學セシムヘキ兒童ノ數一尋常小學校ヲ構成スルニ足ラスト認メタルトキ又ハ適度ノ通學路程内ニ於テ一尋常小學校ヲ構成スルニ足ルヘキ數ヲ得ルコト能ハスト認メタルトキハ左ノ例ニ依ルヘシ

一 其ノ町村ヲシテ尋常小學校設置ノ爲他ノ町村ト學校組合ヲ設ケシムルコト  
二 其ノ町村ヲシテ就學セシムヘキ兒童ノ全部若クハ一部ノ教育事務ヲ他町村、町村學校組合又ハ其ノ區ニ委託セシムルコト

郡長ハ町村ノ一部ニシテ前項ノ事情アルモノハ其ノ町村ノ尋常小學校ニ對シ適度ノ通學路程内ニ在ラスト認メタルトキハ亦前項ノ例ニ依ルヘシ  
郡長ハ町村學校組合ノ一部ニシテ前項ニ準スヘキ事情アリト認メタルトキハ第一項第二號ノ例ニ準スヘシ

第九條 市立尋常小學校ノ校數並位置ハ府縣知事ニ於テ市ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ムヘシ

町村立尋常小學校ノ校數並位置ハ郡長ニ於テ町村又ハ町村學校組合ノ意見ヲ聞キ之ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十條 第七條又ハ第八條ニ依リ郡長ニ於テ町村學校組合ヲ設ケシメ若ハ其ノ組合ヲ解カシメムトスルトキハ關係町村ノ意見ヲ聞キ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第八條ニ依リ郡長ニ於テ兒童教育事務ヲ委託セシメ又ハ其ノ委託ヲ止メシメムトスルトキハ關係町

村、町村學校組合及區ノ意見ヲ聞キ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條 府縣知事ハ市ニ於テ設置スヘキ尋常小學校數校アルトキハ市内ノ一區若ハ數區ニ對シ又ハ市ヲ分割シテ數區ト爲シ其ノ一區若ハ數區ニ對シ小學校設置ニ關スル費用ノ負擔ノ爲其ノ使用スヘキ小學校ヲ指定スルコトヲ得此場合ニ於テ關係市及區ノ意見ヲ聞クヘシ其ノ之ヲ止メムトスルトキ亦同シ

郡長ハ町村若ハ町村學校組合ニ於テ設置スヘキ尋常小學校數校アルトキ、兒童教育事務ノ委託ヲ要スル場所數箇所アルトキ又ハ其ノ設置スヘキ尋常小學校ト兒童教育事務ノ委託ヲ要スル場所トアルトキハ町村内若ハ町村學校組合内ノ一區若ハ數區ニ對シ又ハ町村若ハ町村學校組合ヲ分割シテ數區ト爲シ其ノ一區若ハ數區ニ對シ小學校設置ニ關スル費用ノ負擔又ハ兒童教育事務委託ノ爲其ノ使用スヘキ小學校ヲ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ關係町村、町村學校組合及區ノ意見ヲ聞キ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ止メムトスルトキ亦同シ

第十二條 府縣知事ハ第七條及第八條第一項ノ事情アルモ同條及第五十三條並第五十四條ニ依ルコトヲ得スト認メタルトキハ其ノ町村ヲシテ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免レシムルコトヲ得

府縣知事ハ第八條第二項又ハ第三項ノ事情アルモ同項及第五十三條並第五十四條ニ依ルコトヲ得スト認メタルトキハ其ノ町村若ハ町村學校組合ヲシテ其ノ一部ニ關シテハ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免レシムルコトヲ得

第十三條 (明治四十年勅令第五十二號刪除)

第十四條 市町村ハ市町村又ハ其ノ區ノ負擔ヲ以テ高等小學校ヲ設置スルコトヲ得



町村ハ數町村ノ協議ニ依リ町村學校組合ヲ設ケ高等小學校ヲ設置スルコトヲ得  
前項ノ町村學校組合ヲ設ケ又ハ之ヲ解カムトスルトキハ郡長ノ認可ヲ受クヘシ  
郡長ハ前項ノ場合ニ於テハ府縣知事ノ指揮ヲ受クヘシ

第十五條 市町村立高等小學校ノ設置及廢止ハ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十六條 私立小學校ノ設置ハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受ケ其ノ廢止ハ之ヲ府縣知事ニ届出ツ  
ヘシ

第十七條 前三條ノ規定ハ幼稚園、盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校ニ關シ之ヲ準用ス  
幼稚園、盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校ハ之ヲ小學校ニ附設スルコトヲ得

第三章 教科及編制

第十八條 尋常小學校ノ修業年限ハ六箇年トス

高等小學校ノ修業年限ハ二箇年トス但シ延長シテ三箇年ト爲スコトヲ得(明治四十年勅令  
第五十二號改正)

第十九條 尋常小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、日本歴史、地理、理科、圖書、唱歌、體操トシ  
女子ノ爲ニハ裁縫ヲ加フ(同上)

土地ノ情況ニ依リ手工ヲ加フルコトヲ得(同上)

第二十條 高等小學校教科目ハ修身、國語、算術、日本歴史、地理、理科、圖書、唱歌、體操トシ女  
兒ノ爲ニハ裁縫ヲ加フ

前項教科目ノ外、手工、農業、商業ノ一科目又ハ數科目ヲ加フ其ノ數科目ヲ加ヘタル場合ニ於テハ  
兒童ニハ其ノ一科目ヲ課スルモノトス(明治四十四年勅令第  
二百二十六號改正)

第二十一條 小學校ニ補習科ヲ置クコトヲ得

補習科ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

第二十二條 小學校ノ教科目中兒童身體ノ情況ニ依リ學習スルコト能ハサル教科目ハ之ヲ其ノ兒童ニ  
課セサルコトヲ得

第二十三條 小學校ノ教科目ヲ加除シ又ハ第二十條第二項ノ教科目ヲ定メムトスルトキハ市町村立小  
學校ニ在リテハ管理者、私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ(明治四十年勅  
令第五十二號  
改正)

補習科ヲ設置シ若ハ之ヲ廢止シ又ハ高等小學校ノ修業年限ヲ延長セムトスルトキハ市町村立小學校  
ニ在リテハ市町村若ハ町村學校組合、私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘ  
シ(同上)

第二十四條 小學校ノ教科用圖書ハ文部省ニ於テ著作權ヲ有スルモノタルヘシ(明治三十六年勅令  
第七十二號改正)

前項ノ圖書同一ノ教科目ニ關シ數種アルトキハ其ノ中ニ就キ府縣知事之ヲ採定ス(同上)  
文部大臣ハ第一項ノ規定ニ拘ラス修身、日本歴史、地理ノ教科用圖書及國語讀本ヲ除キ其ノ他ノ教  
科用圖書ニ限リ文部省ニ於テ著作權ヲ有スルモノ及文部大臣ノ檢定シタルモノニ就キ府縣知事ヲシ  
テ之ヲ採定セシムルコトヲ得(同上)

補習科ノ教科用圖書ニ關シテハ文部大臣ノ定ムル所ニ依ル

第二十五條

第二十六條

第二十七條 小學校ノ休業日ハ日曜日ヲ除クノ外毎年九十日ヲ超ユルコトヲ得ス但シ補習科ハ此限ニ  
在ラス



特別ノ事情アルトキハ府縣知事ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ受ケ前項ノ日數ヲ増加スルコトヲ得  
傳染病豫防ノ爲必要アルトキ其ノ他非常變災アルトキハ監督官廳ニ於テ臨時小學校ノ閉鎖ヲ命スヘ  
シ其ノ急迫ノ事情アル場合ニ於テハ市町村立小學校ニ在リテハ管理者、私立小學校ニ在リテハ設立  
者ニ於テ之ヲ閉鎖スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ直ニ監督官廳ニ届出ツヘシ

第二十八條 小學校教則及小學校編制ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第四章 設備

第二十九條 小學校ニ於テハ校舍、校地、校具及體操場ヲ備フヘシ

第三十條 校舍、校地、校具及體操場ハ非常變災ノ場合ヲ除クノ外小學校ノ目的以外ニ之ヲ使用ス  
ルコトヲ得ス但シ己ムヲ得サル事情ニ依リ監督官廳ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十一條 小學校ノ設備ニ關スル規程ハ文部大臣ニ於テ定ムル準則ニ基キ府縣知事之ヲ定ム

第五章 就學

第三十二條 兒童滿六歲ニ達シタル翌日ヨリ滿十四歲ニ至ル八箇年ヲ以テ學齡トス(明治三十六年勅令  
第六十三號改正)  
學齡兒童ノ學齡ニ達シタル日以後ニ於ケル最初ノ學年ノ始ヲ以テ就學ノ始期トシ尋常小學校ノ教科  
ヲ修了シタルトキヲ以テ就學ノ終期トス(同上)

學齡兒童保護者ハ就學ノ始期ヨリ其ノ終期ニ至ル迄學齡兒童ヲ就學セシムルノ義務ヲ負フ  
學齡兒童保護者ト稱スルハ學齡兒童ニ對シ親權ヲ行フ者又ハ親權ヲ行フ者ナキトキハ其ノ後見人ヲ  
謂フ

第三十三條 學齡兒童瘋癲白痴又ハ不具癱疾ノ爲就學スルコト能ハスト認メタルトキハ市町村長ハ監  
督官廳ノ認可ヲ受ケ學齡兒童保護者ノ義務ヲ免除スルコトヲ得

學齡兒童病弱又ハ發育不完全ノ爲就學セシムヘキ時期ニ於テ就學スルコト能ハスト認メタルトキハ  
市町村長ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ其ノ就學ヲ猶豫スルコトヲ得

市町村長ニ於テ學齡兒童保護者貧窮ノ爲其ノ兒童ヲ就學セシムルコト能ハスト認メタルトキ亦前二  
項ニ準ス

第三十四條 第十二條ニ依リ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免セラレタル  
區域内ノ學齡兒童保護者ハ其ノ義務ヲ免除セラレタルモノトス

第三十五條 尋常小學校ノ教科ヲ修了セサル學齡兒童ヲ雇傭スル者ハ其ノ雇傭ニ依リテ兒童ノ就學ヲ  
妨クルコトヲ得ス

第三十六條 學齡兒童保護者ハ就學セシムヘキ兒童ヲ市町村立小學校ニ入學セシムヘシ但シ市町村長  
ノ認可ヲ受ケ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メシムルヲ得(明治四十年勅令  
第五十二號改正)  
官立又ハ府縣立學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分ハ兒童就學ニ關シテハ市町村立尋常小  
學校ト同視ス

第三十七條 兒童ノ年齡就學ノ始期ニ達セサル者ハ之ヲ小學校ニ入學セシムルコトヲ得ス

第三十八條 小學校長ハ傳染病ニ罹リ若ハ其ノ慮アル兒童又ハ性行不良ニシテ他ノ兒童ノ教育ニ妨ア  
リト認メタル兒童ノ小學校ニ出席スルヲ停止スルコトヲ得

第六章 職員

第三十九條 小學校ノ教科ヲ教授スル者ヲ本科正教員トシ其ノ教科目中國畫、唱歌、體操、裁縫、農  
業、商業又ハ手工ノ一科目若ハ數科目ヲ限リ教授スル者ヲ專科正教員トス  
本科正教員ヲ補助スル者ヲ准教員トス(明治四十四年勅令  
第二百十六號改正)



第四十條 小學校教員タルヘキ者ハ免許狀ヲ受クヘシ

免許狀ハ普通免許狀及府縣免許狀ノ二種トス

普通免許狀ハ文部大臣之ヲ授與シ全國ニ通シテ有效トス

府縣免許狀ハ府縣知事之ヲ授與シ其ノ府縣限リ有效トス

第四十一條 府縣免許狀ヲ受クルニハ師範學校若ハ文部大臣ノ指定シタル學校ヲ卒業シ又ハ小學校教員ノ檢定ニ合格スルコトヲ要ス

前項ノ檢定ヲ施行スルカ爲府縣ニ小學校教員檢定委員會ヲ置ク

免許狀及小學校教員檢定委員會ノ組織權限其ノ他檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第四十二條 特別ノ事情アルトキハ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ小學校准教員ニ代用スルコトヲ得代用教員ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第四十三條 市町村立小學校長ハ其ノ學校ノ本科正教員ヲシテ之ヲ兼ネシムヘシ

第四十四條 市立小學校長及教員ノ任用ハ市長ノ申請ニ依リ町村立小學校長及教員ノ任用ハ郡長ノ申請ニ依リ府縣知事之ヲ行フ

市町村立小學校長及教員ノ解職ハ府縣知事之ヲ行フ

第四十五條 市町村立小學校教員ノ俸給旅費其ノ他諸給與並其ノ支給方法ハ文部大臣ニ於テ定ムル準則ニ基キ府縣知事之ヲ定ム

第四十六條 小學校長及教員ノ進退、職務及服務ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第四十七條 小學校長及教員ハ教育上必要ト認メタルトキハ兒童ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得但シ體罰ヲ加フルコトヲ得ス

第四十八條 市町村立小學校長及教員職務上ノ義務ニ違背シ若ハ職務ヲ怠リタルトキ又ハ職務ノ内外ヲ問ハス體面ヲ汚辱スルノ所爲アリタルトキハ府縣知事ニ於テ懲戒處分ヲ行フ其ノ處分ハ譴責、減俸及免職トス

私立小學校長及教員ニシテ前項ニ準スヘキ所爲アリタルトキハ府縣知事ハ其ノ業務ヲ停止ス

第四十九條 小學校教員免許狀ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ免許狀ハ其ノ効力ヲ失フ

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

二 信用若ハ風俗ヲ害スルノ罪ヲ犯シテ罰金ノ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付セラレタルトキ

三 破産若ハ家賃分散ノ宣告ヲ受ケタルトキ

小學校教員免許狀ヲ有スル者不正ノ所爲其ノ他教員タルヘキ體面ヲ汚辱スルノ所爲アリテ其ノ情狀重シト認メタルトキハ文部大臣又ハ府縣知事ニ於テ其ノ免許狀ヲ褫奪ス

第五十條 府縣知事ニ於テ行ヒタル免職若ハ業務停止又ハ免許狀褫奪ノ處分ニ不服アル者ハ文部大臣ニ訴願スルコトヲ得

### 第七章 費用負擔及授業料

第五十一條 市町村立小學校ノ設置ニ關スル費用ハ市町村、町村學校組合又ハ其ノ區ノ負擔トス其ノ概目左ノ如シ

一 設備及其ノ維持ノ費用

二 職員ノ俸給、旅費、其ノ他諸給與

三 校費

兒童教育事務委託ニ關スル費用ハ町村、町村學校組合又ハ其ノ區ノ負擔トス



第五十二條 郡長ハ町村學校組合ニ於テ設置スヘキ尋常小學校數校アルトキ又ハ兒童教育事務ノ委託ヲ要スル場所アルトキハ其ノ學校組合内ノ某町村ヲシテ其ノ數校中ノ一校若ハ數校ノ設置又ハ兒童教育事務委託ニ關スル費用ヲ一町村限リ負擔セシムルコトヲ得

前項ノ處分ヲ爲シ又ハ之ヲ止ムトスルトキハ關係町村及町村學校組合ノ意見ヲ聞キ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第五十三條 郡長ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノアリト認メタルトキハ郡ハ町村又ハ町村學校組合ニ相當ノ補助ヲ與フヘシ

一 町村ニシテ第七條ノ事情アルモ同條ニ依ルコトヲ得サルトキ

二 町村學校組合ノ資力尋常小學校設置ニ關スル費用ノ負擔ニ堪ヘサルトキ又ハ町村學校組合ノ一部タル町村ノ資力其ノ學校組合費ノ分擔ニ堪ヘサルトキ

三 町村又ハ町村學校組合ノ資力兒童教育事務委託ニ關スル費用ノ負擔ニ堪ヘサルトキ

前項ノ認定ニ付テハ郡長ハ郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣知事ノ指揮ヲ受クヘシ

第五十四條 府縣知事ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノアリト認メタルトキハ府縣ハ郡又ハ市ニ相當ノ補助ヲ與フヘシ

一 郡ノ資力第五十三條ノ補助ノ負擔ニ堪ヘサルトキ

二 市ノ資力尋常小學校設置ニ關スル費用ノ負擔ニ擔ヘサルトキ

前項ノ認定ニ付テハ府縣知事ハ府縣參事會ノ意見ヲ聞キ文部大臣ノ指揮ヲ受クヘシ

第五十五條 區長及其ノ代理者並學務委員ニ於テ國ノ教育事務ヲ執行スル爲ニ要スル費用ハ市町村又ハ町村學校組合ノ負擔トス但區長及其ノ代理者並區ノ學務委員ニ關スル費用ハ市町村會又ハ町村學校組合會ノ議決ヲ以テ之ヲ區ノ負擔ト爲スコトヲ得

第五十六條 小學校教員檢定及府縣免許狀ニ關スル費用ハ府縣ノ負擔トス(明治三十六年勅令第七十四號改正)

第五十七條 市町村立尋常小學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルコトヲ得ス但シ補習科ハ此ノ限ニ在ラス

特別ノ事情アルトキハ府縣知事ノ認可ヲ受ケ市町村立尋常小學校ニ於テ授業料ヲ徵收スルコトヲ得

第五十八條 市町村立小學校ノ授業料ハ市町村、町村學校組合又ハ其ノ區ノ收入トス

第五十九條 授業料ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第八章 管理及監督

第六十條 市町村長又ハ町村學校組合長ハ市町村又ハ町村學校組合ニ屬スル國ノ教育事務ヲ管掌シ市町村立小學校ヲ管理ス

第六十一條 府縣知事ハ市町村又ハ町村學校組合ノ區長及其代理者ヲシテ市町村長又ハ町村學校組合長ノ指揮命令ヲ受ケテ區ニ屬スル國ノ教育事務ヲ補助執行セシムルコトヲ得

第六十二條 市町村ハ教育事務ノ爲市制第六十一條町村制第六十五條ニ依リ學務委員ヲ置クヘシ但シ市會町村會ノ議決ニ依ルノ限リニ在ラス

町村學校組合ハ教育事務ノ爲條例ノ規定ニ依リ學務委員ヲ置クヘシ

市町村又ハ町村學校組合ハ教育事務ノ爲條例ノ規定ニ依リ其ノ區ニ學務委員ヲ置クコトヲ得

學務委員ニハ市町村立小學校男教員ヲ加フヘシ

委員中教員ヨリ出ツル者ハ市町村長又ハ町村學校組合長之ヲ任免ス

第六十三條 學務委員ノ職務其ノ他學務委員ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六十四條 市町村吏員ニ對スル懲戒處分ニシテ國ノ教育事務取扱ニ關スルモノニ就キテハ市制第百

舊市制第六十條ハ新市制第六十條ニ當リ  
舊町制第六十條ハ新町制第六十條ニ當リ  
舊村制第六十條ハ新村制第六十條ニ當リ



舊市制第百二十四條ハ新市制第百七十七條ニ舊町村制第百二十八條ハ新町村制第百五十條ニ該當

二十四條町村制第百二十八條ノ規定ニ依ル

第六十五條 市立小學校長及教員ノ執行スル國ノ教育事務ハ府縣知事之ヲ監督シ町村立小學校長及教員ノ執行スル國ノ教育事務ハ郡長之ヲ監督ス

第六十六條 私立小學校ニシテ市内ニ在ルモノハ府縣知事之ヲ監督シ町村内ニ在ルモノハ郡長之ヲ監督ス

第九章 附則

第六十七條 本令ハ明治三十三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ小學校ノ教科目並教則及授業料ノ徵收ニ關シテハ明治三十四年三月三十一日ニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ル

第六十八條 本令ハ市町村制ヲ施行シタル地ニ之ヲ施行ス

第六十九條 明治二十三年勅令第二百十五號小學校令第三十三條ニ依リ設ケタル町村學校組合ハ明治三十八年三月三十一日ニ至ル迄之ヲ存續スルコトヲ得

第七十條 明治二十三年勅令第二百十五號小學校令第三條及第四條ニ依リ小學校ニ於テ加設シタル教科目中本令ノ規定ニ抵觸スルモノ又ハ同令第六條ニ依リ高等小學校ニ於テ專修科ヲ置キタルモノハ明治三十三年九月一日ニ於テ現ニ學習スル兒童ノ卒業スルニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

明治二十三年勅令第二百十五號小學校令第三條ニ依リ體操科ヲ闕ケル尋常小學校ニ於テハ明治三十二年三月三十一日迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

第七十條ノ二 (明治四十四年勅令第二百十六號削除)

第七十一條 既設ノ尋常小學校ニシテ體操場ノ設備ナキモノハ明治三十八年三月三十一日迄其ノ設備ヲ猶豫ス

前項ノ場合ニ於テハ其ノ猶豫ノ期間内體操科ヲ闕クコトヲ得

第七十二條 本令施行前ニ授與シタル小學校教員免許狀ハ本令施行後仍其ノ効力ヲ有ス但シ小學校專科准教員ノ免許狀ハ此ノ限ニ在ラス

第七十三條 明治二十六年勅令第四百四號及明治三十年勅令第三百十六號ハ之ヲ廢止ス

明治二十六年勅令第三百二十四號及明治三十年勅令第四百七號ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ廢止ス

備考 明治三十六年勅令第六十三號ヲ以テ改正ノ條項中第三十二條ハ同年四月一日其他ハ同三十七年四月一日ヨリ施行

明治三十六年勅令第七十四號ヲ以テ改正ノ條項中第二十四條第二項及第三項ヲ除ク外同三十七年四月一日ヨリ施行

同三十七年四月一日前第二十四條第二項又ハ同條第三項ニ依リ探定ヲ爲ス場合ニ於テハ審査委員會ノ審査ヲ經ルコトヲ要セス

同三十七年四月一日前ニ於ケル審査探定及探定シタル教科用圖書ニ關シテハ從前ノ罰則其ノ他ノ規程ヲ適用ス但シ使用ヲ始メタル後四箇年ヲ經ル圖書ハ探定ノ効力ヲ失フ

第十章

明治四十年三月二十日勅令第五十二號附則

本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十三條及第三十六條第一項ノ改正ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

市町村立尋常小學校ニ代用シタル私立小學校ニ關シテハ其ノ代用期間ノ滿了スルニ至ル迄仍其ノ代用ヲ存續スルコトヲ得

特別ノ事情ニ依リ第十八條第一項ニ依リ難キ場合ニ於テハ市町村立小學校ニ在リテハ市町村又ハ町村學校組合ニ於テ私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ期間ヲ定メテ府縣知事ノ認可ヲ受ケ當分ノ内尋常小學校ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

前項ニ依ル尋常小學校ノ教科目ニ關シテハ文部大臣ノ定ムル所ニ依ル



第十九條ノ教科目中唱歌及第二十條第二項ノ教科目ハ當分ノ内府縣知事ノ認可ヲ受ケ之ヲ闕クコトヲ得(明治四十四年勅令第二百十六號改正)本令施行ノ際現ニ在學スル高等小學校ノ兒童ニ關シテハ其ノ卒業スルニ至ル迄仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

第十一章 明治四十四年勅令第二百十六號附則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ高等小學校ニ在學スル兒童ニ關シテハ其ノ卒業ニ至ル迄仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

○小學校令施行規則 明治三十三年八月二十一日 文部省令第十四號

第一章 教科及編制

第一節 教則

第一條 小學校ニ於テハ小學校令第一條ノ旨趣ヲ遵守シテ兒童ヲ教育スヘシ

道德教育及國民教育ニ關聯セル事項ハ何レノ教科目ニ於テモ常ニ留意シテ教授センコトヲ要ス

智識技能ハ常ニ生活ニ必須ナル事項ヲ選ヒテ之ヲ教授シ反覆練習シテ應用自在ナラシメンコトヲ務ムヘシ

兒童ノ身體ヲ健全ニ發達セシメンコトヲ期シ何レノ教科目ニ於テモ其ノ教授ハ兒童ノ心身發達ノ程度ニ副ハシメンコトヲ要ス

男女ノ特性及其ノ將來ノ生活ニ注意シテ各々適當ノ教育ヲ施サンコトヲ務ムヘシ

各教科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益センコトヲ要ス

第二條 修身ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キテ兒童ノ徳性ヲ涵養シ道德ノ實踐ヲ指導スルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ初ハ孝悌、親愛、勤儉、恭敬、信實、義勇等ニ就キ實踐ニ適切ナル近易ノ事項ヲ授ケ漸ク進ミテハ國家及社會ニ對スル義務ノ一斑ニ及ホシ以テ品位ヲ高メ志操ヲ固クシ且進取ノ氣象ヲ長シ公德ヲ尙ハシメ忠君愛國ノ志氣ヲ養ハントコトヲ務ムヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ノ旨趣ヲ擴メテ一層陶冶ノ功ヲ堅實ナラシメンコトヲ務ムヘシ

女兒ニ在リテハ特ニ貞淑ノ徳ヲ養ハントコトニ注意スヘシ

修身ヲ授クルニハ嘉言善行及諺辭等ニ基キテ勸戒シ常ニ之ヲ服膺セシメンコトヲ務ムヘシ

第三條 國語ハ普通ノ言語、日常須知ノ文字及文章ヲ知ラシメ正確ニ思想ヲ表彰スルノ能ヲ養ヒ兼テ智徳ヲ啓發スルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ初ハ發音ヲ正シ假名ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方ヲ知ラシメ漸ク進ミテハ日常須知ノ文字及普通文ニ及ホシ又言語ヲ練習セシムヘシ(明治四十年文部省令第六號改正)

高等小學校ニ於テハ稍々進ミタル程度ニ於テ日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方ヲ授ケ又言語ヲ練習セシムヘシ

讀ミ方、書キ方、綴リ方ハ各々其ノ主トスル所ニ依リ教授時間ヲ區別スルコトヲ得ルモ特ニ注意シテ相聯絡セシメンコトヲ要ス

讀本ノ文章ハ平易ニシテ國語ノ模範ト爲リ且兒童ノ心情ヲ快活純正ナラシムルモノナルヲ要シ其ノ材料ハ修身、歴史、地理、理科其ノ他生活ニ必須ナル事項ニ取リ趣味ニ富ムモノタルヘシ

女兒ノ學級ニ用フル讀本ニハ特ニ家事上ノ事項ヲ交フヘシ



文章ノ綴リ方ハ讀ミ方又ハ他ノ教科目ニ於テ授ケタル事項兒童ノ日常見聞セル事項及處世ニ必須ナル事項ヲ記述セシメ其ノ行文ハ平易ニシテ旨趣明瞭ナラントヲ要ス  
書キ方ニ用フル漢字ノ書體ハ尋常小學校ニ於テハ楷書行書ノ二種トシ高等小學校ニ於テハ尙草書ヲ加フ

國語ヲ授クル際ニハ常ニ其ノ意義ヲ明瞭ニシ且既修ノ文字ヲ以テ通常ノ人名、地名等ニ應用セシメ單語、短句、短文ヲ書取ラシメ若ハ改作セシメテ假名及語句ノ用法ニ習熟セシメントヲ務ムヘシ他ノ教科目ヲ授クル際ニ於テモ常ニ言語ニ注意シ又文字ヲ書カシムルトキハ其ノ字形及字行ヲ正シクセシメントヲ要ス

第四條 算術ハ日常ノ計算ニ習熟セシメ生活上必須ナル知識ヲ與ヘ兼テ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ初ハ十以下ノ數ノ範圍内ニ於ケル數ヘ方、書キ方及加減乗除ヲ授ケ漸ク其ノ範圍ヲ擴メテ百以下ノ數ニ及ホシ更ニ進ミテ通常ノ加減乗除並ニ小數、諸等數及簡易ナル分數、歩合算ヲ授クヘシ(明治四十年文部省令第六號改正)

高等小學校ニ於テハ分數、歩合算ヲ授ケ比例ニ及ホシ學校ノ修業年限ニ應シ更ニ求積ヲ授ケ又土地ノ情況ニ依リテハ日用簿記ノ大要ヲ授クヘシ(同)

算術ハ筆算ヲ用フヘシ土地ノ情況ニ依リテハ珠算ヲ併セ用フルコトヲ得  
算術ヲ授クルニハ理會ヲ精確ニシ運算ニ習熟シテ應用自在ナラシメントヲ務メ又運算ノ方法及理由ヲ正確ニ説明セシメ且暗算ニ習熟セシメントヲ要ス  
算術ノ問題ハ他ノ教科目ニ於テ授ケタル事項及土地ノ情況ヲ斟酌シテ日常適切ナルモノヲ選フヘシ

第五條 日本歴史ハ國體ノ大要ヲ知ラシメ兼テ國民タルノ志操ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ建國ノ體制、皇統ノ無窮、歷代天皇ノ盛業、忠良賢哲ノ事蹟、國民ノ武勇、文化ノ由來、外國トノ關係等ノ大要ヲ授ケ以テ國初ヨリ現時ニ至ルマテノ事歴ヲ知ラシムヘシ(同上)

高等小學校ニ於テハ前項ノ旨趣ヲ擴メテ稍詳ニ我國發達ノ蹟ヲ知ラシムヘシ(同上)  
日本歴史ヲ授クルニハ成ルヘク圖書、地圖、標本等ヲ示シ兒童ヲシテ當時ノ實狀ヲ想像シ易カラシメ特ニ修身ノ教授事項ト聯絡セシメントヲ要ス

第六條 地理ハ地球ノ表面及人類生活ノ狀態ニ關スル知識ノ一班ヲ得シメ又本邦國勢ノ大要ヲ理會セシメ兼テ愛國心ノ養成ニ資スルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ本邦ノ地勢、氣候、區劃、都會、產物、交通等并ニ地球ノ形狀、運動等ノ大要ヲ理會セシメ且滿州地理ノ大要ヲ授ケ兼テ本邦トノ關係ニ於テ重要ナル諸國ノ地理ニ關スル簡單ナル知識ヲ得シムヘシ(明治四十四年文部省令第二十四號改正)

高等小學校ニ於テハ各大洲ノ地勢、氣候、區劃、交通等ノ概略ヨリ進ミテ本邦トノ關係ニ於テ重要ナル諸國ノ地理ノ大要及本邦ノ政治經濟上ノ狀態并ニ外國ニ對スル地位等ノ大要ヲ知ラシメ又地文ノ一班ヲ授クヘシ(同上)

地理ヲ授クルニハ成ルヘク實地ノ觀察ニ基キ又地球儀、地圖、標本、寫真等ヲ示シテ確實ナル知識ヲ得シメ特ニ歴史及理科ノ教授事項ト聯絡セシメントヲ要ス

第七條 理科ハ通常ノ天然物及自然ノ現象ニ關スル知識ノ一班ヲ得シメ其ノ相互及人生ニ對スル關係ノ大要ヲ理會セシメ兼テ觀察ヲ精密ニシ自然ヲ愛スルノ心ヲ養フヲ以テ要旨トス  
尋常小學校ニ於テハ植物、動物、礦物、及自然ノ現象ニ就キ主トシテ兒童ノ目撃シ得ル事項ヲ授ケ



特ニ重要ナル植物、動物、礦物ノ名稱、形狀、効用及發育ノ大要ヲ知ラシメ又通常ノ物理化學上ノ現象及人身生理ノ初步ヲ授クヘシ(上同)

高等小學校ニ於テハ前項ニ準シ漸ク其ノ程度ヲ進メ特ニ重要ナル元素及化合物簡易ナル器械ノ構造作用、人身ノ生理衛生ノ大要ヲ授ケ兼テ植物、動物、礦物ノ相互及人生ニ對スル關係ノ大要ヲ理會セシメ女子ノ爲メニハ家事ヲ併セ授クヘシ(第六條第二項ト同シク改正)

理科ニ於テハ務メテ農事、水産、工業、家事等ニ適切ナル事項ヲ授ケ特ニ植物、動物等ニ就テ教授スル際ニハ之ヲ以テ製スル重要ナル加工品ノ製法、効用等ノ概略ヲ知ラシムヘシ

理科ヲ授クルニハ成ルヘク實地ノ觀察ニ基キ若クハ標本、模型、圖書等ヲ示シ又簡單ナル實驗ヲ施シ明瞭ニ理會セシメンコトヲ要ス

第八條 圖書ハ通常ノ形體ヲ看取シ正シク之ヲ畫クノ能ヲ得シメ兼テ美感ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ單形ヨリ始メ漸ク簡單ナル形體ニ及ホシ實物若クハ手本ニ就キ又時々自己ノ工夫ヲ以テ畫カシムヘシ(明治四十年文部省令第六號改正)

高等小學校ニ於テハ前項ニ準シ漸ク其ノ程度ヲ進メ諸般ノ形體ヲ畫カシムヘシ土地ノ狀況ニ依リテハ簡易ナル幾何畫ヲ授クルコトヲ得(上同)

圖書ヲ授クルニハ成ルヘク他ノ教科目ニ於テ授ケタル物體及兒童ノ日常目撃セル物體中ニ就キテ之ヲ畫カシメ兼テ清潔ヲ好ミ綿密ヲ尙フノ習慣ヲ養ハントニ注意スヘシ

第九條 唱歌ハ平易ナル歌曲ヲ唱フコトヲ得シメ兼テ美感ヲ養ヒ徳性ノ涵養ニ資スルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ平易ナル單音唱歌ヲ授クヘシ(上同)

高等小學校ニ於テハ前項ニ準シ漸ク其ノ程度ヲ進メテ授クヘシ又便宜簡易ナル複音唱歌ヲ授クルコ

トヲ得(上同)

歌詞及樂譜ハ平易雅正ニシテ兒童ノ心情ヲ快活純美ナラシムルモノタルヘシ

第十條 體操ハ身體ノ各部ヲ均齊ニ發育セシメ四肢ノ動作ヲ機敏ナラシメ以テ全身ノ健康ヲ保護増進シ精神ヲ快活ニシテ剛毅ナラシメ兼テ規律ヲ守リ協同ヲ尙フノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ初ハ適宜ニ遊戲ヲ爲サシメ漸ク普通體操ヲ加ヘ又男兒ニハ兵式體操ヲ加ヘ授クヘシ(上同)

高等小學校ニ於テハ普通體操ヲ授ケ又遊戲ヲ爲サシメ男兒ニハ兵式體操ヲ加ヘ授クヘシ

土地ノ情況ニ依リ體操ノ教授時間ノ一部若ハ教授時間ノ外ニ於テ適宜ノ戶外運動ヲ爲サシメ又水泳ヲ授クルコトアルヘシ

體操ノ教授ニ依リテ習成シタル姿勢ハ常ニ之ヲ保タシメンコトヲ務ムヘシ

第十一條 裁縫ハ通常ノ衣類ノ縫ヒ方及裁チ方等ニ習熟セシメ兼テ節約利用ノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ運針法ヨリ始メ漸ク通常ノ衣類ノ縫ヒ方ヲ授ケ又便宜裁チ方繕ヒ方等ヲ授クヘシ(上同)

高等小學校ニ於テハ初ハ前項ニ準シ漸ク其ノ程度ヲ進メ通常ノ衣類ノ縫ヒ方、裁チ方、繕ヒ方ヲ授クヘシ

裁縫ハ其ノ材料ヲ日常所用ノモノニ取リテ之ヲ授クル際用具ノ使用方、材料ノ品類、性質及衣類ノ保存方、洗濯方等ヲ教示スヘシ

第十二條 手工ハ簡易ナル物品ヲ製作スルノ能ヲ得シメ工業ノ趣味ヲ長シ勤勞ヲ好ムノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス



手工ハ紙、絲、粘土、麥稈、木、竹、金屬等其ノ土地ニ適切ナル材料ヲ用ヒテ簡易ナル製作ヲ爲サシメ高等小學校ニ於テハ簡易ナル製圖ヲ併セ授クヘシ(第六條第二項)  
手工ヲ授クル際ニハ用具ノ使用方、材料ノ品類性質等ヲ教示スヘシ(同シク改正)

第十三條 農業ハ農業ニ關スル普通ノ智識ヲ得シメ農業ノ趣味ヲ長シ勤勉利用ノ心ヲ養フヲ以テ要旨トス

農業ハ土地ノ情況ニ依リ農事若ハ水産ヲ授ケ又ハ農事、水産ヲ併セ授クヘシ(明治三十六年文部省令第十一號追加改正)  
農事ハ土壤、水利、肥料、農具、耕耘、栽培、養蠶、養畜等ニ就キ土地ノ情況ニ適切ニシテ兒童ノ理會シ易キ事項ヲ授クヘシ

水産ハ漁撈、養殖、製造等ニ就キ其ノ土地ノ業務ニ適切ナルモノヲ授クヘシ(同上)  
農業ヲ授クルニハ特ニ地理、理科等ノ教授事項ト關聯シ時々其ノ土地實際ノ業務ニ就キテ示教シ其ノ智識ヲ確實ナラシメンコトヲ務ムヘシ

第十四條 商業ハ商業ニ關スル普通ノ智識ヲ得シメ勤勉敏捷ニシテ且信用ヲ重スルノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

商業ハ學校所在ノ地方ニ於ケル賣買、金融、運輸、保險其ノ他商業ニ關スル重要ナル事項ニシテ兒童ノ理會シ易キモノヲ選ヒ國語、算術、地理、理科等ノ教授事項ト關聯シテ之ヲ授ケ且簡易ナル商用簿記ヲ授クヘシ又土地ノ情況ニ依リ英語ヲ併セ授クルコトヲ得(第六條第二項)

第十五條 削除(第六條第二項)  
第十六條 削除(明治四十一年文部省令第二十六號改正)  
第十七條 尋常小學校各學年ノ教授ノ程度及每週教授時數ハ第四號表ニ依ルヘシ(明治四十年文部省令第六號ニテ但書削除)

明治四十三年文部省令第四號ニテ第四號表中改正

手工ヲ加フルトキ又ハ第一學年、第二學年ニ於テ圖畫ヲ課スルトキハ其ノ每週教授時數ハ學校長ニ於テ他ノ教科目ノ每週教授時數ヲ減シ之ニ充ツヘシ

唱歌ヲ闕ク時ハ其ノ每週教授時數ハ學校長ニ於テ他ノ教科目ニ配當スルコトヲ得(同上)

第十八條 高等小學校各學年ノ教授ノ程度及每週教授時數ハ第五號表又ハ第六號表ニ依ルヘシ(同上)  
手工、農業、商業ノ三科目ヲ闕ク時ハ學校長ニ於テ男兒ニ就キテハ每週四時以内ヲ地ノ教科目ニ配當スヘシ(第六條第二項)

第十八條ノ二 第三十四條ノ規定ニ依リ二部教授ヲ爲ス場合ニ於テハ教科目ノ每週教授時數ハ管理者又ハ設立者ニ於テ之ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ(明治三十六年文部省令第十一號追加)

第十九條 第十七條及第十八條ノ規定ニ依リ難キ事情アルトキハ管理者又ハ設立者ハ其ノ事情ヲ具シ府縣知事ノ認可ヲ受ケ左ノ制限内ニ於テ其ノ時數ヲ増減スルコトヲ得(同上)

一 尋常小學校ノ每週教授時數ハ三十時ヲ超エ又十八時ヲ下ルコトヲ得ス(明治四十年文部省令第六號改正)  
二 高等小學校ノ每週教授時數ハ三十二時ヲ超エ又二十四時ヲ下ルコトヲ得ス(同上)

第三十四條ノ規定ニ依リ二部教授ヲ爲ス場合ニ於テハ每週教授時數ハ各部十八時以上トス但シ尋常小學校ニ於ケル年少ノ部ニ在リテハ之ヲ十二時マテニ減スルコトヲ得(明治三十六年文部省令第十一號追加)

第二十條 學校長ハ夏季冬季休業日ノ前後各二十日以内ニ於テ毎日ノ教授時數ヲ減スルコトヲ得前項ノ規定ニ依リ教授時數ヲ減スルトキハ學校長ニ於テ便宜各教科目ノ每週教授時數ヲ斟酌スヘシ

第二十一條 尋常小學校若ハ高等小學校ニ於テ教學年ノ兒童ヲ一學級ニ編制スル時ハ各學年ノ程度ニ拘ラス全部又ハ一部ノ兒童ヲ同一ノ程度ニ依リ教授スルコトヲ得



第二十二條 學校長ハ其ノ小學校ニ於テ教授スヘキ各教科目ノ教授細目ヲ定ムヘシ

第二十三條 小學校ニ於テ各學年ノ課程ノ修了若ハ至教科ノ卒業ヲ認ムルニハ別ニ試験ヲ用フルコトナク兒童中素ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ

第二十四條 學校長ハ修業年限ノ終ニ於テ尋常小學校若ハ高等小學校ノ教科ヲ修了セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ

學校長ハ學年末ニ於テ各學年ノ課程ヲ修了セリト認メタル者ニハ修業證書、第二十一條ノ規定ニ依リ一學年間學習セシ者ニハ學習證書ヲ與フルコトヲ得

第二節 學年、休業日及式日

第二十五條 小學校ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

前項ニ依ル學年ノ外地ノ情況ニ依リ九月一日ニ始リ翌年八月三十一日ニ終ル學年ヲ置クコトヲ得(明治四十二年文部省令第十二號改正)

小學校ノ學期ハ府縣知事之ヲ定ムヘシ

第二十六條 毎日ノ教授終始ノ時刻ハ府縣知事之ヲ定ムヘシ

第二十七條 小學校ノ休業日ハ左ノ如シ但シ第三號乃至第六號ノ休業日ハ學年ニ依リ之ヲ異ニスルコトヲ得(第六條第二項ト同シク改正)

- 一 祝日、大祭日
- 二 日曜日
- 三 夏季休業日
- 四 冬季休業日

- 五 學年末休業日
- 六 其ノ他府縣知事ノ定ムル休業日

前項第三號乃至第五號ノ休業日數ハ府縣知事之ヲ定ムヘシ

第二十八條 紀元節、天長節及一月一日ニ於テハ職員及兒童、學校ニ參集シテ左ノ式ヲ行フヘシ

- 一 職員及兒童「君カ代」ヲ合唱ス
- 二 職員及兒童ハ

天皇陛下

皇后陛下ノ御影ニ對シ奉リ最敬禮ヲ行フ

三 學校長ハ教育ニ關スル 勅語ヲ奉讀ス

四 學校長ハ教育ニ關スル 勅語ニ基キ聖旨ノ在ル所ヲ誨告ス

五 職員及兒童ハ其ノ祝日ニ相當スル唱歌ヲ合唱ス

御影ヲ拜戴セサル學校及特ニ府縣知事ノ認可ヲ受ケ複寫シタル御影若ハ府縣知事ニ於テ適當ト認メタル御影ヲ奉戴セサル學校ニ於テハ前項第二號ノ式ヲ闕ク又唱歌ヲ課セサル學校ニ於テハ第一號及第五號ノ式ヲ闕クコトヲ得

第三節 編 制

第二十九條 小學校ノ學級數ハ十八學級以下トス(明治四十二年文部省令第十二號改正)

特別ノ事情アルトキハ市町村立小學校ニ在リテハ市町村又ハ町村學校組合ニ於テ私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受ケ前項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得(明治四十年文部省令第六號改正)

特別ノ事情ニ依リ小學校ニ於テ分教場ヲ設クルトキハ一分教場ノ學級ハ三學級以下トシ第一項ノ制



限外ト爲スコトヲ得(明治四十一年文部省令第十八號改正)

第三十條 一學級ノ兒童數ハ尋常小學校ニ在リテハ七十人以下、高等小學校ニ在アリテハ六十人以下トス

特別ノ事情アルトキハ前項ノ制限ヲ超過シテ各々十人マテヲ増スコトヲ得

第三十一條 尋常小學校若ハ其ノ分教場ニ於テ同一學年ノ女兒ノ數一學級ヲ編制スルニ足ルトキハ男女ニ依リ該學年ノ學級ヲ別ツヘシ

第一學年及第二學年ニ在リテハ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

高等小學校若ハ其ノ分教場ニ於テ全校女兒ノ數一學級ヲ編制スルニ足ルトキハ男女ニ依リ學級ヲ別ツヘシ

特別ノ事情アルトキハ市町村立小學校ニ在リテハ市町村又ハ町村學校組合ニ於テ私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受ケ第一項又ハ第三項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得(明治四十年省令第六號追加)

第三十二條 正教科ノ兒童ト補習科ノ兒童トヲ合シテ學級ヲ編制スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニアラス

第三十三條 修身、體操、唱歌、裁縫、手工、農業、商業ハ數學級ノ全部又ハ一部ノ兒童ヲ合セテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得但シ裁縫、手工、農業、商業ニ就キテハ兒童ノ數七十人ヲ超エサル場合ニ限ル(明治三十六年文部省令第六條第二項)

第三十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ小學校若ハ其ノ分教場ニ於テ全部若ハ一部ノ兒童ヲ前後二部ニ分チテ教授スルコトヲ得(同上本條改正)

一 一學級毎ニ本科正教員一人ヲ置クコト能ハサルトキ

二 兒童ヲ同時ニ容ルルニ足ルヘキ校舍ノ設ケナキトキ

三 兒童ノ就學上又ハ教授上特別ノ必要アルトキ

第三十五條 小學校ニ於テハ各學級ニ本科正教員一人ヲ置クヘシ

小學校ニ於テ各學級ニ置クヘキ本科正教員ヲ得難キトキハ二學級毎ニ本科正教員一人及准教員一人ヲ置クコトヲ得此ノ場合ニ於テハ准教員ハ正教員ノ指揮ヲ承ケ兒童ヲ教授スヘシ

特別ノ事情アルトキハ第二項ノ規定ニ依ル外尙准教員ヲ置キ兒童ノ教授ヲ補助セシムルコトヲ得

前條ノ規定ニ依リ二部教授ヲ爲ス場合ニ於テハ前後二學級毎ニ本科正教員一人ヲ置クヲ常例トス

(明治三十六年文部省令第十二號改正追加)

第三十六條 六學級以上ノ小學校ニ於テハ學校長ノ擔任スル教授ヲ補助スル爲正教員一人若ハ准教員一人ヲ置クコトヲ得

第三十七條 小學校ニ於テハ適宜專科正教員ヲ置クコトヲ得

第三十八條 補習科ノ學級數ハ第二十九條ニ規定シタル學級數ノ制限外トス但シ其ノ教授時間ヲ正教科ノ教授時間内ニ定メタルトキハ此ノ限ニアラス

第三十九條 全校兒童ヲ一學級ニ編制スル學校ヲ單級小學校トシ二學級以上ニ編制スル學校ヲ多級小學校トス(明治三十六年文部省令第十一號ヲ以テ第二項刪除)

第四十條 第三十二條但書ノ規定ニ依リ正教科ノ兒童ト補習科ノ兒童トヲ合シテ學級ヲ編制スルトキ及第三十四條ノ規定ニ依リ二部教授ノ編制ヲ爲サントスルトキハ市町村立小學校ニ在リテハ市町村又ハ町村學校組合ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ(明治四十年文部省令第六號改正)

第四十一條 小學校ノ學級ヲ編制シ又ハ變更シタルトキハ遲滞ナク管理者又ハ設立者ニ於テ府縣知事



ニ届出ツヘシ

第四節 補習科

第四十二條 補習科ハ分テ尋常小學校補習科及高等小學校補習科トス

尋常小學校補習科ハ尋常小學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ尋常小學校ノ教科目ヲ補習セシムルヲ以テ目的トス

高等小學校補習科ハ高等小學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ高等小學校ノ教科目ヲ補習セシムルヲ以テ目的トス

第四十三條 補習科ノ教科目ハ管理者又ハ設立者ニ於テ之ヲ定ムヘシ

前項ノ規定ニ依リ定メタル教科目ハ管理者又ハ設立者ニ於テ之ヲ隨意科目ト爲スコトヲ得

第四十四條 補習科ノ教科目用圖書ハ學校長ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第四十五條 補習科ノ教科ヲ授クルニハ其ノ土地ノ業務ニ適切ナル事項ヲ交フヘシ

第四十六條 補習科ノ修業年限ハ二箇年以下トシ市町村、町村學校組合又ハ設立者ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第四十七條 補習科ノ教授ハ一定ノ季節ヲ選ヒテ之ヲ爲スコトヲ得

第四十八條 補習科ノ教授日數教授時間及每週教授時數ハ兒童ノ便宜ヲ圖リ管理者又ハ設立者ニ於テ之ヲ定ムヘシ(同上)

第四十九條 高等小學校補習科ノ學級ハ男女ヲ合シテ之ヲ編制スルコトヲ得ス但シ其ノ教授時間ヲ正教科ノ教授時間内ニ定メタルトキハ此ノ限ニアラス

第五十條 補習科ノ教場ハ正教科ヲ授クル校舎外ニ之ヲ設クルコトヲ得

第五十一條 補習科ノ教授ハ正教科ヲ教授スル教員又ハ代用教員ニ於テ之ヲ擔任スヘシ

補習科ノ教授時間ノ正教科ノ教授時間内ニ定メタルトキハ前項ノ規定ヲ適用セス

特別ノ事情アルトキハ前二項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第五十二條 第四十三條第一項、第四十四條第四十六條及第四十八條ノ場合ニ於テハ府知縣事ノ認可ヲ受クヘシ(同上)

第五節 教科用圖書

〔明治三十二年文部省令第二十二號改正〕

第五十三條 小學校教科用圖書中修身、國語、算術、日本歴史、地理、理科、圖書ヲ除キ其ノ他ノ圖書ニ限リ文部省ニ於テ著作權ヲ有スルモノ及文部大臣ノ檢定ヲ經タルモノニ就キ府縣知事之ヲ採定ス但シ體操、裁縫、手工、及尋常小學校第四學年以下ノ唱歌ニ關シテハ兒童ニ使用セシムヘキ圖書ヲ採定スルコトヲ得ス又國語、書キ方、算術、理科、圖書ノ教科用圖書及小學地理附圖ハ學校長ニ於テ之ヲ兒童ニ使用セシメサルコトヲ得〔明治四十四年文部省令第二十六號改正〕

第五十四條 小學校令第二十四條第二項又ハ前條ニ依リ教科用圖書ヲ採定シタルトキハ之ヲ使用セントスル學年ノ開始ヨリ九十日前ニ其ノ旨ヲ公布スヘシ此ノ場合ニ於テハ五日以内ニ文部大臣ニ報告スルコトヲ要ス

特別ノ事情アルトキハ府縣知事ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケテ前項ノ公布期限ニ依ラサルコトヲ得〔明治三十二年文部省令第二十二號改正〕

第五十五條 文部大臣ノ檢定ヲ經タル小學校教科用圖書ノ定價ヲ増加シタルトキハ其ノ採定ノ効力ヲ失フ(同上)

第五十六條 小學校教科用圖書ハ使用ヲ始メタル後四箇年ヲ經ルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得

失フ(同上)

第三編 普通教育



ス  
小學校教科用圖書ヲ變更シタル場合ニ於テハ其ノ圖書ハ最下學年ノ兒童ヨリ用ヒシメ他ノ兒童ニハ從來ノ圖書ヲ襲用セシムヘシ

特別ノ事情アルトキハ府縣知事ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケテ前二項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得（同上本條改正）

第五十七條 小學校教科用圖書ノ採定ニ關シ其ノ前後ヲ問ハス左ノ各號ノ一ニ該當スル所爲アル者ハ

二十五日以下ノ重禁錮又ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

一 直接又ハ間接ニ金錢物品手形其ノ他ノ利益若ハ公私ノ職務ヲ官吏、學校職員若ハ運動者ニ供與シ又ハ供與センコトヲ申込ミタル者又ハ供與若ハ申込ヲ承諾センコトヲ周旋勸誘シタル者並供與ヲ受ケ若ハ申込ヲ承諾シタル者

二 直接又ハ間接ニ酒食遊覽等其ノ方法及名義ノ何タルヲ問ハス人ヲ饗應接待シ又ハ饗應接待ヲ受ケタル者又ハ旅費若ハ宿泊料ノ類ヲ代辨シ及其ノ代辨ヲ受ケタル者並此等ノ約束ヲ受ケタル者

三 官吏、學校職員又ハ其ノ關係アル學校法人等ニ對スル利害ノ關係ヲ利用シ直接若ハ間接ニ官吏學校職員ヲ誘導シ又ハ威逼シタル者及其ノ誘導威逼ニ應シタル者

四 官吏又ハ學校職員ニ暴行脅迫ヲ加ヘ若ハ之ヲ拐引シタル者

五 採定ヲ妨クル目的ヲ以テ新聞紙雜誌帳札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス官吏又ハ學校職員ニ對シ虛偽ノ事項ヲ流布シタル者（明治三十六年文部省令第二十二號改正）

第五十八條 （同上）  
第五十九條 （同上）

第六十條 （同上）  
第六十一條 （同上）  
第六十二條 （同上）  
第六十三條 （同上）  
第六十三條ノ二 （同上）  
第六十三條ノ三 （同上）

第二章 設備準則

第六十四條 校地、校舍、體操場及校具ハ學校ノ規模ニ適應スルヲ要ス

校地ハ道德上竝ニ衛生上害ナク且兒童ノ通學ニ便利ナル所ヲ選フヘシ

校舍ハ教授上管理上竝ニ衛生上適當ニシテ質朴堅牢ナランコトヲ要ス（明治三十七年文部省令第一號ヲ以テ本條改正）

第六十五條 （同上）  
第六十六條 （同上）  
第六十七條 （同上）  
第六十八條 （同上）  
第六十九條 （同上）  
第七十條 （同上）  
第七十一條 （同上）  
第七十二條 （同上）  
第七十三條 （同上）



第七十四條 (同上) 削除

第七十五條 土地ノ情况ニ依リ成ルヘク教員ノ住宅ヲ設クヘシ

第七十六條 校舍ヲ新築、増築、改築シ若ハ市町村立高等小學校及私立小學校ノ校地ヲ選定シ又ハ變更セントスルトキハ市町村、町村學校組合又ハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第七十七條 本章ノ規定中校舍ノ新築、改築、校具ノ新調等ニ際スルニアラサレハ適用シ難キモノハ其ノ時ヲ待テ之ニ依ルコトヲ得

第七十八條 (同上) 削除

第七十九條 (明治四十二年文部省令第十二號改正) 削除

第三章 就學

第八十條 市町村長ハ其ノ市町村内ニ居住シ翌年四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ヲ調査シ第九號表ノ様式ニ依リ毎年十二月末日マテニ其ノ學齡簿ヲ編製スヘシ但シ第二十五條第二項ニ依ル場合ニ於テハ其ノ年九月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ヲ調査シ毎年六月末日マテニ學齡簿ヲ編製スヘシ (明治四十二年文部省令第十二號改正)

第八十一條 市町村長ハ學齡簿編製後三月三十一日マテニ其ノ年四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニシテ其ノ市町村ニ來住シタル者アルトキハ遲滞ナク之ヲ學齡簿ニ記入スヘシ但シ第二十五條第二項ニ依ル場合ニ於テハ市町村長ハ學齡簿編製後八月三十一日マテニ其ノ年九月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニシテ其ノ市町村ニ來住シタル者ヲ遲滞ナク學齡簿ニ記入スヘシ (同上)

市町村長ハ就學期間中ニ在ル兒童ニシテ其ノ市町村ニ來住シタル者アルトキハ遲滞ナク其ノ兒童ノ就學ノ始期ニ達シタル年ノ學齡簿ニ記入スヘシ

市町村長ハ學齡簿ニ登載ノ兒童ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ遲滞ナク之ヲ抹消スヘシ但シ第二號ニ該當スル者アルトキハ市町村長ハ之ヲ抹消スルト同時ニ學齡簿ノ謄本ヲ兒童ノ轉住地ノ市町村長ニ送付スヘシ (同上)

- 一 兒童死亡シタルトキ
  - 二 兒童市町村外ニ轉住シタルトキ
  - 三 兒童ノ居所一箇年以上分明ナラサルトキ
- 前二項ノ外學齡簿ニ記載ノ事項ニ異動ヲ生シタルトキハ遲滞ナク之ヲ加除訂正スヘシ
- 第八十二條 市町村長ハ兒童ヲシテ市町村立尋常小學校ニ入學セシムヘキ期日ヲ豫メ其ノ保護者ニ通知スヘシ

市町村、町村學校組合又ハ區ノ使用ニ係ル尋常小學校二校以上アル場合ニ於テハ市町村長ハ前項ノ通知ヲ爲スニ當リ兒童ノ入學スヘキ尋常小學校ヲ指定スルコトヲ得但シ兒童ノ保護者ハ其ノ兒童ヲ入學セシメントスル尋常小學校ヲ選定シテ之ヲ市町村長ニ申立ツルコトヲ得

第八十三條 市町村長ハ前條ノ規定ニ依リ通知シタル兒童ノ氏名及入學期日ヲ關係學校長ニ通知スヘシ其ノ通知ヲ爲シタル後兒童ノ就學ニ關シ異動ヲ生シタルトキ亦同シ

第八十四條 就學スヘキ兒童又ハ其ノ保護者ニシテ小學校令第三十三條ニ掲クル事由アルトキハ其ノ保護者ハ就學義務ノ免除又ハ就學ノ猶豫ヲ市町村長ニ申立ツヘシ但シ貧窮ニ因ル場合ヲ除外醫師ノ證明書ヲ添フルコトヲ要ス

第八十五條 就學猶豫ノ期間ハ其ノ年四月於ニテ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニ在リテハ一箇年トシ既ニ就學ノ始期ニ達シタル兒童ニ在リテハ一箇年以下トス (同上)



第二十五條第二項ノ學年ヲ置キタル場合ニ於テハ前項ノ期間ハ其ノ年四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニ在リテハ五箇月其ノ年九月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニ在リテハ七箇月トシ既ニ就學ノ始期ニ達シタル兒童ニ在リテハ各五箇月以下又ハ七箇月以下トス(第六條第二項ト同シク改正同上)

第八十六條 市町村長ハ小學校令第三十六條第一項但書ノ規定ニ依リ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ノ教育ヲ監督スヘシ必要ト認メタルトキハ其ノ兒童ニ就キ試験ヲ行フコトヲ得

第八十七條 市町村長ハ前條ノ兒童ノ教育ヲ不適當ナリト認メタルトキハ小學校令第三十六條第一項但書ノ規定ニ依リ與ヘタル認可ヲ取消スヘシ

第八十八條 兒童ノ保護者ニ於テ其ノ兒童ヲ當然入學セシムヘキ學校以外ノ市町村立尋常小學校ニ入學セシメ又ハ官立、府縣立學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メシメントスルトキハ其ノ學校ノ管理者又ハ學校長ノ承認書ヲ添ヘ關係市町村長ニ届出ツヘシ

第八十九條 市町村立尋常小學校長ハ第十號表ノ様式ニ依リ學年ノ始ニ於テ入學シタル兒童ノ學籍簿ヲ編製スヘシ

學籍簿ハ入學ノ兒童ニ異動ヲ生シタルトキハ遲滞ナク之ヲ加除訂正スヘシ

第九十條 市町村立尋常小學校長ハ在學兒童ノ出席簿ヲ作り其ノ出席缺席ヲ明ニスヘシ

第九十一條 市町村立尋常小學校長ハ第八十三條ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタル兒童中入學期日後七日以内ニ其ノ小學校ニ入學セサル者アルトキハ其ノ氏名ヲ關係市町村長ニ報告スヘシ

第九十二條 在學兒童ニシテ正當ノ事由ナク引續キ七日間缺席シタルトキハ關係學校長ハ遲滞ナク其ノ保護者ニ對シ兒童ヲシテ出席セシムヘキ旨通知シ仍引續キ七日以上出席セシメサルトキハ其ノ旨ヲ關係市町村長ニ報告スヘシ

第九十三條 市町村長ニ於テ前二條ノ規定ニ依リ報告ヲ受ケタルトキハ關係兒童ノ保護者ニ對シ其ノ兒童ノ就學又ハ出席ヲ督促スヘシ

前項ノ規定ニ依リ二回以上ノ督促ヲナスモ仍就學又ハ出席セシメサルトキハ市町村長ハ其ノ旨ヲ監督官廳ニ報告スヘシ

第九十四條 郡長又ハ府縣知事ニ於テ前條第二項ノ規定ニ依リ報告ヲ受ケタルトキハ關係兒童ノ保護者ニ對シ其ノ兒童ノ就學又ハ出席ヲ督促スヘシ

第九十五條 市町村立尋常小學校長ハ每學年ノ終ニ卒業シタル兒童ノ氏名ヲ遲滞ナク關係市町村長ニ報告スヘシ

第九十六條 第八十八條ノ規定又ハ小學校令第三十六條第一項但書ノ規定ニ依リ當然入學スヘキ學校以外ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ニシテ其ノ教科ヲ卒リタルトキ又ハ其ノ教科ヲ卒ラスシテ退學シ若ハ廢學シタルトキハ關係學校長又ハ兒童ノ保護者ハ其ノ旨ヲ關係市町村長ニ届出ツヘシ

第九十七條 (明治四十年文部省令第六號削除)

第四章 教員檢定及免許狀

第一節 教員ノ檢定

第九十八條 小學校教員檢定委員會ハ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

- 一 會長
- 一 常任委員
- 一 臨時委員

第九十九條 會長ハ府縣ニ在リテハ内務部長タル府縣事務官北海道廳ニ在リテハ第二部長タル道廳事



務官ヲ以テ之ニ充ツ〔明治三十八年文部省〕〔明治四十年文部省〕

常任委員及臨時委員ハ府縣知事之ヲ命ス〔省令第七號改正〕〔令第二十四號改正〕

臨時委員ハ試驗施行ノ際之ヲ命ス

第百條 會長ハ會務ヲ整理シ檢定ノ成績ヲ府縣知事ニ報告ス

會長事故アルトキハ府縣知事ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第百一條 常任委員ハ會長ノ指揮ヲ承ケ檢定ニ關スル事ヲ掌ル

臨時委員ハ會長ノ指揮ヲ承ケ試驗檢定ニ關スル事ヲ掌ル

第百二條 小學校教員檢定委員會ニ書記ヲ置キ府縣判任官ヲ以テ之ニ充ツ

書記ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第百三條 會長、常任委員、臨時委員及書記ニハ手當ヲ給スルコトヲ得

第百四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ教員ノ檢定ヲ受クルコトヲ得ス

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者但シ國事犯ニシテ復權シタル者ハ此ノ限ニアラス

二 信用若ハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯シテ罰金ノ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付セラレタル者

三 破産若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者

四 免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケ三箇年ヲ經過セサル者

第百五條 教員ノ檢定ハ分テ無試驗檢定及試驗檢定トシ學力身體性行ニ就キ之ヲ行フ〔第六號第二項〕〔同シク改正〕

第百六條 試驗檢定ハ毎年少シクトモ一回之ヲ行ヒ無試驗檢定ハ臨時之ヲ行フ

第百七條 無試驗檢定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ就キ第百八條乃至第百十二條ノ規定ニ對照シテ

之ヲ行フ〔同上〕〔改正〕

一 師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀ヲ有スル者

二 他ノ府縣ニ於テ授與シタル小學校教員免許狀ヲ有スル者

三 文部省直轄學校ニ於テ某科目ニ關シ特ニ教員ノ職ニ適スル教育ヲ受ケテ卒業シタル者

四 中學校又ハ高等女學校ヲ卒業シタル者

五 公立私立學校認定ニ關スル規則ニ依リ認定セラレタル學校ヲ卒業シタル者

六 其ノ他府縣知事ニ於テ特ニ適任ト認メタル者

前項第四號及第五號ニ該當スル者ニ對シ小學校本科正教員ノ檢定ヲ行フ場合ハ卒業後二箇年以上小

學校教育ニ從事シタル者又ハ高等女學校ヲ卒業シ修業年限一箇年以上ノ補習科ニ於テ小學校教員ニ

適スル教育ヲ受ケ卒業シタル者ニ限ル

第百八條 小學校本科正教員ノ試驗科目及其ノ程度ハ男子ニ在リテハ師範學校男生徒、女子ニ在リテ

ハ師範學校女生徒ニ課スル學科程度ニ準ス但シ手工、農業、商業ノ一科目若ハ數科目ハ之ヲ闕クコ

トヲ得〔明治四十年省令第六號改正〕

本條ニ小學校本科正教員トアルハ尋常小學校及高等小學校ニ於テ本科正教員タルコトヲ得ヘキ者ヲ

謂フ

第百九條 小學校准教員ノ試驗科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ農業、商業及體操中ノ兵式體操ハ男子

ニ限リ裁縫ハ女子ニ限ル〔同上〕

修身 道德ノ要旨

教育 教授法ノ大要

國語 普通文及小學校教科用讀本ノ講讀並ニ作文、習字



算術 整數、分數、小數、諸等數、步合算、比例、求積

歷史 日本歴史ノ大要

地理 日本地理及外國地理ノ大要

理科 博物、物理、化學ノ大要

圖畫 自在畫及簡易ナル幾何畫

音樂 唱歌、樂器使用法

體操 普通體操及兵式體操

裁縫 通常ノ衣類ノ裁チ方、縫ヒ方、繕ヒ方

手工 手工ノ大要〔明治三十六年文部省令第十一號追加〕

農業 農業ノ大要〔同上〕

商業 商業ノ大要〔同上〕

圖畫、音樂、手工、農業、商業ノ一科目又ハ數科目ハ之ヲ關クコトヲ得

本條ニ小學校准教員トアルハ尋常小學校及高等小學校ニ於テ准教員タルコトヲ得ヘキ者ヲ謂フ

第一百十條 小學校專科正教員ノ試驗科目ハ圖畫、音樂、體操、裁縫、手工、農業、商業ノ一科目若ハ

數科目トス但シ商業ハ之ヲ商業英語ニ分ツコトヲ得

前項試驗科目ノ程度ハ師範學校生ニ課スル各科目ノ程度ニ準ス

第一項ニ規定シタル各科目ノ試驗ハ教育ノ大要及受験科目ノ教授法ヲ附帶シテ之ヲ行フ〔第六條第二項ト同シク正改〕

小學校專科正教員ノ試驗ハ小學校教員檢定委員會ニ於テ修身、國語、算術ニ關シ普通ノ學力ヲ有ス

ト認メタル者ニアラサレハ之ヲ行ハス

本條ニ小學校專科正教員トアルハ尋常小學校及高等小學校ニ於テ專科正教員タルコトヲ得ヘキ者ヲ謂フ

第一百十一條 尋常小學校本科正教員ノ試驗科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ體操中ノ兵式體操ハ男子ニ

限リ裁縫ハ女子ニ限ル〔明治四十年文部省令第六號改正〕

修身 道德ノ要旨

教育 教育、教授法及學校管理法ノ大要

國語 普通文及小學校教科用讀本ノ講讀並ニ作文、習字

算術 整數、分數、小數、諸等數、步合算、比例、求積、

歷史 日本歴史ノ大要

地理 日本地理及外國地理ノ大要

理科 博物、物理、化學ノ大要

圖畫 自在畫

音樂 唱歌、樂器使用法

體操 普通體操及兵式體操

裁縫 通常ノ衣類ノ裁チ方、縫ヒ方、繕ヒ方

音樂ハ之ヲ關クルコトヲ得

第一百十二條 尋常小學校准教員ノ試驗科目及其ノ程度ハ左ノ如シ體操中ノ兵式體操ハ男子ニ限ル〔同上〕



- 修身 道德ノ要旨
- 教育 教授法ノ大要
- 國語 小學校教科用讀本ノ講讀並ニ作文、習字
- 算術 整數、分數、小數、諸等數、歩合算、比例
- 歴史 日本歴史ノ大要
- 地理 日本地理及外國地理ノ大要
- 理科 博物、物理、化學ノ初步
- 圖書 簡易ナル自在書
- 唱歌 單音唱歌
- 體操 普通體操及兵式體操
- 圖書、唱歌ノ一科目若ハ二科目ハ之ヲ關クルコトヲ得
- 第百十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ就キ試驗檢定ヲ行フトキハ小學校教員檢定委員會ニ於テ第百八條乃至第百十二條ノ規定ニ對照シテ某科目ニ關シ同等以上ノ學力アリト認メタル者ニ對シテハ其ノ科目ノ試驗ヲ關クコトヲ得
  - 一 師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀ヲ有スル者
  - 二 小學校教員免許狀ヲ有スル者(同上)
  - 三 文部省直轄學校ニ於テ某科目ニ關シ特ニ教員ノ職ニ適スル教育ヲ受ケテ卒業シタル者
  - 四 小學校教員免許狀又ハ小學校師範學科卒業證書ヲ有シ其ノ有効期間滿チタル者
  - 五 小學校教員講習科ヲ卒リタル者

- 六 中學校又ハ明治二十二年文部省令第三十四條ニ依リ文部大臣ニ於テ中學校ト同等以上ト認メタル學校ヲ卒業シタル者
- 七 高等女學校ヲ卒業シタル者
- 第百十四條 試驗檢定ヲ受ケタル者ニシテ其ノ試驗ニ合格セサルモ某科目ニ關シ成績佳良ナルトキハ府縣知事ハ其ノ科目ノ成績ニ關シ證明書ヲ授與スルコトヲ得
  - 前項ノ證明書ヲ受ケタル者ニシテ更ニ試驗檢定ヲ出願スルトキハ其ノ證明書ニ記載シタル科目ノ試驗ヲ關ク(同上)
- 第百十五條 府縣知事ハ檢定手数料ヲ徵收スルコトヲ得
  - 第二節 教員ノ免許狀
- 第百十六條 府縣知事又ハ高等師範學校長女子高等師範學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ其ノ成績佳良ナル者ニ就キ普通免許狀ノ授與ヲ文部大臣ニ申請スルコトヲ得
  - 一 小學校正教員府縣免許狀ヲ有シ十箇年以上市町村立小學校、高等師範學校、女子高等師範學校師範學校訓導ノ職ニ在ル者
  - 二 高等師範學校又ハ女子高等師範學校ヲ卒業シ三箇年以上市町村立小學校、高等師範學校、女子高等師範學校、師範學校訓導ノ職ニ在ル者
  - 三 文部省直轄學校ニ於テ某科目ニ關シ特ニ教員ノ職ニ適スル教育ヲ受ケテ卒業シ三箇年以上市町村立小學校高等師範學校、女子高等師範學校、師範學校ノ訓導ノ職ニ在ル者
- 第百十七條 師範學校長ハ師範學校ヲ卒業シタル者ニ對シ小學校教員府縣免許狀ノ授與ヲ府縣知事ニ申請スヘシ



第百十八條 府縣知事ニ於テ第百七條第六號ニ該當スル者ニ小學校正教員免許狀ヲ授與セントスルトキハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第百十九條 府縣知事ハ小學校教員免許狀登錄簿ヲ作り免許狀ヲ授與シタル者ノ氏名其ノ他必要ナル事項ヲ記入スヘシ

第百二十條 普通免許狀又ハ府縣免許狀ヲ有スル者其ノ氏名ヲ變更シ又ハ免許狀ヲ毀損亡失シタルトキハ其ノ書換若ハ再渡ヲ文部大臣又ハ府縣知事ニ出願スルコトヲ得

前項ニ依リ免許狀ノ書換者ハ再渡ヲ出願スル者ハ手数料トシテ普通免許狀ニ就キテハ金壹圓、府縣免許狀ニ就キテハ府縣知事ノ定メタル金額ヲ納ムヘシ

普通免許狀ノ書換若ハ再渡ニ關スル手数料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

第百二十一條 普通免許狀又ハ府縣免許狀ヲ受ケタル者ノ氏名及免許狀ノ種類ハ文部大臣又ハ府縣知事之ヲ公告ス

### 第五章 職員

#### 第一節 學校長及教員ノ進退

第百二十二條 市町村立小學校正教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ府縣知事ハ之ニ休職ヲ命スルトヲ得

一 傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルニ因リ職務ヲ行フニ妨アルトキ

二 學校編制ノ變更又ハ訴願ノ裁決ニ因リ過員ヲ生シタルトキ

三 教員養成ヲ目的トスル官立府縣立學校ニ入學スルトキ

四 刑事事件ニ關シ告訴若ハ告發セラレタルトキ

第百二十三條 市町村立小學校正教員ニシテ陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタル者ハ當然休職者トス但シ陸軍六週間現役ニ服スル者ハ此ノ限ニアラス

第百二十四條 休職ノ期間ハ第百二十二條第一號及第二號ノ場合ニ在リテハ一箇年トシ同條第四號ノ場合ニ在リテハ其ノ事件ノ裁判所ニ繫屬中トシ同條第三號及第百二十三條ノ場合ニ在リテハ其ノ事故止ミタル後尙三箇月トス

第百二十五條 休職者ハ職務ニ從事セサル外總テ在職者ト異ナルコトナシ但シ別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニアラス

第百二十六條 市町村立小學校正教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ府縣知事ハ之ニ退職ヲ命スルトヲ得

一 不具、廢疾ニ因リ又ハ身體若ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルニ堪ヘサルトキ

二 傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ其ノ職ニ堪ヘサルニ因リ又ハ自己ノ便宜ニ因リ退職ヲ出願シタルトキ

三 休職者復職シタル爲其ノ代理ヲ要セサルトキ

第百二十七條 第百二十二條又ハ第百二十六條ノ事由ニ因ラスシテ休職又ハ退職ヲ命スル必要アリト認めタルトキハ府縣知事ハ文部大臣ノ指揮ヲ受ケ特別ノ處分ヲ爲スコトヲ得但シ休職ノ場合ニ於テハ豫メ期間ヲ定メテ具申スルコトヲ要ス

第百二十八條 市町村立小學校正教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當然退職者トス

一 當該學校ノ廢セラレタルトキ

二 休職期間滿チタルトキ



第二百二十九條 市町村立小學校教員ニシテ免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケ又ハ其ノ免許狀ニシテ效力ヲ失ヒタルトキハ當然其ノ職ヲ失フ

第二百三十條 市町村立小學校准教員ノ進退ニ關スル規程ハ府縣知事之ヲ定ム

第二百三十一條 第二百二十二條第一號、第二百二十六條第一號及第二號前段ノ事由ニ因リ處分セントスルトキハ府縣知事ハ其ノ府縣恩給顧問醫ノ意見ヲ聞クコトヲ要ス

第二百三十二條 私立小學校長及教員ノ採用解職ハ設立者ニ於テ遲滯ナク府縣知事ニ届出ツヘシ

第二節 學校長及教員ノ職務及服務

第二百三十三條 學校長及教員ニ教育ニ關スル 勅語ノ旨趣ヲ奉體シ法律命令ニ從ヒ誠實ニ其ノ職務ニ服スヘシ

第二百三十四條 學校長ハ校務ヲ整理シ所屬職員ヲ統督ス

第二百三十五條 正教員ハ兒童ノ教育ヲ擔任シ且之ニ屬スル事務ヲ掌ル

第二百三十六條 准教員ハ本科正教員ノ職務ヲ助ク

第二百三十七條 市町村立小學校長及教員ハ當該學校所在ノ市町村ニ居住スヘシ但シ監督官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス

學校長及教員ハ擅ニ其ノ職務ヲ離レ又ハ職務上居住スヘキ地ヲ離ル、コトヲ得ス

第二百三十八條 學校長及教員ハ營利ヲ目的トスル社會ノ業務執行社員、取締役、監查役ト爲リ又ハ給料ヲ受ケテ他ノ事務ヲ行フコトヲ得ス但シ府縣知事ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス

學校長及教員ハ府縣知事ノ認可ヲ受ケタルニアラザレハ營利ヲ目的トスル業務ヲ爲スコトヲ得ス

第三節 懲戒處分、業務停止及免許狀褫奪

第二百三十九條 市町村立小學校長及教員ニ對シ懲戒處分ヲ行ハントスルトキハ府縣知事ハ期間ヲ定メテ本人ヨリ手續書ヲ徵スルコトヲ要ス但シ之ヲ徵スルコト能ハサル事由アルトキハ此ノ限りニアラス

第二百四十條 懲戒處分ヲ行フヘキ事件刑事裁判所ニ繫屬スル間ハ同一事件ニ關シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得ス

第二百四十一條 市町村立小學校長及教員ニ對シ懲戒處分ヲ行フトキハ府縣知事ハ本人ニ處分書ヲ交付スヘシ

第二百四十二條 市町村立小學校長及教員ノ減俸ハ一箇月以上一箇年以下減俸ノ處分ヲ受ケタル當時ノ俸給月額ノ三分ノ一以下ヲ減給ス

第二百四十三條 市町村立小學校教員ニシテ免職ノ處分ヲ受ケタル者ハ二箇年ヲ經ルニアラザレハ教員ノ職ニ就クコトヲ得ス

第二百四十四條 第二百三十九條乃至第二百四十一條ノ規定ハ業務停止、免許狀褫奪ノ處分ニ關シ之ヲ準用ス

第二百四十四條 私立小學校長及教員ノ業務停止ハ一箇月以上二箇年以下トス

第二百四十六條 府縣知事ニ於テ學校長又ハ教員ニ對シ免職、業務停止又ハ免許狀褫奪ノ處分ヲ行ヒタルトキハ其ノ氏名、職名及事由ヲ具シ文部大臣ニ報告スヘシ

第二百四十七條 府縣知事ハ免職又ハ業務停止ノ處分ヲ受ケタル學校長及教員ニシテ改悛ノ實顯著ナリト認メタル者ニハ第二百四十三條ノ期間内又ハ業務停止ノ期間内ト雖モ文部大臣ノ認可ヲ受ケ教員ノ職ニ就クコトヲ得シメ又ハ業務停止ヲ解クコトヲ得



第四節 俸給、旅費及諸給與準則

第四百四十八條 教員ノ月俸額ハ左表ニ依リ之ヲ定ムヘシ但シ土地ノ情況ニ依リ當分ノ内明治三十年勅令第二號第六條ノ金額マテニ減スルコトヲ得(明治四十年文部省令第二十號並同)

職名	一級		二級		三級		四級		五級		六級		七級		八級		九級		十級		
	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	
本科正教員	九十五圓	八十五圓	七十圓	六十五圓	六十圓	五十五圓	五十圓	四十五圓	四十圓	三十五圓	三十圓	二十五圓	二十圓	十八圓	十四圓	十二圓					
	八十圓	六十五圓	五十五圓	四十五圓	三十五圓	二十七圓	二十二圓	十八圓	十四圓	十二圓											
專科正教員	五十圓	四十五圓	四十圓	三十五圓	三十圓	二十四圓	二十圓	十六圓	十三圓	十一圓	九圓										
	四十五圓	三十五圓	二十七圓	二十二圓	十八圓	十四圓	十二圓	八圓													
准教員	二十五圓	二十圓	十六圓	十三圓	十一圓	九圓															
	二十二圓	十八圓	十四圓	十二圓	八圓																

第四百四十九條 本科正教員ニシテ一級上俸ヲ受ケ特ニ功勞アル者ニハ漸次百二十圓マテ増スコトヲ得(明治四十四年文部省令第十五號改正)

第四百五十條 專科正教員ノ俸給ハ其ノ教授時數ニ應シ等級相當ノ俸給額ヲ減スルコトヲ得

第四百五十一條 專科正教員ニシテ他ノ小學校ノ專科正教員ヲ兼スル者ニハ關係學校ノ經費ヨリ其ノ俸給ヲ分割シテ給スルコトヲ得

第四百五十二條 教員ノ俸給ハ其ノ意ニ反シテ之ヲ減スルコトヲ得ス

第四百五十三條 休職者ニハ俸給ヲ給セス但シ府縣知事ニ於テ市町村、町村學校組合又ハ區ノ同意ヲ得タルトキハ其ノ一部若ハ全部ヲ給スルコトヲ得

第四百五十四條 教員ニシテ在職ノ儘小學校教員講習科ニ入學スル者ニハ俸給ノ一部若ハ全部ヲ給ス但シ其額ハ府縣知事ニ於テ市町村、町村學校組合又ハ區ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ムヘシ(明治四十一年文部省令第十八號改正)

第四百五十五條 教員ニシテ陸軍給與令又ハ海軍軍人俸給令(明治三十七年勅令第六號ヲ以テ海軍給與令發布海軍軍人俸給令廢止)ニ依リ俸給ヲ受クル者ニハ其ノ間俸給ヲ給セス但シ其ノ額本職ノ俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ給スルコトヲ得

第四百五十六條 教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當月分ノ俸給ハ日割ヲ以テ給スヘシ

一 懲戒ニ因リ免職ニ處セラレタルトキ

二 免許狀褫奪又ハ免許狀ノ失效ニ因リ教員ノ職ヲ失ヒタルトキ

第四百五十七條 教員死亡シタルトキハ其ノ在職中ト休職中トニ拘ラス在職最終ノ俸給月額三箇月分ヲ其ノ遺族ニ給スヘシ

第四百五十八條 正教員ノ旅費額ハ判任文官ノ例ニ準シ之ヲ定メ准教員ノ旅費額ハ地方ノ情況ヲ量リ之ヲ定ムヘシ但正教員ニシテ奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル學校長ヲ兼務スル者ノ旅費額ハ奏任文官ノ例ニ準シ之ヲ定ムヘシ(明治四十五年一月文部省令第三號改正)

第四百五十九條 教員ニシテ一週三十二時ヲ超エ教授ヲ擔任スル者ニハ手當ヲ給スヘシ

第四百六十條 學校長又ハ教員ニシテ特ニ勤勞アル者ニハ慰勞金ヲ給スルコトヲ得

第四百六十一條 教員ニシテ宿直スル者ニハ賄料ヲ給スヘシ

第四百六十二條 學校長又ハ教員ニシテ職務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル者ニハ療治料ヲ給スヘシ



シ

第六十三條 教員ニハ土地ノ情況ニ依リ住宅料ヲ給スヘシ

第六十四條 第五十九條及第六十條ニ依リ給スル金額ハ府縣知事ニ於テ管理者ノ意見ヲ聞キテ

之ヲ決定シ第六十一條乃至第六十三條ニ依リ給スル金額ハ管理者ニ於テ之ヲ決定スヘシ

第六十五條 本節ニ規定アルモノヲ除ク外俸給及旅費ノ支給方法ハ判任文官ノ例ニ準シ地方ノ情況

ヲ量リ之ヲ定ムヘシヲ

第六十六條 第四百十八條ニ掲クル表ニ依リ難キ事情アルトキハ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第六十七條 本節ニ學校長、教員トアルハ市町村立小學校ノ學校長、教員ヲ謂フ

第五節 代用教員

第六十八條 市町村立小學校代用教員ノ採用解職及懲戒處分ハ市町村立小學校准教員ノ例ニ依ル〔第六

條第二項ト

第六十九條 削除〔同上

第七十條 私立小學校代用教員ノ採用解職ニ關シテハ第三百三十二條ノ規定ヲ準用ス〔同上

第七十一條 小學校令第四十七條ノ規定竝ニ本令第五章第二節ノ規定中准教員ニ關スルモノハ代用

教員ニ準用ス

第七十二條 府縣知事ニ於テ私立小學校代用教員ヲ不適當ト認メタルトキハ之ヲ解職セシムルコト

ヲ得〔同上

第七十三條 市町村立小學校代用教員ノ俸給、旅費其ノ他諸給與ニ關スル規定ハ府縣知事之ヲ定ム

第六章 授業料

第七十四條 尋常小學校ニ於テ授業料ヲ徵收セントスルトキハ市ニ在リテハ一個月貳拾錢以下町村

又ハ町村學校組合ニ在リテハ一個月拾錢以下ニ於テ其ノ金額ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第七十五條 高等小學校ニ於テ徵收スル授業料ハ市ニ在リテハ一個月六拾錢以下町村又ハ町村學校

組合ニ在リテハ一個月參拾錢以下ニ於テ其ノ金額ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第七十六條 特別ノ事情アル市町村又ハ町村學校組合ニ於テハ他ノ小學校設置負擔ノ區域ヨリ入學

スル兒童ニ就キテハ府縣知事其ノ他ノ兒童ニ就キテハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ期限ヲ定メテ前二項ノ

制限ヲ超エタル授業料ヲ徵收スルコトヲ得〔明治四十年文部

第七十七條 小學校補習科ノ授業料ハ市町村又ハ町村學校組合ニ於テ之ヲ定ムヘシ〔命令第六號改正

第七十八條 小學校ニ於テハ學年ニ依リ授業料額ニ差等ヲ設クルコトヲ得ス

第七十九條 他ノ小學校設置負擔ノ區域ヨリ入學スル兒童ニ就キテハ第七十四條及第七十五條

ノ制限以內ニ於テ授業料額ヲ増スコトヲ得但シ兒童教育事務ヲ委託シタル市町村、町村學校組合又

ハ區ヨリ入學スル兒童ニ就キテハ此ノ限ニアラス

第八十條 貧窮ノ爲授業料ヲ納ムルコト能ハサル者ニ對シテハ管理者ハ授業料ノ全部又ハ一部ヲ免

除スヘシ

一家ノ兒童二人以上同時ニ小學校ニ就學スルトキハ管理者ハ授業料額ヲ減スルコトヲ得

第八十一條 本章ノ規定ハ私立小學校ニ關シ之ヲ適用セス

第七章 學務委員

第八十二條 市町村、町村學校組合竝ニ區ノ學務委員ハ十人以下トス但シ東京市ニ在リテハ十五人

マテニ増スコトヲ得



第八十三條 學務委員ハ左ニ掲クル事項ニ就キ市長、市參事會、町村長、町村學校組合長、區長並

ニ其ノ代理者ヲ補助シ又ハ其ノ諮問ニ應ジテ意見ヲ陳述ス

一 就學督促ニ關スルコト

二 家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者ノ認可ニ關スルコト

三 就學義務ノ免除又ハ就學ノ猶豫ニ關スルコト

四 設備ニ關スルコト

五 經費豫算ノ調製ニ關スルコト

六 授業料ニ關スルコト

七 學校基本財産ニ關スルコト

八 教科目ノ加除及小學校令第二十條第二項ノ教科目選定ニ關スルコト [上同]

九 修業年限ニ關スルコト

十 補習科ノ設置廢止ニ關スルコト

第八十四條 公民中ヨリ選舉セラレタル學務委員ノ任期ハ四箇年トス

補缺選舉ニ依リ就任シタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第八十五條 學務委員ニシテ資格ノ要件ヲ失ヒタル者ハ當然其ノ職ヲ失フ

第八章

[明治四十年文部省令第六號削除]

第八十六條

第八十七條

第八十八條

[上同] [上同] [上同]

第八十九條

第九十條

第九十一條

第九十二條

第九十三條

第九十四條

[上同] [上同] [上同] [上同] [上同] [上同]

第九章

幼稚園及小學校ニ類スル各種學校

第九十五條 幼稚園ハ滿三歳ヨリ尋常小學校ニ入學スルマテノ幼兒ヲ保育スルヲ以テ目的トス

第九十六條 幼兒ヲ保育スルニハ其ノ心身ヲシテ健全ニ發達セシメ善良ナル習慣ヲ得シメ以テ家庭

教育ヲ補フベシトシテ要ス

幼兒ノ保育ハ其ノ心身發達ノ程度ニ副ハシムヘク其ノ會得シ難キ事項ヲ授ケ又ハ過度ノ業ヲ爲サシムルコトヲ得ス

常ニ幼兒ノ心情及行儀ニ注意シテ之ヲ正シクセシメ又常ニ善良ナル事例ヲ示シテ之ニ倣ハシメンコトヲ務ムヘシ

第九十七條 幼兒保育ノ項目ハ遊戲、唱歌、談話及手技トス

第九十八條 削除 [第六條第二項下同シテ改正]

第九十九條 削除 [上同]

第一百條 削除 [上同]

第一百零一條 削除 [上同]



第二百二條 保育ノ時數ハ管理者又ハ設立者ニ於テ之ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ(上同)

第二百三條 幼稚園ニ園長ヲ置クコトヲ得

第二百四條 幼稚園ニ於テ幼兒ヲ保育スル者ヲ保母トス  
保母ハ女子ニシテ小學校ノ本科正教員又ハ准教員タルヘキ資格ヲ有スル者又ハ府縣知事ノ免許ヲ得タル者タルヘシ(上同)

第二百五條 ノ二 保母ノ免許ヲ得ルニハ檢定ニ合格スルコトヲ要ス  
前項檢定ハ小學校教員檢定委員會ニ於テ之ヲ行フ

檢定ニ關スル規程ハ府縣知事之ヲ定ム  
第二百四條第百十四條第百十五條第百十九條乃至第百二十一條ノ規定ハ保母ノ檢定及免許ニ關シ之ヲ準用ス(上同)

第二百五條 幼稚園長及保母ノ採用、解職、懲戒處分、業務停止ハ小學校教員ノ例ニ依ル(上同)

市町村立幼稚園長及保母ノ俸給、旅費其ノ他諸給與ニ關スル規程ハ府縣知事之ヲ定ム  
第二百六條 幼稚園ノ幼兒數ハ約百千人以下トス但特別ノ事情アルキハ約二百人マテニ増スヲ得(上同)

第二百七條 保母一人ノ保育スル幼兒數ハ約四十人以下トス(上同)

第二百八條 幼稚園ノ設備ハ左ノ各號ノ規定ニ依ルヘシ  
一 建物ハ平家造トシ保育室、遊戲室其ノ他必要ナル諸室ヲ備フヘシ

二 保育室ノ大ハ幼兒五人ニ付一坪ヨリ小ナルコトヲ得ス  
三 遊園ハ幼兒一人ニ付キ一坪ノ割合ヲ以テ設クルヲ常例トス  
四 恩物、繪畫、遊戲道具、樂器、黑板、机、腰掛、時計、寒暖計、暖房器其ノ他必要ナル器具ヲ

備フヘシ

五 敷地、食料水及採光窓ニ關シテハ小學校ノ例ニ依ルヘシ  
第二百九條 盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校ニハ學校長ヲ置クコトヲ得

第二百十條 盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校教員ハ小學校教員タルヘキ資格ヲ有スル者又ハ府縣知事ノ免許ヲ得タル者タルヘシ

第二百十一條 盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校ノ學校長及教員ノ採用、解職懲戒處分、業務停止ハ小學校教員ノ例ニ依ル(上同)

市町村立ノ盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校長及教員ノ俸給旅費其ノ他諸給ニ關スル規程ハ府縣知事之ヲ定ム(上同)

第十章 附 則

第二百十二條 本令ハ明治三十三年九月一日ヨリ施行ス但シ第一章中第一節乃至第四節、第五章中第四節及第五節、第六章、第八章ノ規定ハ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス

第二百十三條 小學校ニ於テ第三十五條ノ規定ニ依リ難キ事情アルトキハ明治三十四年四月一日ヨリ五箇年間ハ三學級毎ニ本科正教員一人及准教員二人ヲ置クコトヲ得

既設小學校ノ編制ニシテ第三十五條ヲ除ク外第一章第三節ノ規定ニ抵觸スル場合ニ於テ特別ノ事情アルトキハ市町村、町村學校組合又ハ設立者ニ於テ期間ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受ケ同節ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第二百十四條 既設ノ補習科ニ於テ第一章第四節ノ規定施行ノ際現ニ其ノ教科ヲ學習スル兒童ニ就キテハ其ノ兒童ノ修了スルニ至ルマテ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得



第二百十五條 本令施行前府縣知事ニ於テ採定シタル小學校教科用圖書ハ本令施行後仍其ノ效力ヲ有ス

第六十條ノ規定ニ依リ學年開始前公布ヲ爲スヘキ期間ハ本令施行ノ日ヨリ明治三十四年三月三十一日マテハ六十日トス

第二百十六條 本令施行前府縣知事ニ於テ定メタル規定ニ依リ編纂シタル學齡簿及學籍簿ハ第三章ノ規定ニ依リ編製シタルモノト看做ス

第二百十七條 本令施行前ニ授與シタル小學校教員免許狀及之ト同一ノ效力ヲ有スル小學校師範科卒業證書ハ本令ノ規定ニ依ル小學校教員免許狀中之ニ相當スルモノト同一ノ效力ヲ有ス

第二百十八條 本令施行前從前ノ規程ニ依リ休職ヲ命セラレタル教員ノ休職期間ハ仍從前ノ例ニ依ル

第二百十九條 市町村立小學校教員ノ俸給、旅費其他諸給與ニ關シテハ本令施行ノ日ヨリ明治三十四年三月三十一日迄ハ府縣知事ニ於テ定メタル從前ノ規程ニ依ル

第二百二十條 本令施行ノ際現ニ學務委員ノ職ニ在ル者ニシテ公民中ヨリ選舉セラレ任期アル者ハ任期ノ滿了マテ其ノ職ヲ失フコトナシ其ノ任期ナキ者ハ本令施行ノ日ヨリ第百八十四條第一項ノ任期ヲ起算ス

本令施行ノ際現ニ學務委員ノ職ニ在ル者ノ數第百八十二條ニ規定シタル制限ニ起過スルトキハ抽籤ニ依リテ退職者ヲ定ムヘシ

第二百二十一條 第八章ノ規定施行ノ際現ニ代用中ノ私立小學校ノ代用ニ關シテハ協議ニ依リ定メタル期間ノ滿了マテ從前ノ例ニ依ル

第二百二十二條 既設幼稚園ニシテ第百六條及第百八條ノ規定ニ依リ難キトキハ期間ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受ケ之ニ依ラサルコトヲ得

第二百二十三條 明治二十四年文部省令第九號、同第十四號、同第十六號、同第十八號乃至同第二十三號、明治二十六年文部省令第二號、同第三號、明治二十七年文部省令第一號、同第九號、明治二十九年文部省令第十號、同第十一號、明治三十二年文部省令第三十二號、同第三十七號ハ之ヲ廢止ス

明治二十七年文部省令第二十六號中補習科ニ關スル規定、明治二十四年文部省令第一號、同第四號、同第八號、同第十號乃至同第十三號、明治二十五年文部省令第七號、明治二十六年文部省令第九號、明治三十年文部省令第二號ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ廢止ス

明治三十六年 文部省令第十一號 及明治三十七年文部省令第十九號ヲ以テ改正ニ關スル附則

明治三十六年文部省令第十一號ヲ以テ改正ノ條項ハ明治三十六年四月一日ヨリ施行但シ第十三條、第十八條、第百八十三條、第六號及第七號表ニ關スル改正ハ明治三十七年四月一日ヨリ施行

明治三十七年四月一日ニ於テ現ニ高等小學校ニ在學スル兒童ニハ其ノ卒業スルニ至ルマテ小學校令第二十條第三項ノ教科目ヲ課セサルコトヲ得

同三十七年四月一日ニ於テ現ニ高等小學校ニ在學スル兒童ニシテ從前ノ規定ニ依リ手工、農業、商業ノ科目ヲ學習スル者ニ就キテハ其ノ卒業スルニ至ルマテ當該教科目ニ關シ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

明治三十六年文部省令第二十二號ヲ以テ改正ノ條項ハ明治三十七年四月一日ヨリ施行但シ施行前小學校令第二十四條第二項ハ同條第三項ノ採定ヲ爲ス場合ニ關シテハ同令第五十三條乃至第五十七條ヲ適用ス

圖書及高等小學校ノ算術ノ教科用圖書ニ關シテハ同令第五十三條ノ規定ニ拘ラス明治三十八年三月三十一日迄ハ文部省ニ於テ著作權ヲ有スルモノ及文部大臣ノ檢定ヲ經タルモノニ就キ府縣知事之ヲ採定ス但シ文部大臣ノ檢定ヲ經タル圖書ヲ採定シタル場合ニ於テ使用ヲ始メタル後四箇年ヲ經タル圖書ハ採定ノ効力ヲ失フ



明治三十六年文部省令第三十四號ヲ以テ改正ノ事項ハ明治三十七年四月一日ヨリ施行  
 同令施行ノ際從前ノ規定ニ依リ編纂シタル國語及日本歴史ノ教科用圖書ヲ使用スルモノハ其ノ使用期間當該科目ノ教授程  
 度ニ關シ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

明治三十七年文部省令第十九號ヲ以テ改正ノ條項ハ明治三十八年四月一日ヨリ施行  
 同令施行ノ際現ニ在學セル兒童ニ就キテハ其ノ卒業ニ至ルマテ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

第十一章 明治四十年文部省令第六號附則

本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ施行ス但シ第二十九條第二項、第三十一條、第四十條、第四十八  
 條、第五十二條、第九十七條、第一百十六條、第一百七十六條、第八十三條、及第八章ノ改正ハ明治  
 四十年四月一日ヨリ施行ス

明治四十年勅令第五十二號附則第四項ノ教科目ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル但シ管理者又ハ設立者  
 ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受ケ本令ノ規定ヲ斟酌スルコトヲ得

地理ノ教授ノ程度ニ關シテハ從前ノ規定ニ依リ編纂シタル教科用圖書ヲ使用スル間ハ仍從前ノ例ニ  
 依ル

本令施行ノ際存在スル補習科ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

本令施行前第一百四條第一項ニ依リ授與シタル證明書ノ効力ハ仍從前ノ規定ニ依ル  
 市町村又ハ町村學校組合ハ當分ノ内府縣知事ノ認可ヲ受ケ本令施行ノ際現ニ高等小學校ニ於テ徵收  
 スル授業料額ノ範圍内ニ於テ尋常小學校第五學年及第六學年ノ授業料額ヲ定メ之ヲ徵收スルコトヲ  
 得

明治四十年勅令第五十二號附則第二項ニ依リ存續スル代用私立小學校ニ關シハ仍從前ノ規定ニ依ル  
 明治四十年勅令第五十二號附則第三項ニ依ル尋常小學校ノ兒童ノ學籍簿ハ仍從前ノ様式ニ依ルコト

ヲ得

第十二章 明治四十四年文部省令第二十四號附則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ施行ス  
 本令施行ノ際現ニ高等小學校ニ在學スル兒童ニ對シテハ其ノ卒業ニ至ルマテ教科目、各學年ノ教授ノ  
 程度及每週教授時數ニ關シ從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

第四號表

(第一號表乃至第三號表ハ明治四十一年  
 文部省令第二十六號ヲ以テ削除セラレ)

學年	教科日	修身	國語	算術	教授時數	
					第一學年	第二學年
第一學年	二	二	一〇	五	六	六
第二學年	二	二	二	六	六	六
第三學年	二	二	一四	六	六	六
第四學年	二	二	一四	六	六	六
第五學年	二	二	一〇	四	四	四
第六學年	二	二	一〇	四	四	四

第三編 普通教育



科目	第一學年		第二學年	
	授時數	修身	授時數	修身
國語	八	二	八	二
算術	四	二	四	二
日本歷史	三	二	三	二
地理	三	二	三	二
理科	二	二	二	二
圖畫	一	一	一	一

國語 第一學年 日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方  
 算術 第一學年 分數 比例 珠算 加減乘除  
 日本歷史 第一學年 日本歷史ノ大要  
 地理 第一學年 外國地理ノ大要  
 理科 第一學年 植物、動物、礦物及自然ノ現象、通常ノ物理化學上ノ現象、元素及化合物、簡易ナル器械ノ構造、作用、人身生理衛生ノ大要  
 圖畫 第一學年 諸般ノ形體  
 國語 第二學年 日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方  
 算術 第二學年 比例 (日用簿記) 珠算 加減乘除  
 日本歷史 第二學年 前學年ノ續キ  
 地理 第二學年 地理ノ補習  
 理科 第二學年 自然ノ現象、通常ノ物理化學上ノ現象、元素及化合物、簡易ナル器械ノ構造、作用、人身生理衛生ノ大要  
 圖畫 第二學年 諸般ノ形體 (簡易ナル幾何畫)

第五號表 (明治四十四年文部省令第二十四號改正)  
 圖畫ハ第一學年第二學年ニ於テハ每週一時之ヲ課スルコトヲ得  
 手工ハ第一學年第二學年第三學年ニ於テハ每週一時、第四學年第五學年第六學年ニ於テハ每週二時之ヲ課スルコトヲ得  
 及手工ノ各欄ハ朱書トス

計	第一學年		第二學年	
	授時數	修身	授時數	修身
手工	二	二	二	二
裁縫	二	二	二	二
體操	四	四	三	三
唱歌	四	四	二	二
圖書	一	一	一	一
理科	二	二	二	二
地理	三	三	三	三
歷史	三	三	三	三

第一學年 手工 簡易ナル細  
 裁縫 簡易ナル細  
 體操 遊戲  
 唱歌 音唱歌  
 圖書 單形 簡單ナル形體  
 理科 單形 簡單ナル形體  
 地理 單形 簡單ナル形體  
 歷史 單形 簡單ナル形體  
 第二學年 手工 簡易ナル細  
 裁縫 簡易ナル細  
 體操 普通體操  
 唱歌 音唱歌  
 圖書 單形 簡單ナル形體  
 理科 單形 簡單ナル形體  
 地理 單形 簡單ナル形體  
 歷史 單形 簡單ナル形體



算術	日本歴史	地理	理科	圖畫	唱歌	體操	裁縫	手工	農業	商業
四 分數 步合算 比例 (珠算 加減乘除)	三 日本歴史ノ大要	三 外國地理ノ大要	男二 植物、動物、礦物及自然ノ現象、通常ノ物理化學上ノ現象、元素及化合物、簡易ナル器械ノ構造、作用、人身生理衛生ノ大要 女三 家事ノ大要	一 諸般ノ形體	一 單音唱歌 (簡易ナル複音唱歌)	三 普通體操、遊戲 男 兵式體操	五 通常ノ衣類ノ縫ヒ方、裁チ方、繕ヒ方	男六 簡易ナル製作、製圖 女六	男六 農事 農事ノ大要 水産 水産ノ大要 女六	男六 商業ノ大要 女六 (英語)
四 比例 (珠算 加減乘除)	三 前學年ノ續キ	三 地理ノ補習	男二 自然ノ現象、通常ノ物理化學上ノ現象、元素及化合物、簡易ナル器械ノ構造、作用、人身生理衛生ノ大要 女三 家事ノ大要	一 諸般ノ形體 (簡易ナル幾何畫)	一 單音唱歌 (簡易ナル複音唱歌)	三 普通體操、遊戲 男 兵式體操	五 通常ノ衣類ノ縫ヒ方、裁チ方、繕ヒ方	男六 簡易ナル製作、製圖 女六	男六 農事 農事ノ大要 水産 水産ノ大要 女六	男六 商業ノ大要 女六 (英語)
男四 女三 前學年ノ補習 求積 (日用簿記) (珠算 加減乘除)	二 維新以來ノ事歴	二 地理ノ補習	三 理科ノ補習 女 家事ノ大要	一 諸般ノ形體 (簡易ナル幾何畫)	一 單音唱歌 (簡易ナル複音唱歌)	三 普通體操、遊戲 男 兵式體操	七 通常ノ衣類ノ縫ヒ方、裁チ方、繕ヒ方	男六 簡易ナル製作、製圖 女六	男六 農事 農事ノ大要 水産 水産ノ大要 女六	男六 商業ノ大要 女六 (英語)

國語	修身	學科	學年	授時數	第一學年	第二學年	第三學年	計	商業	農業	手工	裁縫	體操	唱歌
八 日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方	二 道德ノ要旨	第一學年	第一學年	八	八 日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方	二 道德ノ要旨	八 日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方	男三〇 女三二	男六 女二 (英語)	男六 女二 農事 農事ノ大要 水産 水産ノ大要	男六 女二 簡易ナル製作、製圖	五 通常ノ衣類ノ縫ヒ方、裁チ方、繕ヒ方	三 普通體操 遊戲 男 兵式體操	一 單音唱歌 (簡易ナル複音唱歌)
八 日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方	二 道德ノ要旨	第二學年	第二學年	八	八 日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方	二 道德ノ要旨	八 日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方	男三〇 女三二	男六 女二 (英語)	男六 女二 農事 農事ノ大要 水産 水産ノ大要	男六 女二 簡易ナル製作、製圖	五 通常ノ衣類ノ縫ヒ方、裁チ方、繕ヒ方	三 普通體操 遊戲 男 兵式體操	一 單音唱歌 (簡易ナル複音唱歌)
八 日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方	二 道德ノ要旨	第三學年	第三學年	八	八 日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方	二 道德ノ要旨	八 日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方	男三〇 女三二	男六 女二 (英語)	男六 女二 農事 農事ノ大要 水産 水産ノ大要	男六 女二 簡易ナル製作、製圖	五 通常ノ衣類ノ縫ヒ方、裁チ方、繕ヒ方	三 普通體操 遊戲 男 兵式體操	一 單音唱歌 (簡易ナル複音唱歌)

實習ニ關シテハ適宜本表ノ時數外ニ涉リテ尙之ヲ課スルコトヲ得  
男兒ノ手工、農業、商業ハ土地ノ情況ニ依リ本表ノ時數ヨリ二時以內ヲ減シテ適宜他ノ教科目ニ  
配當スルコトヲ得  
第六號表 (同上)







第六學年

備考 學校醫ヲ置カサル學校ニ於テハ身体ノ狀況ハ之ヲ闕クコトヲ得

○小學校令施行細則

明治四十四年四月十日  
大分縣令第三十一號

(明治四十五年三月大分縣令第九號改正)

第一章	設 置
第一節	小 學 校
第二節	幼稚園、盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校
第二章	教科及編制
第一節	修業年限及教科目
第二節	編 制
第三節	學年、學期、教授ノ時刻、休業日
第四節	成績調査及證書
第五節	補習科
第三章	設 置
第四章	就 學
第五章	教員檢定及免許狀
第六章	職 員

第一節	學校長及教員ノ進退
第二節	學校長及教員ノ職務及服務
第三節	俸 給
第四節	旅 費
第五節	諸 給 與
第六節	代用教員
第七章	費用負擔及授業料
第八章	區長及學務委員
第九章	幼稚園、盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校ノ職員
第十章	附 則
小學校令施行細則	
第一章	設 置
第一節	小 學 校
第一條	小學校令第九條第二項ニ依リ町村立尋常小學校ノ校數並位置ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ但シ單ニ位置ノ指定替ヲ爲ス場合ハ第二號第四號第五號第七號乃至第十號ノ事項ヲ具シ又校地擴張ノ爲位置指定替ニ止マル場合ハ第二號第七號第九號ノ事項ヲ具スヘシ
一校	數
名稱ヲ附記スヘシ	
二 位	置



町村大字名、地番、地目、反別ヲ記スヘシ

三 開校年月日

四 戸數及人口

學校數二個以上ニシテ通學區域ヲ異ニスルトキハ其ノ區域毎ニ之ヲ掲クヘシ

五 學齡兒童數

就學不就學ヲ區分シ尙就學兒童中已ニ尋常小學校ヲ卒業シタル者ト現在同教科修業中ノ者トヲ區分スヘシ但シ學校數二個以上ニシテ通學區域ヲ異ニスルトキハ其ノ區域毎ニ之ヲ掲クルヲ要ス學校數二個以上ニシテ通學區域ヲ同ウスルトキハ各學校ニ收容スヘキ兒童ノ見込數ヲ掲ケ又委託ヲ受ケ若ハ委託セシムヘキ兒童アルトキハ其ノ數ヲ別記スヘシ

六 町村又ハ町村學校組合歳入歳出豫算表

七 校地校舎ノ圖面

校地ニ關シテハ其ノ坪數、地質、高低、四圍ノ狀況、飲料水ノ有無並其ノ適否及體操場 庭園等ノ區域並其ノ坪數ヲ記スヘク又校舎ニ關シテハ各室ノ名稱、坪數並學級ニ對スル配當ヲ記載シ且其ノ方位ヲ示スヘシ但シ校地ノ擴張ニ止マル場合ハ新舊校地ノ區別及其ノ坪數ヲ明記スルヲ要ス

八 地 圖

關係町村及其ノ各部ノ名稱、區域、道路、山川、人家、學校ノ位置、學校ヨリ各部ニ至ル距離ヲ記載スヘシ但シ位置指定替ノトキハ新舊校地ノ距離ヲ附記スルヲ要ス

九 町村又ハ町村學校組合ノ意見

十 校數、位置ニ關シ道德上、衛生上並兒童通學上ヨリ觀察シタル意見

市町村又ハ市町村學校組合ニ於テ校數並位置ノ指定ヲ受ケタル後學校ノ名稱又ハ開校年月日ヲ變更セントスルトキハ其事由ヲ具シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

郡長ニ於テ町村立尋常小學校ノ校數、位置ヲ指定シタルトキ並學校ノ名稱又ハ開校年月日ノ變更ヲ認可シタルトキハ遲滞ナク知事ニ報告スヘシ

第二條 小學校令第十五條ニ依リ市町村立高等小學校設置ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ但シ位置ヲ變更スル場合ハ第一號第四號第五號第七號乃至第十號ノ事項ヲ具シ又校地ノ擴張ニ止マル場合ハ第一號第七號第九號ノ事項ヲ具スヘシ

一 位 置

二 名 稱

三 開校年月日

四 戸數及人口

五 入學セシムヘキ兒童數並學級數

六 市町村又ハ町村學校組合歳入歳出豫算表

七 校地校舎ノ圖面

八 地 圖

九 市町村會又ハ町村學校組合會議ノ情況

十 校地ニ關シ道德上、衛生上並兒童通學上ヨリ觀察シタル意見  
前項第一號第四號第七號第八號ノ記載方ハ前條ノ例ニ準スヘシ



市町村立高等小學校ノ名稱又ハ開校年月日ヲ變更シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク管理者ヨリ知事ニ届出ツヘシ

市町村立尋常小學校ニ高等小學校ノ教科ヲ併置セントスルトキハ第一項第二號乃至第九號ノ事項並其ノ尋常小學校ノ児童數及設備ノ狀況ヲ具シ申請スヘシ

市町村立尋常高等小學校位置ノ變更又ハ校地ノ擴張ヲ爲ス場合ハ高等小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分ニ對スル手續ヲ省クコトヲ得

市町村立高等小學校ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由及處分方法等ヲ詳具シ申請スヘシ

第三條 小學校令第十條ニ依リ町村學校組合ノ設置若ハ兒童教育事務委託ノ認可ヲ受ケントスルトキ又ハ同令第十四條第四項ニ依リ町村學校組合設置認可ノ指揮ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

一 事由

關係町村ノ地勢、通學ノ便否、人情習慣並其ノ町村ノ資力ト經費負擔ノ關係等ヲ記載スヘシ

二 關係町村ノ戸數及人口

兒童教育事務委託ノ場合ハ其ノ委託セシムヘキ部分ノ戸數及人口ヲモ併記スヘシ

三 關係町村ノ學齡兒童數

兒童教育事務委託ノ場合ハ其ノ委託セシムヘキ部分ノ學齡兒童數ヲモ併記スヘシ

四 關係町村ノ入學セシムヘキ兒童數

兒童教育事務委託ノ場合ハ其ノ委託セシムヘキ部分ノ入學兒童數ヲモ併記スヘシ

五 地圖

第一條第一項第八號ノ例ニ依ルヘシ

六 關係町村、町村學校組合及區ノ意見

前項ノ學校組合解止ノ認可若ハ其ノ指揮ヲ受ケントスルトキ又ハ兒童教育事務ノ委託ヲ止メシメントスルトキハ其ノ事由、處分方法並關係町村、町村學校組合及區ノ意見ヲ具シ申請スヘシ

第四條 小學校令第十一條第二項ニ依リ小學校指定ノ認可ヲ受ケントスルトキハ第三條ニ準シ申請スヘシ

前項ノ指定ヲ止メントスルトキハ其ノ事由並關係町村、町村學校組合及區ノ意見ヲ具シ申請スヘシ

第五條 前各條ノ取扱ヲ同時ニ爲サントスルトキ其ノ事項ノ重複ニ涉ルモノハ便宜省略スルコトヲ得

第六條 小學校令第十六條ニ依リ私立小學校設置認認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

一 位置

二 名稱

三 開校年月日

四 児童ノ定員及學級編制

五 入學其ノ他授業料等ニ關スル規程

六 校地校舎ノ圖面並其ノ所有ノ區別

第一條第一項第七號記載ノ例ニ依ルヘシ

七 維持方法及經費收入支出ノ豫算表

八 職員數及俸給額ノ豫定



前項第一號第五號第六號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ事由ヲ具シ認可ヲ受クヘク第二號乃至第四號ノ變更ハ知事ニ届出ツヘシ

第二節 幼稚園、盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校

第七條 小學校令第十七條第一項ニ依リ幼稚園設置ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

一位 置

市町村立ニ係ルモノハ第一條第一項第二號ノ例ニ依ルヘシ但シ小學校ニ附設スル場合ハ其ノ學校名ヲ記載スルヲ要ス

二名 稱

三 開園年月日

四 入園セシムヘキ幼兒數又ハ其ノ定員

五 保育年限

六 毎日ノ保育時數

七 保育項目及程度並各項目ノ毎週保育時數

八 入園、退園及保育料等ニ關スル規程

九 敷地建物ノ圖面

第一條第一項第七號記載ノ例ニ準スヘシ但シ私立ニ係ルモノハ其ノ所有ノ區別ヲ記載スルヲ要ス

十 市町村又ハ町村學校組合歳入歳出豫算表私立ニ係ルモノハ維持方法並經費收入支出ノ豫算表

十一 職員數及俸給額ノ豫定

十二 市町村立ニ係ルモノハ市町村會又ハ町村學校組合決議ノ情况

前項第一號第五號乃至第九號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ事由ヲ具シ認可ヲ受クヘク第二號乃至第四號ノ變更ハ知事ニ届出ツヘシ

市町村立幼稚園ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由及處分方法並市町村會又ハ町村學校組合決議ノ情况ヲ具シ申請スヘシ

第八條 小學校令第十七條第一項ニ依リ啞盲學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校設置ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

一位 設置ノ目的

二位 置

市町村立ニ係ルモノハ第一條第一項第二號ノ例ニ依ルヘシ但シ小學校ニ附設スル場合ハ其ノ學校名ヲ記載スルヲ要ス

三名 稱

四 開校年月日

五 生徒ノ定員及學級編制

六 修業年限

七 教科目及程度並各教科目ノ每週教授時數

八 入學、退學及授業料等ニ關スル規程

九 教科用圖書



十 敷地建物ノ圖面

第一條 第一項第七號記載ノ例ニ準スヘシ但シ私立ニ係ルモノハ其ノ所有ノ區別ヲ記載スルヲ要ス

十一 市町村又ハ町村學校組合歲入歲出豫算表私立ニ係ルモノハ維持方法及經費收入支出ノ豫算表十二 職員及俸給額豫定

十三 市町村立ニ係ルモノハ市町村會又ハ町村學校組合決議ノ情況  
前項第一號第二號第六乃至第十號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ事由ヲ具シ認可ヲ受クヘク第三號乃至第五號ノ變更ハ知事ニ届出ツヘシ

市町村立盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校ヲ廢止セントスルキトハ其ノ事由及處分方法並市町村會又ハ町村學校組合決議ノ情況ヲ具シ申請スヘシ

第九條 小學校令第十七條第一項ニ依リ幼稚園、盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校設置ノ爲町村學校組合ノ設置又ハ解止認可ノ指揮ヲ受ケントスルトキハ第三條ニ準シ各事項ヲ具シ申請スヘシ

第二章 教科及編制

第一節 修業年限及教科目

第十條 小學校令第二十三條第二項ニ依リ高等小學校修業年限延長ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ申請スヘシ

第十一條 小學校令第二十三條第一項ニ依リ小學校ノ教科目ヲ加除シ又ハ同令第二十條第二項ノ教科目ヲ定メントスルトキハ其ノ事由並各教科目ノ每週教授時數ヲ具シ申請スヘシ

第二節 編制

第十二條 小學校令施行規則第四十條ニ依リ二部教授編制ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

一 事由

小學校令施行規則第三十四條各號ノ何レニ該當スルカ其ノ事實ヲ明記スヘシ

二 各部兒童數

學級、學年及其ノ男女別人員ヲ記載スヘシ

三 各教科目ノ每週教授時數

四 市町村會又ハ町村學校組合決議ノ情況

前項第三號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ事由ヲ具シ認可ヲ受クヘシ

二部教授ノ編制ヲ廢止シタルトキハ管理者ヨリ知事ニ届出ツヘシ

第十三條 小學校令施行規則第四十一條ニ依リ學級ノ編制又ハ變更ヲ届出ツルトキハ各學級ヲ組織スル兒童ノ學年及男女別人員ヲ具スヘシ但シ小學校令施行規則第三十條第二項ニ依リ編制シタル場合ニ於テハ其ノ特別ノ事情ヲ併記スヘシ

第十四條 小學校令施行規則第二十九條第二項又ハ第三十一條第四項ニ依リ學級編制ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

一 事由

二 學級數並各學級ヲ組織スル兒童ノ學年及男女別人員

第十五條 小學校令施行規則第四十條ニ依リ正教科ノ兒童ト補習科ノ兒童トヲ合シタル學級編制ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ







學校長ハ土地ノ情況ニ依リ管理者ヲ經テ監督官廳ノ認可ヲ受ケ一時間以下ノ範圍内ニ於テ毎日教授終始時刻ヲ繰上ケ又ハ繰下クルコトヲ得

夏季冬季休業日ノ前後ニ於テ毎日ノ教授時數ヲ減シ又ハ二部教授ヲ爲ス場合ニ於テハ學校長ハ毎日ノ教授終始時刻ヲ適宜伸縮スヘシ

第十九條 學校長ハ夏季冬季休業日ノ前後ニ於テ毎日ノ教授時數ヲ減シタルトキハ其ノ日數及各教科目ノ每週教授時數ヲ具シ管理者ヲ經テ監督官廳ニ届出ツヘシ

第二十條 小學校ノ休業日ハ左ノ如シ

一 祝日、大祭日及日曜日

二 教育勅語下賜紀念日

三 夏季休業七月二十一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

四 冬季休業十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

五 學年末休業三月二十七日ヨリ同月三十一日ニ至ル

六 學校所在地氏神祭日(年一回一日ニ限ル)

七 開校紀念日

前項第二號第七號ノ紀念日ニハ小學校令施行規則第二十八條ニ準シ式ヲ行フヘシ

特別ノ事情アルトキハ學校長ハ監督官廳ノ許可ヲ得テ第一項各號ノ外臨時休業ヲナシ又ハ夏季冬季休業日ヲ他ノ季節ニ繰替フルコトヲ得但シ臨時休業ハ三週間ヲ超過スルコトヲ得ス

學校長ニ於テ前項ノ許可ヲ受ケントスルトキハ管理者ヲ經由スヘシ

第二十一條 小學校令第二十七條第三項ニ依リ傳染病豫防其ノ他非常變災ノ爲郡長ニ於テ臨時小學校

ノ閉鎖ヲ命シ又ハ急迫ノ場合ニシテ管理者若ハ設立者ヨリ其ノ閉鎖ノ届出ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク知事ニ報告スヘシ

第四節 成績調査及證書

第二十二條 小學校ニ於テ各學年ノ課程ノ修了若ハ全教科ノ卒業ヲ認ムルニハ別ニ試験ヲ用フルコトナク兒童中素ノ成績ヲ考查シ學期及學年ノ終ニ於テ一學期又ハ一學年間ノ成績ヲ通シテ評定シ其ノ資料トナスヘシ

單級又ハ數學年ノ兒童ヲ一學級ニ編制シタル場合ニ於テハ前項ノ例ニ依リ學年成績ヲ調査シ更ニ各學年ニ於ケル成績ヲ通シテ評定シ修業又ハ卒業ノ認定ニ資スヘシ

第二十三條 兒童ノ學業成績ヲ査定スルニハ其ノ等位ヲ甲乙丙丁ノ四等ニ分チ甲乙丙ヲ及第ト爲シ丁ヲ落第ト爲スヘシ但シ學校長ノ意見ニ依リ他ノ方法ヲ以テ之ヲ代ユルコトヲ得此ノ場合ハ其ノ方法ヲ具シ監督官廳ニ報告スヘシ

第二十四條 小學校ニ於テ授與スヘキ卒業證書、修業證書及學習證書ハ第一號乃至第三號書式ニ依ルヘシ

第五節 補習科

第二十五條 小學校令第二十三條第二項ニ依リ補習科設置ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

- 一 入學セシムヘキ兒童ノ男女別人員
- 二 學級數及每學級兒童ノ男女別人員
- 三 經費豫算ノ總額及其ノ細目



四 授業料ニ關スル規程  
五 教科目

隨意科目ト爲スモノハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

六 修業年限

七 教授日、教授時間並教科目毎週教授時數

八 補習科教室ノ坪數

正教科ヲ教授スル教室ヲ使用スルトキハ其ノ旨ヲ記スヘク又正教科ヲ授クル校舍外ニ設ケントスルトキハ其ノ校舍トノ距離ヲ記スヘシ

九 擔任教員

正教科ヲ教授スル教員ヲシテ擔任セシムルカ又ハ別ニ其ノ教員ヲ置クカ若シ小學校令施行規則第五十一條第三項ニ依ラントスルトキハ其ノ特別ノ事情ヲ具スヘシ

十 市町村會又ハ町村學校組合會議ノ情况

前項第五號乃至第七號ノ變更ハ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘク第四號第八號第九號ノ變更ハ知事ニ届出ツヘシ

補習科ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ申請スヘシ

第二十六條 小學校令施行規則第五十二條ニ依リ補習科教科用圖書ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

- 一 書名、冊數、著作者氏名、出版者住所氏名、定價
- 二 學年若ハ學級ニ對スル配當

第三章 設 備

第二十七條 校地ハ學校ノ規模ニ適應スル面積ヲ有シ開豁乾燥ニシテ衛生ニ適シ且兒童ノ通學ニ便利ナル場所ヲ選フヘシ

校地ハ道德上嫌惡スヘキ場所喧鬧ニシテ教授ニ妨アル場所又ハ危險ナル場所ニ接近セサルコトヲ要ス

校地ニハ善良ナル飲料水ヲ供給スルノ備ヲナシ又下水渠ヲ設クヘシ

校地ノ周圍ニハ成ルヘク相當ノ圍ヲ設ケ且校舍ノ周圍ニハ樹木花卉ヲ栽培スヘキ餘地ヲ存スヘシ

第二十八條 體操場ハ分チテ屋外體操場及屋内體操場ノ二トス

屋外體操場ハ成ルヘク校地内ノ南方、東南方又ハ西南方ヲ選ヒ方形若ハ之ニ類スル形狀ヲ備ヘ其ノ面積ハ凡ソ左ノ例ニ依ルヘシ

- 一 尋常小學校ニ於テハ兒童百人未滿ハ百坪以上トシ百人以上ハ兒童一人ニ付一坪以上ノ割合トス
- 二 高等小學校ニ於テハ兒童百人未滿ハ百五十坪以上トシ百人以上ハ兒童一人ニ付一坪半以上ノ割合トス

合トス

三 尋常高等小學校ニ於テハ兒童百人未滿ハ百五十坪以上トシ兒童百人以上ハ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童一人ニ付一坪以上高等小學校ノ教科ヲ修ムル兒童一人ニ付一坪半以上ノ割合トス但シ兒童百人以上ニシテ高等小學校ノ教科ヲ修ムル兒童百人未滿ナルトキハ百五十坪ノ外全校兒童中百人ヲ超ユル兒童一人ニ付一坪以上ノ割合ヲ以テ増スヘシ

屋内體操場ハ校舍ニ傍ラテ之ヲ設ケ其ノ廣サハ兒童百人未滿ハ三十坪以上トシ百人以上ハ二十人ヲ



増ス毎ニ二坪以上ノ割合ヲ以テ増スヲ常例トス

屋内體操場ハ土地ノ情況ニ依リ之ヲ設ケサルコトヲ得

第二十九條 校舍ノ建築ハ教授上、管理上並衛生上適當ニシテ質朴堅牢ナルヲ要ス

校舍ハ成ルヘク平家造トナシ一字形又ハ二字形ニ建築シ南方ヨリ光線ヲ採リ得ル方向ヲ選フヘシ

二字形ノ校舍ヲ建築スルトキハ其ノ相互ノ距離ハ南方ニアル校舍ノ高サノ二倍ニ等シキ距離ヲ保タシムルヲ常例トス

第三十條 校舍ハ左ノ各號ノ設備ヲ爲スヲ常例トス

- 一 天皇
- 二 皇后兩陛下御影(御影ヲ拜戴セシ學校ニ限ル)及勅語謄本奉置所
- 三 通常教室
- 四 教員室
- 五 便所
- 六 湯沸所
- 七 物置場
- 八 講堂
- 九 特別教室(裁縫、唱歌、手工室等)
- 十 兒童控所
- 十一 圖書標本及器械室
- 十二 宿直室
- 十三 應接所

十三 小使室

第三十一條 教室ノ構造ハ左ノ各項ニ據ルヲ常例トス

通常教室ハ幅四間、長五間トシ天井ハ床面ヲ距ルコト九尺以上トスヘシ

床ハ實矧張履實矧張又ハ遣違矧張トシ床下ヲ二尺以上トシ其ノ四方ニ風抜ヲ設クヘシ

採光窓ハ高サ内法四尺以上又其ノ下縁ノ位置ハ牀上凡二尺四寸トシ兒童座席ノ前面ヲ避ケ之ヲ設クヘシ但シ其ノ左右兩側ニ在リテハ前面ノ壁又ハ間仕切ヲ距ルコト三尺以内ニ之ヲ設クヘカラス

採光窓ノ總面積ハ床面積ノ六分ノ一以上トスヘシ裁縫教室ハ二方若ハ三方ニ採光窓ヲ設ク其ノ面積ハ床面積ノ四分ノ一以上トスヘシ

窓障子ハ紙張ト硝子張トニ拘ハラヌ引違ト爲シ又窓ノ上ニ接近シテ高サ二尺以上ノ引違欄間若ハ回轉欄間ヲ設クヘシ

壁色ハ中性色(灰色、淡黄色ノ類)ト爲スヘシ

間内床上壁下ニハ腰板ヲ附スヘシ

教室ニハ二箇ノ出入口ヲ設クヘシ

第三十二條 廊下ノ構造ハ左ノ各項ニ據ルヲ常例トス

片廊下ニシテ北方ニ設ケ其ノ幅ハ六尺以上ト爲スヘシ

渡廊下ハ腰羽目張ト爲スヘシ

第三十三條 二階造ノ校舍ニシテ階上ニ三箇以上ノ教室ヲ設クルトキハ二箇以上ノ階段ヲ設クヘシ階段ハ幅四尺五寸以上蹴上ケ五寸乃至六寸踏面八寸乃至一尺トシ中間ニ踊場ヲ設ケ且手欄ヲ附スヘシ



第三十四條 講堂ヲ設ケサル學校ハ數教室ノ間仕切ヲ取外シテ講堂ニ充テ得ル備ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於ケル間仕切ノ鴨居ノ高サハ八尺以上ト爲スヘシ

第三十五條 (削除)

第三十六條 圖書、標本及器械室ヲ設ケサル學校ハ教員室ノ坪數ヲ增加シテ圖書、標本及器械ヲ裝置スヘキ相當ノ場所ヲ設クヘシ

第三十七條 小使室ハ別棟トシ湯沸所ヲ附設スヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニアラス

第三十八條 便所ハ左ノ各項ニ據ルヲ常例トス

校舍ト別棟ニシ夏季常風ノ方向ニ注意シ校舍ヲ距ルコト三間以上、井ヲ距ルコト四間以上ノ位置ニ設ケ渡廊下ヲ以テ校舍ニ接續スヘシ

棟ノ上ニ臭氣拔ヲ設ケ便溝ハ三寸勾配ニテ屋外便池ニ導クヘシ糞壺、便溝、便池、注壁等ハ不滲透物ヲ以テ之ヲ造ルヘシ

男女ヲ區別シテ設備シ男兒百人ニ付大便所二以上小便所四以上女兒百人ニ付五以上ノ割合ヲ以テ設クヘシ

第三十九條 兒童昇降口ニハ下駄棚傘架ヲ備フヘシ

第四十條 校具ハ甲乙ノ二種トシ左ノ種類ヲ備フルヲ常例トス

甲種ノ校具

教科用圖書

學事法令並官報及縣報

郡地圖

參考用圖書

學校町村地圖

近傍縣地圖

日本地圖

掛算盤

定木

地理及歴史用掛圖及標本

度量衡

裁縫用具

遊戲用具

唱歌掛圖

動物、植物及礦物ノ採集用具

少年讀物

右ノ外農業、商業、手工ノ一科目又ハ數科目ヲ加フルトキハ之ニ要スル校具ヲ備フヘシ

乙種ノ校具

國旗

門札

學校設置區域圖

教員及兒童用ノ机並腰掛

寒暖計

教壇

救急用器械及藥品

萬國地圖

地球儀

兩脚規

理科用器械、標本、模型及圖書

圖書用具

作法用具

體操用具

樂器

黑板

墨汁捨壺

校旗

校地及校舍圖

兒童名札

時計

正午計

身體檢査用具

飲用水及使用水煮沸器械



唾壺  
撒水器  
雜巾  
硯箱並附屬品  
清潔法施行用具  
揭示用板  
校長職印  
諸表簿  
戸棚

水盥  
消防用具  
如露  
校印  
日課表板  
算盤  
書籍箱  
宿直用具  
標本箱

第四十一條 兒童用机及腰掛ノ寸法ハ其ノ年齡及身幹ノ長短ヲ參酌シ左表ノ標準ニ依リ之ヲ定ムヘシ

項目	番號	一號	二號	三號	四號	五號
身長		一〇〇以上 一一〇未滿	一一〇以上 一二〇未滿	一二〇以上 一三〇未滿	一三〇以上 一四〇未滿	一四〇以上 一五〇未滿
机ノ高		一五、五〇	一七、〇〇	一八、五〇	二〇、〇〇	二一、五〇
机ノ幅		一一、〇〇	全	全	全	全
机ノ長(二人掛)		三〇、〇〇乃至 三六、〇〇	全	三六、〇〇	全	全

腰掛ノ高	腰掛ノ幅	腰掛ノ長(二人掛)	倚用男兒(二人掛)高	倚用女兒高	靠用木ノ高
八、六〇	八、二〇	二六、〇〇乃至 三三、〇〇	五、〇〇	四、〇〇	一〇、〇〇
九、四〇	九、〇〇	全	五、四〇	四、四〇	一〇、八〇
一〇、二〇	九、八〇	三三、〇〇	五、八〇	四、八〇	一一、六〇
一一、〇〇	一〇、六〇	全	六、二〇	五、二〇	一二、四〇
一一、八〇	一一、四〇	全	六、六〇	五、六〇	一三、二〇

本表中身長欄ハ「センチメートル」其ノ括弧内ノ數及机ノ高サ以下ハ曲尺ノ寸ヲ以テ單位トス  
第四十二條 小學校ニ於テ備フヘキ表簿ハ凡左ノ如シ

表簿目錄  
入學兒童名簿  
兒童出席簿  
學業成績簿  
卒業生經歷簿  
出席督促簿  
沿革誌  
學年末統計一覽表

學校要覽  
資產簿  
家庭訪問錄  
學籍簿  
學年末兒童出席統計表  
每月末兒童出席統計表  
操行查定簿  
卒業証書番號錄  
日誌



職員出勤簿

教授案

令達綴

願届綴

雜書綴

兒童賞罰錄

職員履歷書綴

教授細目

事務引繼簿

第四十三條 尋常小學校ニ於テ成ルヘク貧窮者ノ兒童ニ貸付スル爲教科用圖書、石盤、硯、草紙及雨具ヲ備フヘシ

第四十四條 土地ノ情况ニ依リ校地内若ハ其ノ附近ニ教員ノ住宅ヲ設クヘシ

第四十五條 小學校ニハ知事ノ認可ヲ受ケ附屬地ヲ設クルコトヲ得

前項ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ使用ノ目的及本校地トノ距離並第二條第一項第一號第七號第九號ノ事項ヲ具スルヲ要ス

第四十六條 校舍ヲ新築、増築、改築シ若ハ市町村立高等小學校ノ校地ヲ選定シ又ハ變更セントスルトキハ管理者ハ學校長及學校醫ノ意見ヲ聞クヘシ

第四十七條 校舍ノ新築、改築又ハ増築ノ認可ヲ受ケントスルトキハ市町村、町村學校組合又ハ設立者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

一 校地平面圖(縮尺二百分ノ一)

方位、建物、校門、井、体操場ノ區域並面積、四圍ノ狀況、地勢、地質及夏季、冬季常風ノ方向等ヲ記入スヘシ

二 校舍平面圖(縮尺百分ノ一)

各建物及各室ノ名稱、間仕切、窓、入口及壁ノ種別、板敷土間ノ區別等ヲ記入スヘク又二階建ノ校舍ニアリテハ階上ノ平面圖、階段ノ位置等ヲ記入スヘシ

三 校舍断面圖(縮尺二十分ノ一)

小屋組、天井、窓、入口、床等ノ構造及高サヲ記入スヘシ

四 校舍建築ノ設計及仕様書

五 市町村又ハ町村學校組合歳入歳出豫算表

六 建築着手及落成ノ期日

着手ハ認可ノ日ヨリ幾日以内ト記シ又落成ハ着手ノ日ヨリ幾日以内ト記スヘシ

七 學級數及每學級兒童數男女別

既設ノ建物ヲ校舍ニ充用セントスルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス

第四十八條 假校舍ヲ使用セントスルトキハ管理者ニ於テ其ノ事由及左ノ事項ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

一 位置及本校舎トノ距離

二 校舍ノ圖面

三 使用期限

前項第一號第二號ノ記載方ハ第一條第一項第二號第七號ノ例ニ準ス

第四十九條 校舍ノ新築、改築若ハ増築ノ工事竣リタルトキハ管理者ヨリ遲滯ナク知事ニ届出テ検査ヲ受クヘシ

知事ハ郡長ヲシテ前項ノ検査ヲ爲サシムルコトアルヘシ



第五十條 本章ノ規定中校舍ノ新築、改築若ハ増築ヲ爲スニアラサレハ適用シ難キモノハ其ノ時期ヲ待テ之ニ依ルコトヲ得

第五十一條 小學校令第三十條但書ニ依リ校舍校地等使用ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ申請書ニ學校長ノ意見書ヲ添付スヘシ

第四章 就 學

第五十二條 學齡簿編製及加除ノ手續左ノ如シ

一 學齡簿用紙ハ一人一葉トシ現在就學兒童、卒業兒童、就學猶豫兒童、就學免除兒童、未タ就學ノ始期ニ達セサル兒童ノ五種ニ區分シ更ニ男女ノ別ヲ設ケ生年月日ノ順序ニ從ヒテ之ヲ綴リ置クヘシ

二 學齡簿ニ登錄シタル事項ニ異動ヲ生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ訂正加除スヘシ

三 就學期間中ニアル兒童ニシテ其ノ市町村ニ來住シタル者アルキハ其ノ都度從前居住セシ市町村ノ學齡簿寫ニ依リ各事項ヲ記入シ置クヘシ但シ學齡簿寫ナキハ照會ノ上之ヲ徵シ整理スヘシ

四 學齡ヲ終リテ除籍シタル兒童ノ名簿ハ除籍後一ケ年間、學齡期間中ニ除籍シタル兒童ノ名簿ハ死亡者ヲ除ク外其ノ學齡ヲ終ルマテ別ニ之ヲ保存スヘシ

市町村長ハ第四號書式ニ依リ學齡兒童異動簿ヲ調製シ毎月一日其ノ前月分ノ異動ヲ記入シテ之ヲ保存スヘシ

第五十三條 小學校令施行規則第八十二條第一項ノ入學期日ハ毎年四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スル兒童ニアリテハ一月中ニ九月ニ於テ就學ノ始期ニ達スル兒童ニアリテハ七月十日マテニ第五號書式ニ依リ通知スヘシ

第五十四條 學齡兒童保護者ニ於テ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スル兒童ニアリテハ二月十五日マテニ九月ニ於テ就學ノ始期ニ達スル兒童ニアリテハ七月二十五日マテニ第六號書式ニ依リタル就學届書ヲ市町村長ニ差出スヘシ

小學校令第三十三條ニ掲クル事由アルトキハ前項期日マテニ小學校令施行規則第八十四條ノ手續ヲ爲スヘシ但シ貧窮ニ因ル場合ハ先以テ就學猶豫ノ申立ヲ爲スヘシ

第五十五條 市町村長ニ於テ前條第二項ノ申立ヲ受ケ其ノ事由正當ト認メタルトキハ小學校令第三十三條ニ依リ四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スル兒童ニアリテハ二月末日限り九月ニ於テ就學ノ始期ニ達スル兒童ニアリテハ八月五日限り第七號書式ノ調査書及第九號書式ノ豫定表ヲ具シ申請スヘシ其ノ年就學猶豫又ハ就學義務ノ免除ヲナスヘキモノナキトキハ豫定表ノミヲ前項期日マテニ差出スヘシ

第五十六條 小學校令施行規則第八十三條ニ依ル入學兒童ノ氏名及入學期日ハ四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スル兒童ニアリテハ三月二十日マテニ九月ニ於テ就學ノ始期ニ達スル兒童ニアリテハ八月二十日マテニ第八號書式ニ依リ通知スヘシ其ノ通知ヲ爲シタル後異動ヲ生シタルトキハ其ノ都度之ヲ通知スヘシ

第五十七條 第五十三條乃至第五十六條規定ノ期限後其ノ市町村ニ來住シタル兒童若ハ小學校令施行規則第九十六條後段ノ退學、廢學兒童又ハ小學校令第三十三條ノ事由ヲ生シタル者等アルトキハ其ノ都度前各條ノ規定ニ依リ相當ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十八條 學齡兒童ト其ノ保護者ト居住ノ市町村ヲ異ニスル場合ニ於テハ兒童ノ住スル市町村内ニ保護者ノ義務ヲ履行スヘキ代人ヲ定メ雙方連署ノ上其ノ地ノ市町村長ニ届出ツヘシ



第五十九條 市町村長ニ於テ小學校令第三十六條第一項但書ニ依リ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムルコトヲ認可シタルトキハ其ノ児童ノ族籍、氏名、生年月日、児童保護者ノ族籍、氏名並教授者履歴ノ大要ヲ具シ監督官廳ニ報告スヘシ

第六十條 市町村長ハ毎年四月十五日現在ニ依リ學齡兒童就學ノ成績ヲ取調ヘ第九號書式ニ依リ學齡兒童就學成績表ヲ調製シ四月二十日マテニ監督官廳ニ差出スヘシ又郡長ハ各町村ノ分ヲ一表ニ調製シ郡計ヲ添ヘ四月末日マテニ知事ニ報告スヘシ

小學校令施行規則第二十五條第二項ニ依ル場合ハ市町村長ハ前項ノ外九月十五日現在ニ依リタル學齡兒童就學成績表ヲ調製シ九月二十五日マテニ知事ニ報告スヘシ

第六十一條 學籍簿編製及加除ノ手續左ノ如シ

- 一 學籍簿ハ一人一葉トシ男女ノ別ヲ設ケテ之ヲ綴リ置クヘシ若シ在籍兒童中學齡ヲ超過シタル者アルトキハ便宜見易キ様區分スヘシ
- 二 學籍簿ニ登錄シタル事項ニ異動ヲ生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ訂正加除スヘシ
- 三 兒童入學シタルトキハ市町村長ヨリ送付セル入學兒童名簿ニ照合シ遲滯ナク各事項ヲ記入スヘシ
- 四 在學中ノ兒童ニシテ轉校セントスル者ノアルトキハ學籍寫ヲ兒童保護者ニ交付スヘシ
- 五 他ノ小學校ニ就學ノ兒童ニシテ臨時入學スル者アルトキハ從前在學セシ學校ノ學籍寫ニ依リ遲滯ナク各事項ヲ記入スヘシ但シ學籍簿寫ナキトキハ照會ノ上之ヲ徵シ整理スヘシ
- 六 卒業ノ爲除籍シタル兒童ノ名簿ハ除籍後一ケ年間、半途退學ノ爲除籍シタル兒童ノ名簿ハ死亡者ヲ除ク外其ノ學齡ヲ終ルマテ別ニ之ヲ保存スヘシ

第六十二條 市町村立尋常小學校長ハ兒童ノ出席督促簿ヲ製シ置キ小學校令施行規則第九十二條ニ依リ兒童保護者ニ通知又ハ市町村長ニ報告ノ手續ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ顛末ヲ記入スヘシ

第六十三條 市町村長ハ學齡兒童ノ就學及出席督促簿ヲ製シ置キ小學校令施行規則第九十三條ニ依リ兒童保護者ニ對シ兒童ノ就學若ハ出席ノ督促ヲ爲シ又ハ監督官廳ニ報告ノ手續ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ顛末ヲ記入スヘシ

第六十四條 尋常小學校ノ教科ヲ卒リタル兒童ヲ市町村立高等小學校ニ入學セシメントスルトキハ其ノ保護者ヨリ兒童ノ氏名、生年月日、尋常小學校ノ教科ヲ卒リタル年月及其ノ學校名並保護者ノ氏名、住所、職業、兒童トノ關係ヲ記載シタル書面ヲ以テ學校長ニ申出ツヘシ但シ市町村立尋常高等小學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ卒リタル兒童ヲシテ高等小學校ノ教科ヲ修メシメントスル場合ハ本文ノ手續ヲ要セス

第六十五條 市町村立高等小學校長ニ於テ前條ノ申出ヲ受ケタルトキハ其ノ學校ノ編制ニ照シ相當學級ニ編入シ其ノ旨管理者ニ報告スヘシ

第六十六條 市町村立高等小學校在學ノ兒童ニシテ半途退學セントスル者ハ其ノ保護者ヨリ學校長ニ申出ツヘシ學校長ニ於テ其ノ申出ヲ承認シタルトキハ之ヲ管理者ニ報告スヘシ

第六十七條 市町村立高等小學校在學ノ兒童ニシテ正當ノ事由ナク引續キ七日間缺席シタルトキハ學校長ハ遲滯ナク其ノ保護者ニ對シ兒童ノ出席ヲ督促スヘシ

前項ニ依リ督促ヲ爲スモ仍出席セサルトキハ學校長ハ之ヲ除名シ其ノ旨管理者ニ報告スヘシ

第六十八條 市町村立高等小學校ニ入學シタル兒童ノ學籍簿及出席簿ニ關シテハ小學校令施行規則第八十九條及第九十條ノ規定ヲ準用スヘシ



第六十九條 市町村立高等小學校長ハ每學年ノ終リニ卒業シタル兒童ノ氏名ヲ遲滯ナク管理者ニ報告スヘシ

第七十條 小學校令第二十八條ニ依リ兒童出席停止ノ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ氏名、學年及事由ヲ具シ遲滯ナク管理者ヲ經テ監督官廳ニ報告スヘシ

第五章 教員檢定及免許狀

第七十一條 小學校教員ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ第十號書式ノ願書ニ第十一號書式ノ履歷書、第十二號書式ノ証明書第十二號書式ノ二身体検査書及戶籍抄本ヲ添へ所轄郡市役所ヲ經テ出願スヘシ但シ公立學校教員ノ職ニ在ル者ハ証明書ヲ添付スル要セス

第七十二條 無試験檢定ヲ受ケントスル者ハ隨時出願スヘシ

試験檢定ヲ受ケントスル者ハ試験施行ノ告示ヲ待テ出願スヘシ但シ大分縣師範學校講習科生徒及本縣ニ於ケル公立小學校教員養成所生徒ハ卒業ニ際シ試験檢定ヲ出願スルコトヲ得

第七十三條 試験檢定ハ毎年二回之ヲ施行ス但シ場合ニ依リ其ノ回数ヲ増減スルコトアルヘシ

試験ノ種類、場所及出願期日ハ其ノ都度之ヲ告示ス

第七十四條 小學校本科正教員ノ試験ハ其ノ科目中手工、農業、商業及英語ヲ關ク但シ英語ヲ除ク外該科目ノ試験ヲ願フ者アルトキハ併セテ之ヲ行フ

第七十五條 小學校准教員ノ試験ハ其ノ科目中手工、農業及商業ヲ關ク但シ該科目ノ試験ヲ願フ者アルトキハ併セテ之ヲ行フ

第七十七條 師範學校ヲ卒業シタル者ニハ第十三號書式ノ免許狀ヲ授與シ小學校教員ノ檢定ニ合格シタル者ニハ第十四號書式ノ免許狀ヲ授與ス

第七十八條 試験檢定ヲ受ケタル者ニシテ其ノ試験ニ合格セサルモ某學科目ノ成績佳良ナルトキハ証明書ヲ授與ス但其學科目及氏名ヲ公示シテ之ニ代フルコトアルヘシ

第七十九條 小學校教員檢定ヲ出願スル者ハ手数料トシテ正教員ハ金壹圓、准教員ハ金五拾錢ヲ納ムヘシ

前項ノ手数料ハ檢定出願ノ際願書ト共ニ差出スヘシ

既ニ差出シタル手数料ハ如何ナル事情アルモ返付セス

第八十條 小學校教員免許狀ノ書換若ハ再渡ヲ出願スル者ハ其ノ事由ヲ記載シタル願書ト共ニ手数料トシテ正教員ハ金參拾錢、准教員ハ金貳拾錢ヲ納ムヘシ但シ書換出願ノ場合ハ其ノ願書ニ戶籍抄本ヲ添付スルヲ要ス

第八十一條 不正ノ方法ニ依リ又ハ履歷ヲ詐リ試験ヲ受ケント企テタル者及試験ニ關スル規程ニ違背シタル者ハ期間ヲ定メテ試験ヲ受ケシメサルコトアルヘシ

檢定ニ合格シタル後前項ノ事實ヲ發見シタルトキハ其ノ合格ヲ無効トス

第六節 職 員  
第一節 學校長及教員ノ進退  
第八十二條 小學校令第四十四條第一項ニ依リ市町村立小學校長及教員ノ任用ヲ申請スルトキハ左ノ事項ヲ具スヘシ但シ單ニ學校長ノ兼任ノミヲ申請スル場合ハ此限ニアラス  
一 住所、族稱、氏名、任用スヘキ學校名、職名(教授補助ナルトキハ其ノ旨ヲ明記スヘシ)及俸



給見込額

二 履歷書

第十六號書式ニ依ルヘシ

三 學級數及教員數但シ本科正教員、專科正教員、准教員、代用教員及教授擔任、教授補助トヲ區別スヘシ

四 俸給支出義務額又ハ明治三十年勅令第二號第一條但書及第二條第二項ニ依リ定リタル俸給支出額並現在支出額但シ新ニ義務額ヲ超ヘテ俸給ノ支出ヲ要スルトキハ市町村、町村學校組合又ハ區ノ意見書ヲ添付スヘシ

轉任ノ場合ニ於テハ現任職名、任用スヘキ學校名、職名(教授補助ナルトキハ其ノ旨ヲ明記スヘシ)並俸給見込額及前項第三號第四號ノ事項ヲ具シ申請スヘシ但シ本縣外ニ在職ノ者ノ任用ヲ申請セントスルトキハ尙前項第二號ノ書類ヲ添付スヘシ

町村立小學校ノ專科正教員及教授ヲ補助スル教員ノ任用ニ關シテハ其ノ俸給見込額ニ就キ町村長、町村學校組合長ノ意見書ヲ添付スヘシ但シ一旦定リタル俸給額以內ニ於テ任用スル場合ハ此ノ限ニアラス此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第八十三條 所轄外ノ市町村立小學校ニ在職セル教員ノ任用ヲ申請セントスルトキハ現任地郡市長ノ承諾ヲ經其ノ旨ヲ附記スヘシ

第八十四條 郡市長ハ市町村立小學校教員ノ増俸ヲ要シ又ハ教授時間減少ノ爲減俸ヲ要スヘキ場合アルトキハ其ノ事由ヲ具シ申請スヘシ但シ増俸ノ場合ニ於テハ第八十二條第一項第四號又ハ同條第二項ノ事項ヲ具シ減俸ノ場合ニ於テハ本人ノ承諾書ヲ添付スルヲ要ス

第八十五條 郡市長ハ小學校令施行規則第二百二十二條及第二百二十六條ニ依リ市町村立小學校正教員ニ休職又ハ退職ヲ命スヘキモノト認メタルトキハ其ノ事由ヲ具シ上申スヘシ但シ小學校令施行規則第二百二十二條第一號及第二百二十六條第一號又ハ第二號前段ノ事由ニ因ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第八十六條 郡市長ハ小學校令施行規則第二百二十七條ノ特別處分ヲ要スヘキモノト認メタルトキハ其ノ事由ヲ具シ上申スヘシ但シ休職ノ場合ニ於テハ其ノ期間ヲ定メテ上申スルヲ要ス

第八十七條 郡市長ハ市町村立小學校教員休職者ニ俸給ノ一部若ハ全部ヲ給スヘキモノト認メタルトキハ市町村、町村學校組合又ハ區ノ同意ヲ得テ申請スヘシ

第八十八條 市町村立小學校教員ノ休職者ニシテ復職ヲ要スルトキハ其ノ事由及第八十二條第一項第三號第四號ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

第八十九條 郡市長ニ於テ市町村立小學校教員ヲ在職ノ儘小學校教員講習科ニ入學セシメントスルトキハ在學中支給スヘキ俸給見込額ヲ具シ上申スヘシ但シ其ノ額ハ市町村、町村學校組合又ハ區ノ意見ヲ聞クヲ要ス

市町村立小學校ノ准教員ヲ第二種小學校教員講習科ニ入學セシメントスルニ當リ前項ニ依リ難キトキハ休職ヲ命ス其ノ休職期間ハ修了シタル後尙三ヶ月トス

第九十條 市町村立小學校准教員ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ退職ヲ命ス  
一 不具癡疾ニ因リ又ハ身体若ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルニ堪ヘサルトキ  
二 傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ其ノ職ニ堪ヘサルニ因リ又ハ自己ノ便宜ニ因リ退職ヲ出願シタルト



三 學校編制ノ變更又ハ訴願ノ裁決ニ因リ過員ヲ生シタルトキ

四 刑事事件ニ關シ起訴セラレタルトキ

第九十一條 郡市長ハ市町村立小學校准教員前條各號ノ一ニ該當シ退職ヲ命スヘキモノト認メタルトキハ其ノ事由ヲ具シ上申スヘシ但シ第一號及第二號前段ノ事由ニ因ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第九十二條 第九十條ノ事由ニ因ラスシテ市町村立小學校准教員ニ退職ヲ命スヘキ必要アリト認ムルトキハ特別ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

第九十三條 市町村立小學校准教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當然退職トス  
一 當該學校ノ廢セラレタルトキ

二 陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルトキ

三 休職期間滿チタルトキ

第九十三條ノ二 郡市長ニ於テ小學校令第四十八條ニ依リ懲戒處分ヲ要スヘキモノト認メタルトキハ其ノ事由ヲ具シ且本人ノ手續書ヲ添へ上申スヘシ但シ手續書ヲ徵スルヲ能ハサルトキハ其事由ヲモ上申スルヲ要ス

第九十四條 市町村立小學校教員ニシテ死亡シタルトキハ其ノ遺族ヨリ遲滯ナク戸籍謄本ヲ添へ其ノ旨知事ニ届出ツヘシ但シ遺族ナキトキハ學校長ヨリ管理者ヲ經テ届出ツヘシ

第九十五條 私立小學校長教員ヲ採用シタルトキハ設立者ハ左ノ事項ヲ具シ届出ツヘク又之ヲ解職シ

タルトキハ其ノ氏名及事由ヲ具シ届出ツヘシ

一 採用年月日、住所、族稱、氏名、資格(本科正教員、專科正教員及准教員ノ別)職名及俸給額又ハ報酬若ハ手当額

二 履歷書

第十六號書式ニ依ルヘシ

第一節 學校長及教員ノ職務及服務

第九十六條 學校長ハ學級ノ編制ニ應シテ所屬教員ノ擔任ヲ定ムヘシ

第九十七條 學校長ハ兒童ノ教授及訓練上又ハ校務ヲ處理スル爲必要ナル諸規程ヲ定ムヘシ

第九十八條 學校長ハ所屬教員ヲシテ校務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第九十九條 學校長不在ノ時ハ上席教員其ノ職務ヲ代理ス

第一百條 教員ハ學校長ノ指揮監督ヲ受ケ兒童ノ教育其ノ他ノ校務ニ從事スヘシ

第一百一條 教員ハ學校長ノ定メタル各教科目ノ教授細目ニ準據シ教授案ヲ調製シ學校長ノ檢閲ヲ受クヘシ但シ學校長ハ教科目ノ種類ニ依リ之ヲ調製セシメサルコトヲ得

第一百二條 學校長及教員ハ毎日始業時刻二十分前ニ登校シ終業時刻後其ノ日ノ事務ヲ完了シテ退出スヘシ

第一百三條 市町村立小學校長ハ所屬教員ノ進退賞罰ニ關シ意見ヲ郡市長ニ具申スルコトヲ得

第一百四條 市町村立小學校長ハ左ノ事項ニ就キ意見ヲ管理者ニ申出ルコトヲ得

一 學級編制ニ關スルコト  
二 教科目ノ加除又ハ隨意科目ニ關スルコト



- 三 每週教授時數ノ増減ニ關スルコト(小學校令施行規則第十八條ノ二及第十九條ノ場合ニ限ル)
  - 四 補習科ニ關スルコト
  - 五 設備ニ關スルコト
  - 六 經費豫算ニ關スルコト
  - 七 右ノ外學校教育上ニ關スル必要ノ事項
- 第百五條 市町村立小學校長ハ毎月五日迄ニ前月分ノ教員ノ勤否及兒童出席ノ狀況ヲ管理者及監督官應ニ報告スヘシ
- 第百六條 市町村立小學校長ハ學校長及教員ノ出張又ハ除服ニ關シ郡市長ニ具申スルコトヲ得但シ町村立小學校長ノ具申スル場合ハ管理者ヲ經由スヘシ
- 郡市長ハ市町村立小學校長及教員ニ出張又ハ除服ヲ命スルコトヲ得
- 第百七條 市町村立小學校長及教員病氣又ハ官署ノ召喚等ノ爲出勤スルコト能ハサルトキハ始業時刻三十分前迄ニ學校長ニ届出ツヘシ
- 教員缺勤セントスルトキハ前項ノ届書ニ當日ノ教授案ヲ添へ學校長ニ差出スヘシ
- 第百八條 市町村立小學校長及教員病氣引籠七日ニ至リタルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添へタル届書ヲ學校長ニ差出シ尙治療ニ至ラサルトキハ一週間毎ニ醫師ノ診斷書ヲ添へ届出ツヘシ
- 第百九條 市町村立小學校長及教員父母病氣看護又ハ教員檢定試験ヲ受クル等ノ爲出勤スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ郡市長ノ許可ヲ受クヘシ但シ父母病氣看護ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス忌引ハ死亡者トノ親族關係及死亡日ヲ具シ郡市長ニ届出ツヘシ
- 第百十條 市町村立小學校長及教員職務上居住スヘキ地ヲ離レントスルトキハ其ノ事由、日數及行先

- 地ヲ具シ郡市長ノ許可ヲ受クヘシ但シ學校休業中ニ於テハ郡市長ニ届出ツヘシ
- 轉地療養又ハ父母病氣看護ノ爲前項ノ許可ヲ受ケントスルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ
- 第百十一條 前二條中轉地療養若ハ父母病氣看護ノ場合ニ於テ急速ヲ要シ郡市長ノ許可ヲ受クル違ナキトキハ學校長ノ承認ヲ經テ決行スルコトヲ得
- 學校長ニ於テ前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ醫師ノ診斷書ヲ徵シ其ノ事情ヲ具シ郡市長ニ報告スヘシ
- 第百十二條 市町村立小學校長及教員亡父母ノ忌日ニ當リタルトキハ學校長ニ届出テ當日限り休暇ヲ受クルコトヲ得
- 第百十三條 市町村立小學校長及教員陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルトキハ遲滞ナク管理者ヲ經テ知事ニ届出ツヘシ
- 第百十四條 市町村立小學校長及教員陸海軍ノ召集ニ應シ若ハ六週間現役ニ服セントスルトキハ郡市長ニ届出ツヘシ其ノ歸校シタルトキ亦同シ但シ町村立小學校長及教員ニアリテハ管理者ヲ經由スヘシ
- 第百十五條 市町村立小學校長及教員新任又ハ轉任ノトキハ辭令受領後五日以内ニ出發シ着任シタルトキハ郡市長ニ届出ツヘシ但シ町村立小學校長及教員ニアリテハ管理者ヲ經由スヘシ
- 第百十六條 市町村立小學校長及教員轉任、退職又ハ休職ヲ命セラレタルトキハ辭令受領後三日以内ニ校務ノ引繼ヲ了スヘシ
- 學校長校務ノ引繼ヲ了シタルトキハ双方連署ヲ以テ管理者ヲ經テ監督官廳ニ届出ツヘク又教員ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ擔任校務ノ引繼ヲ爲スヘシ
- 第百十七條 市町村立小學校ニ於テ教員一人ナルトキハ第百七條、第百八條及第百十二條ノ届書ハ之



ヲ管理者ニ差出スヘシ  
第百十八條 學校長及教員ニシテ本籍地、族稱又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ管理者ヲ經テ知事ニ届出ツヘシ

第百十九條 學校長及教員ハ學校又ハ其ノ附近ニ出火其ノ他事變アルトキハ直ニ出校シ御影及勅語謄本ノ奉護其ノ他ノ救護ニ從事スヘシ

第百二十條 市町村立小學校長及教員當該學校所在地外ニ居住セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ郡市長ノ認可ヲ受クヘシ

第三節 俸給

第百二十一條 小學校教員ノ月俸額ヲ定ムルコト左表ノ如シ

職名	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級
本科正	上	九拾五圓	七拾圓	六拾圓	五拾圓	四拾圓	四拾圓	參拾圓	貳拾四圓	貳拾四圓
教員	下	八拾圓	六拾五圓	五拾五圓	四拾五圓	參拾五圓	貳拾七圓	貳拾貳圓	拾八圓	拾四圓
專科正	上	五拾圓	四拾圓	參拾圓	貳拾四圓	貳拾圓	拾六圓	拾參圓	拾壹圓	九圓
教員	下	四拾五圓	參拾五圓	貳拾七圓	貳拾貳圓	拾八圓	拾四圓	拾貳圓	拾圓	八圓
准教員	上	貳拾五圓	貳拾圓	拾六圓	拾參圓	拾壹圓	九圓			
	下	貳拾貳圓	拾八圓	拾四圓	拾貳圓	拾圓	八圓			

准教員ニシテ六級下俸ヲ給スル者ハ尋常小學校准教員ニ限ル

第百二十二條 本科正教員ニシテ一級上俸ヲ受ケ特ニ功勞アル者ニハ漸次百二十圓マテ増スコトアルヘシ

第百二十三條 專科正教員ノ俸給ハ其ノ教授時數ニ應シ等級相當ノ俸給額ヲ減給スルコトアルヘシ

第百二十四條 專科正教員ニシテ他ノ小學校ノ專科正教員ヲ兼メル者ニハ關係學校ノ經費ヨリ其ノ俸給ヲ分割シテ給スルコトアルヘシ

第百二十五條 教員ノ俸給ハ其ノ意ニ反シテ之ヲ減スルコトナシ

第百二十六條 休職者ニハ俸給ヲ給セス但シ市町村、町村學校組合又ハ區ノ同意ヲ得テ其ノ一部若ハ全部ヲ給スルコトアルヘシ

第百二十七條 教員ニシテ在職ノ儘小學校教員講習科ニ入學スル者ニハ俸給ノ一部若ハ全部ヲ給ス

第百二十八條 教員ニシテ陸軍給與令又ハ海軍給與令ニ依リ俸給ヲ受クル者ニハ其ノ間俸給ヲ支給セス但シ其ノ額本職ノ俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ支給ス

第百二十九條 教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當月分ノ俸給ハ日割ヲ以テ支給スヘシ  
一 懲戒ニ依リ免職ニ處セラレタルトキ

二 免許狀被奪又ハ免許狀ノ失効ニ因リ教員ノ職ヲ失シタルトキ

第百三十條 教員ノ俸給ハ毎月二十一日ニ支給スヘシ但シ休日ニ當ルトキハ順延トス

第百三十一條 教員ノ俸給ハ新任、増俸、減俸、復職トモ總テ發令ノ翌日ヨリ日割ヲ以テ支給スヘシ

學校編制ノ變更ニ依リ新任用シタル教員ニ支給スヘキ俸給ハ發令ノ當日ヨリ計算スヘシ

第百三十二條 教員ニシテ轉任シタル者ノ俸給ハ其ノ發令ノ當日マテハ舊任地ノ市町村ニ於テ翌日以



降ハ新任地ノ市町村ニ於テ之ヲ支給スヘシ

第三百二十三條 教員ニシテ俸給支給期日前他へ轉任シタル者ノ俸給ハ其ノ際之ヲ支給スヘシ

第三百二十四條 教員ニシテ他へ轉任シ其ノ俸給ニ過渡アルトキハ其ノ際之ヲ追徴スヘシ

第三百二十五條 俸給支給期日後他ヨリ轉任シタル教員ノ俸給ハ其ノ際之ヲ支給スヘシ

第三百二十六條 教員俸給支給期日後増俸又ハ減俸アリタルトキハ其ノ際追給若ハ追徴スヘシ

第三百二十七條 教員休職、退職若ハ死亡シタルトキハ當月分ノ俸給ハ全額ヲ支給スヘシ

第三百二十八條 教員死亡シタルトキハ其ノ在職中ト休職中トニ拘ハラズ在職最終ノ俸給月額三箇月分ヲ其ノ遺族ニ給ス但シ遺族ハ官吏遺族扶助法ニ規定セル順位ニ依ル

第三百二十九條 教員病氣ノ爲執務セサルコト九十日ヲ踰ユルトキ又ハ私事ノ故障ニ依リ執務セサルコト三十日ヲ踰ユルトキハ俸給ヲ半額ニ減スヘシ但シ公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ忌服ヲ受クル者ハ此ノ限ニアラス

第三百四十條 忌引又ハ職務ノ爲傷痍ヲ受ケタル場合ニ於テハ病氣若ハ私事故障ト連續スルモ減俸トナルヘキ缺勤日數ニ算入セス又病氣及私事故障ト連續スル場合亦同シ

第三百四十一條 休職又ハ退職シタル教員ニシテ事務引繼ノ爲公務ニ従事シ翌月ニ涉ルトキハ其ノ月分ハ日割ヲ以テ前職ノ俸給ヲ支給スヘシ

第三百四十二條 俸給支給上日割計算ヲ爲スニハ其ノ月ノ現日數ニ依ルヘシ若シ計算上錢位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ之ヲ切捨ツヘシ

第四百十三條 學校長及教員公務ノ爲旅行スルトキハ順路ニ依リ旅費ヲ支給スヘシ

第四百十四條 前條ノ旅費額ハ左表ノ如シ

第四節 旅 費

名稱	區別		鐵道賃	船 賃	車馬賃	宿泊料	日 當
	縣内	縣外					
正 教 員	縣内	縣外	參錢	四錢	拾五錢	九拾錢	五拾錢
	縣外	縣内	參錢	四錢	貳拾五錢	壹圓貳拾錢	八拾錢
准 教 員	縣内	縣外	參錢	參錢	拾貳錢	七拾錢	四拾錢
	縣外	縣内	參錢	參錢	拾五錢	壹圓	五拾錢

正教員郡市内出張ノトキハ前項ノ縣内宿泊料及日當ニ限リ各拾錢ヲ減ス

第四百十五條 鐵道旅行ハ哩數ニ應シ汽車賃ヲ水路旅行ハ海里數ニ應シ船賃ヲ其ノ他ノ旅行ハ陸路旅行トシ里數ニ應シ車馬賃ヲ支給スヘシ

第四百十六條 強雨、積雪又ハ道路險惡ノ爲定額ノ車馬賃ニテ支辨シ難キ場合ニ於テハ其ノ實費ヲ支給スヘシ

第四百十七條 鐵道賃、船賃、車馬賃ハ旅行ノ種類毎ニ經過セシ路程ヲ合算シテ之ヲ支給スヘシ但シ一位未滿端數ノ路程ハ切捨ツヘシ

第四百十八條 年度若ハ日ニ依リ旅費ヲ區分シテ計算スルノ必要アル場合ニ於テ鐵道旅行若ハ水路旅行ニシテ其ノ區分判明セサルトキハ最近ノ到達地ニ着シタル日ヲ以テ其ノ路程ヲ區別シテ計算スヘシ



第百四十九條 陸路六里未滿汽車十哩未滿水路十海里未滿ノ旅行ニハ日當ヲ支給セサルモノトス但シ公務ノ都合ニ依リ宿泊シタルトキハ日當及宿泊料ヲ支給スヘシ

第百五十條 赴任ノトキハ別ニ舊任地ヨリ新任地マテノ鐵道賃、船賃及車馬賃ノ額ニ相當スル赴任手當ヲ支給スヘシ

第百五十一條 旅行中退職、休職又ハ死亡シタル者ニハ本職相當ノ額ニ依リ舊任地迄ノ旅費ヲ支給スヘシ但シ刑事裁判又ハ懲戒處分ニ依リ退職、休職又ハ失職シタル者ニハ此ノ限ニアラス

第百五十二條 前二條ノ場合ニ於テ日數ノ計算方ハ鐵道旅行ハ一日二百哩詰水路旅行ハ一日百海里詰陸路旅行ハ一日十二里詰トス數種ノ旅行相跨ルトキハ各其ノ路程十二分ノ一ヲ以テ一時間ノ行程トシ一日ノ旅行ヲ十二時間トス但シ通算上ヨリ生スル一日未滿ノ端數ハ一日トシテ之ヲ計算ス

第百五十三條 事務引繼、殘務整理等ノ爲退職又ハ休職ノ者特ニ命ヲ受ケテ旅行シタルトキハ前職相當ノ旅費ヲ支給スヘシ

第百五十四條 新ニ任用スル爲召喚セシ者ニハ赴任ノ例ニ準シ本職相當ノ旅費及赴任手當ヲ支給スヘシ

第百五十五條 修學旅行又ハ教員講習會出席等ノ爲出張ヲ命セラレタルトキハ旅費ノ定額ヲ減シ又ハ其ノ一部ヲ支給スルコトヲ得

第百五十五條ノ二 前各條ノ外旅費支給ノ方法ハ内國旅費規則ノ規定ヲ準用ス

第五節 諸給與

第百五十六條 教員ニシテ一週三十二時ヲ超ヘ教授ヲ擔任スル者ニハ一箇月貳圓以上ノ手當ヲ給ス

前項手當ノ支給ハ俸給支給ノ例ニ準スヘシ

第百五十七條 學校長又ハ教員ニシテ特ニ勤勞アル者ニハ年末若ハ臨時ニ慰勞金ヲ給スルコトアルヘシ

第百五十八條 教員ニシテ宿直スル者ニハ賄料ヲ支給スヘシ

第百五十九條 學校長又ハ教員ニシテ職務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル者ニハ療治料ヲ支給スヘシ

第百六十條 教員ニハ土地ノ情況ニ依リ住宅料ヲ支給スヘシ

第百六十一條 郡市長ハ第百五十六條ニ依リ手當ヲ給スヘキ者ト認メタルトキハ其ノ見込額ヲ具シ申請スヘシ但シ郡長ハ其ノ額ニツキ管理者ノ意見ヲ聞クヲ要ス

第百六十二條 第百五十八條乃至第百六十條ニ關スル金額ハ管理者ニ於テ決定支給スヘシ

第百六十三條 本章第三節第四節及第五節ニ學校長教員トアルハ市町村立小學校ノ學校長教員ヲ謂フ

第六節 代用教員

第百六十四條 市町村立小學校代用教員ノ進退ニ關シテハ第八十五條乃至第八十九條及第九十五條ヲ除キ本章第一節ノ規定ヲ準用ス

第百六十五條 (削除)

第百六十六條 市町村立小學校代用教員ハ年齢男子ハ十六年以上女子ハ十五年以上ニシテ品行方正、身体強壯且相當ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

第百六十七條 市町村立小學校代用教員ノ月俸額ハ五圓以上貳拾圓以下トス但シ每週教授時數十二時間以内ノ者ニ限リ五圓以下ヲ給スルコトヲ得

第百六十八條 市町村立小學校代用教員ノ旅費額ハ左表ノ如シ



鐵道賃	二	哩	船賃	二	海里	車馬賃	二	里	宿泊料	二	夜	日當	二	日
付			付			付			付			付		
貳錢			參錢			拾貳錢			七拾錢			參拾錢		

二七二

第百六十九條 (削除)

第百七十條 市町村立小學校代用教員ノ俸給、旅費及諸給與ノ支給方法ニ關シテハ第百三十八條ヲ除キ本章第三節乃至第五節ノ規定ヲ準用ス

第百七十一條 本章第二節中教員ニ關スル規定ハ代用教員ノ職務及服務ニ關シ之ヲ準用ス

第七章 費用負擔及授業料

第百七十二條 小學校令第五十二條ニ依リ費用負擔ニ關スル處分ノ認可ヲ受ケントスルトキハ第三條第一項各號ニ準シ其ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

前項ノ費用負擔ヲ止メシメントスルトキハ其ノ事由並關係町村及町村學校組合ノ意見ヲ具シ申請スヘシ

第百七十三條 小學校令第五十三條第二項ニ依リ尋常小學校設置ニ關スル經費補助認定ノ指揮ヲ受ケントスルトキハ其ノ金額並事由ヲ其シ申請スヘシ

第百七十四條 郡長ハ郡ノ資力小學校令第五十三條ノ補助ノ負擔ニ堪ヘスト認メタルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ニ上申スヘシ

第百七十五條 小學校令施行規則第百七十四條ニ依リ授業料徵收ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由、授業料額並之ニ關スル規程及左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

一 戶數

二 學齡兒童數

就學不就學ヲ區別スヘシ

三 市町村又ハ町村學校組合歳入歳出豫算表

四 市町村基本財産ノ額及同財産ヨリ生スル收入額  
學校基本財産ハ別記スヘシ

五 寄附金穀物件アルトキハ其ノ數量

六 主要ナル物産一年ノ見積總價額

七 直接國稅總額

地租、所得稅、營業稅ノ内譯ヲ要ス

第八章 區長及學務委員

第百七十六條 市町村又ハ町村學校組合ノ區長及其ノ代理者ハ市町村又ハ町村學校組合長ノ指揮命令ヲ受ケ區ニ屬スル國ノ教育事務ヲ補助執行スヘシ

第九章 (削除)

第九章 幼稚園、盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校ノ職員

第百七十八條 幼稚園保姆ノ檢定ハ試驗檢定及無試驗檢定トシテ學力性及身體ニ就キ之ヲ行フ

第百七十九條 試驗檢定ハ臨時之ヲ行フ出願期日等ハ其都度之ヲ告示ス

試驗檢定ヲ受ケントスル者ハ試驗施行ノ告示ヲ待テ出願スヘシ

無試驗檢定ヲ受ケントスル者ハ隨時出願スルコトヲ得

第百八十條 幼稚園保姆ノ檢定ヲ受ケントスル者ハ第十七號書式ノ願書ニ第十一號書式ノ履歷書、



第十二號書式ノ証明書、第十二號書式ノ二身體検査書及戸籍抄本ヲ添へ所轄郡市役所ヲ經ノ出願ス

第百八十一條 保母ノ試験科目及其ノ程度ヲ定ムルコト左ノ如シ  
修身 道德ノ要旨

國語 小學校教科用讀本ノ講讀並作文、習字  
算術 整數、分數及小數ノ加減乗除、單比例、步合算  
唱歌 單音唱歌及樂器使用法

幼童保育法 幼童保育法ノ大要

第百八十二條 幼稚園保母ノ試験ニ合格シタル者ニハ第十九號書式ノ免許狀ヲ授與ス

第百八十三條 他ノ道廳、府縣ニ於テ保母ノ免許狀ヲ有スル者又ハ相當ノ經歷アルモノニシテ特ニ適任ト認メタルトキハ無試験檢定ニ依リ保母免許狀ヲ授與スルコトアルヘシ

第百八十三條ノ二 第七十八條乃至第八十一條ハ幼稚園保母ノ檢定ニ關シ之ヲ準用ス但シ手数料ノ額ハ准教員ト同額トス

第百八十四條 市町村立幼稚園長及保母ノ任用ハ郡市長ニ於テ左ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

- 一 住所、族稱、氏名及生年月日
- 二 任用スヘキ幼稚園名及職名
- 三 俸給又ハ手當ニ關スル見込額及町村長、町村學校組合長ノ意見書
- 四 履歷書

第十六號書式ニ依ルヘシ

轉任ノ場合ニ於テハ現在職名並前項第二號及第三號ノ事項ヲ具シ申請スヘシ但シ所轄外ノ市町村立幼稚園ニ在職セル幼稚園長又ハ保母ノ任用ヲ申請セントスルトキハ現任地郡市長ノ承諾ヲ經其ノ旨附記スルヲ要ス

第百八十五條 郡市長ハ市町村立幼稚園長及保母ノ月俸又ハ手當ノ増減ヲ要スルトキハ其ノ事由ヲ具シ申請スヘシ但シ増俸又ハ手當ヲ増額スル場合ハ町村立ニ係ルモノハ町村長、町村學校組合長ノ意見書ヲ添フヘシ

減俸又ハ手當ヲ減額スル場合ハ本人ノ承諾書ヲ添フルヲ要ス

第百八十六條 第九十條乃至第九十四條ノ規定ハ市町村立幼稚園長及保母ニ之ヲ準用ス

第百八十七條 市町村立幼稚園ニ於テ保母ヲ要スルニ當リ適當ノ候補者ヲ得サルトキハ郡市長ハ一時免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

前項ノ代用保母ハ年齢十六歳以上ニシテ品行方正且相當ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

第百八十八條 前條ノ代用保母ヲ採用シタルトキハ其ノ年月日、氏名、族稱、年齢及俸給額ヲ又解職シタルトキハ其ノ年月日及氏名ヲ具シ知事ニ報告スヘシ

第百八十九條 小學校令施行規則第二百五條ニ依リ私立幼稚園長又ハ保母ノ採用ヲ届出ツルトキハ左ノ各號ノ事項ヲ具スヘシ

- 一 採用年月日
- 二 住所、族稱、氏名及生年月日
- 三 職名及俸給額
- 四 履歷書



第十六號書式ニ依ルヘシ

前項ノ園長又ハ保母ノ解職ヲ届出ツルトキハ其ノ事由及年月日ヲ具スヘシ  
第百九十條 盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校教員ノ免許ニ關シテハ小學校教員檢定ニ關スル  
規定ヲ準用ス

第百九十一條 市町村立盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル市町村立各種學校ノ學校長、教員及雇員ノ任  
用、解職ニ關スル手續ハ第百八十四條乃至第百八十八條ノ規定ヲ準用ス

第百九十二條 私立盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル私立各種學校ノ學校長及教員ヲ採用シ又ハ解職シ  
タルトキハ第百八十九條ノ例ニ依ルヘシ

第百九十二條ノ二 市町村立幼稚園長、保母及市町村立盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル市町村立各種  
學校長、教員ノ職務及服務ニ關シテハ第六章第二節ノ規定ヲ準用ス

第百九十三條 市町村立幼稚園長及保母ノ月俸額ハ六圓以上參拾圓以下トス

第百九十四條 市町村立幼稚園長及保母ノ旅費額ハ第百四十四條ノ規定ヲ準用シ小學校ノ本科正教員  
タルヘキ資格ヲ有スル者ハ正教員ノ額トシ其ノ他ハ准教員ノ額トス

市町村立幼稚園代用保母ノ旅費ハ第百六十八條ノ規定ヲ準用ス

第百九十五條 市町村立盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル市町村立各種學校ノ學校長ノ月俸額ハ拾五圓  
以上六拾圓以下又教員ノ月俸額ハ八圓以上五拾圓以下トス

第百九十六條 市町村立盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル市町村立各種學校ノ學校長及教員ノ旅費額ハ  
第百四十四條及第百六十八條ノ規定ヲ準用ス

第百九十七條 市町村立幼稚園長、保母及市町村立盲啞學校其ノ他小學校ニ類スル市町村立各種學校

長、教員ノ俸給、旅費、諸給與ニ關シ本章ニ規定セサルモノハ第六章第三節第四節及第五節ノ規定  
ヲ準用ス

第十章 附 則

第百九十八條 本令施行ノ際別ニ辭令ヲ受ケサル市町村立小學校教員ハ現ニ受クル俸給額ニ相當スル  
等級俸ヲ受クルモノトス但シ專科正教員ニシテ等級相當ノ俸給額ヲ減セラレタル者ハ現在ノ儘支給  
シ其ノ額ノ最モ近キ上級ノ等級俸ヲ減額セラレタルモノト見做ス

○第一號書式

卒業證書

道廳(府縣)名、族稱

氏 名

何年何月何日生

校印

尋常小學校(高等小學校)ノ教科ヲ卒業セシコトヲ證ス

年 月 日

大分縣何郡(市)何村(私)立

何尋常(高等)(尋常高等)小學校長 氏

名 印

番 號

○第二號書式



修業證書

校印

道廳(府縣)名、族稱

氏

名

何年何月何日生

尋常(高等)小學校第何學年ノ課程ヲ修業セシコトヲ證ス

年 月 日

大分縣何郡(市)何町(私)立

何尋常(高等)(尋常高等)小學校

○第三號書式

學習證書

校印

道廳(府縣)名、族稱

氏

名

何年何月何日生

本學年間ノ課業ヲ學習セシコトヲ證ス

年 月 日

大分縣何郡(市)何町(私)立

何尋常(高等)(尋常高等)小學校

○第四號書式

明治何年何月大分縣何郡(市)町(村)學齡兒童異動簿

(未タ就學ノ始期ニ達セサル兒童ヲ除ク)

學 就 不				童 兒 學 就				種 別		異動事項	入	出	末日	備考				
免除		猶豫		計		卒業		就學							現在			
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	別	別	現在	末日					
										他ノ市町村ヨリ來住	他ノ市町村へ轉住	一年以上居	學齡超過	其他	計	現在	末日	備考
										其他	計	死亡						











私儀本縣(貴縣)内ニ於テ前記ノ教員志望ニ付試験(無試験)檢定ノ上免許狀御授與相成度別紙履歷書  
證明書並身體檢査書戶籍抄本相添ヘ此段相願候也

年 月 日

大分縣知事 氏 名 殿

右 氏 名 印

○第十一號書式 履 歷 書

道廳(府縣)郡(市、區)町(村)大字番地  
族稱、戶主(誰幾男女等)

氏 名

何年何月何日生

學 業

一何年何月ヨリ何年何月マテ何地官(公私)立何學校ニ於テ何學科修業

一何年何月何地官(公私)立何學校ニ於テ何學科卒業證書寫テ添フヘシ

一何年何月ヨリ何年何月マテ何地何誰ニ就キ何學科修業

教員檢定試験

一何年何月何地ニ於テ何々教員ノ試験ヲ受ケ何々免許狀又ハ何々科目ノ證明書ヲ受ケ  
免許狀又ハ證明書寫テ添フヘシ

職 務

一何年何月ヨリ何年何月マテ何々ニ從事ス辭令書寫(俸給辭令共)ヲ添フヘシ

賞 罰

一何年何月何所ニ於テ何々ノ事由ニ依リ賞(罰)ヲ受ク等  
右之通ニ候也

年 月 日 右 氏 名 印

○第十二號書式

証 明 書

道廳(府縣)郡(市、區)町(村)大字番地  
族稱、戶主(誰幾男女等)

氏 名

何年何月何日生

右者小學校施行規則第百四條ニ該當ノ者ニ無之且從來教員(保姆)タルニ不都合ノ行爲ナキ者ニ候仍  
テ証明候也

年 月 日 氏 名 印

道廳(府縣)郡(市、區)町(村)長

族 籍 氏 名

○第十二號書式ノ二



生年月日

- 一、體格
- 一、身長
- 一、體重
- 一、胸圍
- 一、中心視力
- 色盲
- 眼病
- 一、聽力
- 耳疾
- 一、呼吸器
- 一、神經系
- 一、皮膚
- 一、言語

一、既往現在ノ疾病又ハ畸形  
右検査候處相違無之候也

年 月 日

日 月 日 檢 査

住 所

住

所

名 ①

何學校醫

(學校ニアラサル者ナルトキハ) 學位若ハ其資格ヲ記載スヘシ

氏

(別記)

身體検査書記載方心得

- 一 検査ノ表記及身長體重胸圍聽力等ノ検査方法ハ明治三十三年文部省令第四號學生々徒身体検査規程ニ準スヘシ
- 一 体格ノ强健ト稱スルモノハ發育營養共ニ佳良ニシテ無病健全ノ者ヲ指ス
- 中等ト稱スルハ發育營養共ニ普通ニシテ無病ノ者ヲ指ス
- 薄弱ト稱スルハ發育營養共ニ不充分ナルカ或ハ強度ノ脊柱彎曲、扁平胸、狭小胸若ハ全身ノ健康ニ直接ノ關係アル慢性ノ疾患アル者ヲ指ス
- 一 中心視力ハスネルレン氏ノ試視力表ニ依リテ其記載方ハD/Mト記スヘシ但シ遠視若ハ近視ニアリテハ二十尺ノ距離ニ於テ二十號ヲ明視シ得ル眼鏡ノ度ヲ記載スヘシ
- 色盲ハ其ノ有無若シ其ノ患アルモノハ何色盲ト記載スヘシ
- 一 呼吸器ハ理學的診斷ノ成績ヲ記載スヘシ
- 一 神經系中樞若ハ末梢神經ニ障害ノ有無ヲ記載スヘシ
- 一 皮膚ハ主トシテ傳染症皮膚病ノ有無ヲ記載スヘシ若シ顔面等ニ現ハレタル皮膚病アルハ之ヲモ記載スヘシ
- 一言語ハ明朗、吃、嘔聲等ヲ記載スヘシ
- 一 既往現在ノ疾病又ハ畸形ハ腦病、肺病、肋膜炎、脚氣等ノ會患、肺病、心臟病、胃腸病等ノ現在及顯著ナル畸形ヲ記載スヘシ



○第十三號書式

(師範學校卒業者ニ與フルモノ)

小學校教員免許狀

道 廳(府 縣)名、族 稱

大分縣師範學校卒業者 氏

名

何年何月何日生

右ハ大分縣管内ニ於テ小學校本科正教員タルコトヲ免許ス

年 月 日

大分縣知事位勳爵 氏

名 印

番 號

○第十四號書式

小學校教員免許狀

道 廳(府 縣)名、族 稱

氏 名

何年何月何日生

右ハ試験(無試験)檢定ニ依リ大分縣管内ニ於テ(尋常)小學校本科正(何科正)准(教員タルコトヲ免許ス

年 月 日

大分縣知事位勳爵 氏

名 印

番 號

(准教員ニ與フルモノハ縣名トス)

○第十五號書式

(削除)

○第十六號書式

氏名	及生年月日	府縣族稱	本籍	現住所	資格	年 號	免許狀番號	任免賞罰	學業其他事故	官衙學校其他



○第十七號書式

幼稚園保姆檢定願

道廳(府縣)郡(市、區)町(村)大字番地  
族稱、戶主(誰幾男女等)(寄留者ハ本籍、寄  
留籍ヲ併記スヘシ)

私儀本縣(貴縣)内ニ於テ幼稚園保姆志望ニ付試驗(無試驗)檢定ノ上免許狀御授與相成度別紙履歷書  
證明書及身体檢査書戶籍抄本相添へ此段相願候也

年 月 日  
大分縣知事 氏 名 殿  
右 氏 名 氏 名 印

○第十八號書式 (削除)  
○第十九號書式

幼稚園保姆免許狀

道廳(府縣)名、族稱

何年何月何日生

右ハ大分縣管内ニ於テ幼稚園保姆タルコトヲ免許ス  
年 月 日  
大 分 縣 印

明治四十五年三月大分縣令第九號附則

本令施行ノ際現ニ市町村立小學校代用教員ノ職ニ在ル者ハ本令ニ依リ任用セラレタルモノト見做ス

○普通教育施設ニ關スル文部大臣ノ意見

明治二十四年十一月十七日  
文部省訓令 第五號

明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令施行ノ爲メ要スル諸規則ハ今回悉ク之ヲ發布シタリ依リ  
テ茲ニ普通教育ノ施設ニ關スル本大臣ノ意見ヲ表示スルコト左ノ如シ  
普通教育ノ要ハ人ヲシテ人ノ人タル道ヲ知ラシメ日本國民タルノ本分ヲ辨ヘシメ社會及國家ノ福祉ト  
品位トヲ増進セシムルニ在レハ人トシテ此國ニ生活スル者ニハ何人ト雖モ普通教育ヲ受ケシメサルヘ  
カラス是レ國家ノ當ニ爲スヘキ所ノ責任タリ各人ノ當ニ盡スヘキ所ノ義務タリ而シテ市町村ニ命シテ  
公費ヲ以テ小學校ヲ設置セシメ各人ヲ督責シテ兒童ヲ就學セシムル所以ナリ  
國家ノ精神風俗貧富強弱等皆此普通教育ニ淵源セサルハナシ國家永遠ノ基礎ヲ堅固ニセント欲スル者  
須ク茲ニ留意シ國家百年ノ長計ヲ誤ルヘカラス



小學校ニ於テハ徳性ヲ涵養シ人道ヲ實踐セシムルヲ以テ第一ノ主眼トシ殊ニ尊王愛國ノ志氣ヲ發揚シ  
 兒童ヲシテ實業ヲ勵ミ素行ヲ修メ忠良ノ民タラシメンコトヲ務ムヘシ  
 身體ハ百事ヲ爲スノ根源ナリ幼時身體發育旺盛ノ時ニ在リテ之カ培養ヲ忽ニスルトキハ成長ノ後遂ニ  
 羸弱ノ民トナルヘシ小學校ニ於テハ殊ニ茲ニ留意セサルヘカラス  
 小學校ノ修身ハ教育ニ關スル 勅語ノ旨趣ヲ奉體シ本邦固有ノ道ヲ基礎トシテ萬國普通ノ事理ヲ酌量  
 シ躬行實踐ヲ務メ常ニ社會全般ノ徳義ニ背クコトナキヲ期スヘシ  
 小學校ノ讀書作文習字算術ハ主トシテ修身日本地理日本歴史及日常必須ノ事ヲ材料トシ務メテ切實ノ  
 方法ニ依リ教授スヘシ  
 此等ノ諸教科目ニ於テハ皆適實善良ナル教科書ヲ撰定スルヲ要ス殊ニ修身ニ於テ多數ノ教員ノ腦裏ニ  
 一任シテ教科書ヲ定メサルカ如キハ其ノ當ヲ得サルモノトス  
 小學校ノ教科書ハ教育上ニ經濟上ニ殊ニ至大ノ關係ヲ有スルモノナレハ其編纂採擇ノ方法最モ深ク考  
 究セサルヘカラス  
 人ノ人タル所ノ道國民ノ國民タル所ノ義及日常必須ノ事ニ關シ教育スルノ基ハ尋常小學校ニ在レハ其  
 教科目ハ此旨趣ニ依リテ之ヲ教授シ濫リニ科目ヲ増サス務メテ簡易ニシテ能ク理會セシメンコトニ注意  
 スヘシ  
 小學校ニ於テ往々教育ノ道ヲ誤リ其弊ヤ子弟ヲシテ家業ヲ忌ミ父兄ヲ侮リ徒ニ衣食ノ美ヲ欲シ安逸ヲ  
 希ヒ勞働ヲ避ケシムルカ如キ結果ヲ生シ又貧弱ノ者モ唯々學問ニ從事スルトキハ一身ノ榮達期スヘ  
 シト信シ其資力ヲ計ラスシテ歲月ヲ徒費シ其極一身一家ノ不幸一國ノ不利ヲ釀スニ至ルハ目下教育上  
 ノ通弊ナリ又女子ニ在リテハ往々温順貞淑ノ美風ヲ損シ酒掃應對ノ實務ニ疎ク長シテ家事ヲ處理スル

ノ能ニ乏シキ者アリ大ニ之カ矯正ノ道ヲ計畫セサルヘカラス  
 教員ハ教育ノ主腦ナレハ小學校教員ハ須ク其撰擇ヲ慎ミ其待遇ヲ厚クシテ永ク其職ニ安ンシ其誠ヲ盡  
 サシムルノ方法ヲ求メサルヘカラス  
 小學校教員ノ現數六萬有餘ニシテ正當ノ資格アル者未タ其半ニ達セス而シテ資格ヲ與フルノ方法主ト  
 シテ學術試驗ニ依ルヲ以テ經驗ニ富メル老成者少クシテ少年ノ輩多シ教育ノ良果ヲ得ルニ於テ憂慮ス  
 ヘキモノアリ須ク檢定ノ法ヲ改メ任用ノ法ヲ正シ老成ニシテ經驗アリ著實ニシテ善良ナル正教員ヲ増  
 加スルノ方法ヲ講セサルヘカラス  
 普通教育ノ施設ハ少數ノ兒童ヲシテ完全ノ教育ヲ受ケシメンヨリ寧ロ多數ノ兒童ヲシテ國民必須ノ教  
 育ヲ受ケシメサルヘカラス苟モ此教育ヲ受ケサレハ人其人ニ非ス民其民ニ非サルナリ方今全國學齡兒  
 童ノ就學未タ其半ニ達セス而シテ其殘レルモノハ貧民ノ兒童多キニ居ル之ヲ就學セシムルノ方法大ニ  
 熟慮セサルヘカラス  
 普通教育モ亦完全ヲ望ムハ固ヨリナリト雖モ貧富ヲ論セス一般人民ノ兒童ヲ督責シテ就學セシムルモ  
 ノナレハ其施設ハ宜シク國家經濟ノ狀ヲ顧ミ人民貧富ノ度ヲ考ヘ之ニ適合シタルモノタラサルヘカラ  
 ス  
 私立小學校及之ニ類スル各種ノ私立學校ハ教育ヲ普及スルニ於テ其關係少カラス苟モ教育ノ目的ヲ誤  
 ラサランニハ當ニ設備不完全等ノ點ヲ以テ弊害アリト論定スヘカラス之ヲ使用シテ世教ヲ補益スルノ  
 一助トナスヘシ  
 學校施設或ハ完全ヲ期シテ國度民情ニ適セス却テ教育ノ普及ヲ妨クルノ傾ナキニ非ラス教育上ニ經濟  
 上ニ其弊害免カレサルモノアリ將來ノ施設上宜シク注意セサルヘカラス殊ニ學校ノ編制建築等ニ至リ



テハ民度ニ適合セサルモノ少シトセス須ク簡略質素ノ方向ニ改メサルヘカラス  
 此方案タル外形ニ於テハ或ハ教育ノ程度ヲ下シ教育ノ規模ヲ縮ムルノ觀ナキニ非ス然レトモ實際教育  
 ヲ普及シテ大ニ就學人員ヲ増加スヘキカ故ニ縱令其ノ厚サニ於テ減縮スルコトアルモ其幅ニ於テハ擴  
 張スルニ至ルヘシ學政ノ大體ニ就キテ之ヲ觀察スレハ利アリテ害ナシト謂フヘシ又此方案ハ現今ノ國  
 度民情ニ照ラシテ處分スルニ出テタルモノナレハ自今而後國力ノ上進ニ伴ヒ漸次ニ歩ヲ進ムルハ固ヨ  
 リ言ヲ待タサルナリ  
 以上述フル所ハ主トシテ一般ニ就學ヲ督責スル尋常小學校ノ教育ニ關スルモノトス其他中人以上ノ子  
 女ニシテ進ミテ中等若クハ高等ノ教育ヲ受クヘキモノノ初等教育ニ至リテハ其方法ヲ異ニスヘキモノ  
 多シ注意セサルヘカラス  
 地方ノ學事ニ關スル普通ノ行政事務ハ成ルヘク地方官ニ委任シテ其責任ヲ重ンセシムヘシ然レトモ教  
 育上特ニ慎重ヲ要スヘキ事項即チ教育ノ目的方法教則教科書教員生徒等ニ關スルモノハ充分ニ文部省  
 ニ於テ之ヲ表示スヘシ  
 法令條規煩細ニ過クルトキハ却テ實行ノ障礙ヲナスモノアリ自今學政上ノ諸法規ハ成ルヘク簡約ニシ  
 テ要領ヲ擧ケ其細目ニ至リテハ地方當局者ニ運用ノ便ヲ與ヘ實際圓滑ニ行ハレンコトヲ期スヘシ  
 法令具備シ設備宜シキヲ得ト雖苟モ監督其方ヲ得サレハ實効ヲ奏スルコト能ハス教育ノ事殊ニ然リト  
 ヲ宜シク監督ノ方法ヲ嚴正ニシ學政ノ實効ヲ擧クルコトニ深ク注意セサルヘカラス  
 本大臣ノ普通教育施設ニ關スル意見概テ此ノ如シ而シテ今回發布シタル諸規則ハ一ニ此旨趣ニ依リテ  
 制定セリ府縣知事ニ於テ今後規定セラル、所ノ諸規則並萬般ノ處分等總テ前陳ノ旨趣ニ依遵セラレン  
 コトヲ希望ス

○小學校令改正ノ要旨及其ノ施行上注意要項

明治三十三年八月二十二日  
 文部省訓令 第十號

府 縣 沖繩縣  
ヲ除ク

今般勅令第三百四十四號ヲ以テ小學校令ヲ改正發布セラレ文部省令第十四號ヲ以テ小學校令施行規則  
 ヲ發布セリ蓋從來ノ小學校令ハ明治二十三年ノ制定ニ係リ其施行以來年ヲ閱スルコト已ニ十餘年之ヲ  
 其ノ實施ノ蹟ニ徵シ時勢ノ進歩ニ考フルニ改正ヲ要スルモノ少カラス是レ今回小學校令ノ改正發布ア  
 ルニ至リ又施行規則ヲ發布シテ其改正ノ旨趣ニ依リ之カ施行ニ要スル諸般ノ事項ヲ總括規定セル所以  
 ナリ本大臣ハ府縣知事カ能ク改正小學校令ノ旨趣ヲ體シ施行規則ニ遵ヒ以テ小學校教育ノ施設ヲシテ國  
 運ノ進歩ニ伴ヒ時宜ニ適應セシメンコトヲ望ム爲左ニ小學校令改正ノ要旨ト其ノ施行上特ニ注意ヲ要  
 スルノ點ヲ擧示セン  
 小學校ノ教科目ニ於テハ從來其ノ數或ハ多キニ過キ兒童ノ負擔重キニ拘ラス其ノ得ル所ノ知識ハ却テ  
 散漫ニ失シ確實ナルヲ得サルノ憂アリ故ニ教科目ノ數ハ成ルヘク之ヲ減少シ兒童心身ノ發育ニ應シテ  
 適切ノ教授ヲ爲シ力ヲ必須ノ科目ニ集注セシメ務メテ日常生活ノ用ニ資セシメンコトヲ期シ從來ノ加ヘ  
 得ヘキ科目ヲ減シ、除キ得ヘキ科目ヲ増シ、讀書、作文、習字ノ如キ之ヲ合セテ國語ノ一科目トセラ  
 レタリ而シテ其ノ教授ハ元相關聯スルモノナルヲ以テ務メテ分離スルノ弊ヲ避ケ相待テ兒童學習ノ知  
 識ヲ完實ナラシメンコトヲ要ス故ニ其ノ讀ミ方、綴リ方、書キ方ノ教授時間ノ如キハ各々其ノ主トス  
 ル所ニ依リ區別シテ教授スルコトヲ得ルモ彼此相資シテ適宜ノ方法ヲ取ルヘシ又小學校ニ於テ教授ニ  
 用フル假名ノ字體並ニ字音假名遣ノ例ヲ示シ以テ兒童ヲシテ簡便ニ實際ノ應用ニ資シ易カラシメンコ



トヲ期シ徒ニ複雑繁密ノコトノ爲ニ過度ノ心力ヲ費スコトナカラシメ且尋常小學校ニ於テ教授ニ用フ  
 ル漢字ノ數ヲ凡ソ千二百字内外ニ於テ選用スルコト、セリ從來小學校ニ於ケル教授ノ實況ヲ視ルニ專  
 ラ力ヲ文字ノ教授ニ盡シテ德育上智育上肝要ナル事項ニ及フ能ハサルノ憾アリ而モ猶文字ノ智識確實  
 ヲ闕キ自在ニ之カ應用ヲ爲スヲ得ス蓋學習スル文字ノ數ヲ減シ日常須知ノモノニ限ルトキハ之ニ熟練  
 セシメ易ク從テ應用上ニ於ケル利益却テ多クシテ必要ナル知識技能ヲ得シムルニ於テ亦敢テ不便ヲ感  
 スルコトナキヲ得ン是レ今回尋常小學校ニ於テ教授ニ用フル漢字ノ大體ノ範圍ヲ示シタル所以ナリ又  
 小學校ニ於テ各學年ノ課程ノ修了若ハ全教科ノ卒業ヲ認ムルニハ卒業ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定メ試験  
 ノ方法ニ依ラサルコト、セリ是レ心身ノ發育未タ十分ナラサル兒童ヲシテ競争心ニ驅ラレ試験前一時  
 ニ過度ノ勉強ヲ爲シ是カ爲ニ往々其ノ心身ノ發育ヲ害スルノミナラス試験ノ爲ニ勉強スルノ陋習ヲ訓  
 致スルヲ避ケンカ爲ナリ又小學校ニ於ケル每週教授時數ヲ減シ從來其ノ制限尋常小學校ニ在リテハ三  
 十時ナリシヲ二十八時トシ高等小學校ニ在リテハ三十六時ナリシヲ三十時トセリ是レ小學校ニ於ケル  
 教授ヲシテ特ニ兒童心身ノ發達ニ應セシメンコトヲ期スルカ爲ナリ其ノ他教則中ニ於ケル數多ノ改正  
 ハ從來ノ實驗ニ徵シテ小學教育ノ目的ヲ全カラシメンカ爲ニ外ナラス

修業年限ニ於テハ義務教育ノ年限即チ尋常小學校ノ修業年限ハ三年若ハ四年ニシテ此ノ年限内ニ於テ  
 小學校ノ本旨トスル道德教育及國民教育ノ基礎並ニ生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授クルハ蓋シ爲  
 シ難キ所ナリ之ヲ歐洲諸國ニ於ケル義務教育ノ年限ニ比スルニ短キコト三四年ナルノミナラス言語文  
 字ノ學習ニ於テ我ハ彼ニ比シ數倍ノ困難アリ故ニ尋常小學校ノ義務年限ハ之ヲ延長スルノ要アルニ似  
 タレトモ國度民情ニ考ヘ義務教育普及ノ實況ヲ察スレハ未タ遽カニ四年以上ニ延長スルヲ許サ、ル事  
 情アリ是ヲ以テ從來二年ナリシモノヲ四年ニ改正スルニ止メラレタリ是レ義務教育ヲシテ今日ノ國度

民情ニ適合シ且其ノ普及上支障少カラシメンコトヲ期スルカ爲ナリ

修業年限ノ延長ハ直ニ之ヲ今日ニ實行シ難キモ將來ノ爲ニ豫メ其ノ準備ヲ爲スハ當ニ務ムヘキ所ナリ  
 從來修業年限ニ長短アルニ拘ラス同一ノ教科ヲ授クルノ制ナリシヲ改正シテ高等小學校ニ於テハ修業  
 年限ニ應シテ其ノ教科目ヲ斟酌スルコトヲ許シタリ故ニ二年ノ高等小學校ノ教科目ヲシテ成ルヘク尋  
 常小學校ノ教科目ト相聯絡セシメンコトヲ期シ以テ尋常小學校ニ二年ノ高等小學校ヲ併置スルノ便ヲ  
 圖レリ從來補習科ノ名義ヲ以テ高等小學校ニ類似セル教科ヲ置キタル場處ノ如キハ成ルヘク之ヲ二年  
 程度ノ高等小學校ノ編制ニ改メテ尋常小學校ニ併置スルノ方法ヲ講スヘシ而シテ高等小學校ヲ増設ス  
 ルニ當リテハ資力ヲ量ラシテ濫ニ修業年限ノ長キモノヲ設ケンヨリモ寧ロ二年程度ノモノ、設置ヲ  
 獎勵スヘシ

尋常小學校ニ高等小學校ヲ併置スルニ至ルハ希望スル所ナレトモ町村ノ資力或ハ其ノ併置ニ堪ヘサル  
 モノ亦少カラサルヘシ此ノ如キ場處ニ於テハ補習科ヲ設クルヲ以テ利便多シトス從來設クル所ノ補習  
 科ハ多クハ通常教授時間内ニ之ヲ設ケ是カ爲ニ別ニ教室ヲ要シ教員ヲ置クニ至レリ此ノ如キハ補習科  
 ノ本旨ニ稱フモノニアラス元來補習科ハ通常教授時間内ニ於テハ學習スルノ能ハサル兒童ヲシテ既修  
 ノ學科ヲ練習補充セシムルヲ旨トス故ニ補習科ヲ設置スルニハ或ハ夜間ニ於テシ或ハ日曜日ニ於テシ  
 或ハ季節ヲ選ヒテ教授シ既設ノ教室ヲ之ニ利用シ正科ヲ擔任スル教員ヲシテ之ヲ兼擔セシムル等土地  
 ノ情況ヲ斟酌シ專ラ便宜ヲ旨トスヘキナリ此ノ如キ方法ヲ以テ補習科ヲ設クルトキハ其ノ要スル費用  
 ハ誠ニ少額ヲ以テ辨スルヲ得ヘシ而シテ小學校ヲ卒リテ後直ニ職業ニ従事スル者ヲシテ其ノ學習セル  
 所ヲ一層實用ニ適應スルニ足ルノ練習補充ヲ爲サシムル爲補習科ヲ設クルハ最モ必要トスル所ナリ故  
 ニ補習科ハ將來意ヲ用ヒテ其ノ増設ヲ獎勵スヘシ



就學ニ於テハ之ニ關スル規定ヲ明確ニシテ義務教育ノ施行上不便ナカラシメンコトヲ期セラレタリ近年各地方ニ於テ學齡兒童ノ調査ヲ精確ニシ就學ノ督促ニ務ムルカ如キモ自今一層義務教育ノ普及ヲ圖リ邑ニ不學ノ戸ナク家ニ不學ノ徒ナカラシメ以テ國基ノ鞏固ヲ圖ルヘキナリ而シテ改正小學校令中履備ニ依リテ學齡兒童ノ就學ヲ妨クルヲ得サルコトヲ規定セラレタルハ苟モ未タ尋常小學校ノ教科ヲ卒業サル兒童ハ假令貧家ノ子弟ナリト雖モ之ヲ履備セサラシムルノ旨意ニアラス寧ロ履備主ヲシテ簡易便宜ノ方法ニ依リ其ノ履備スル兒童ニ教育ヲ施サシメントスルノ精神ニ外ナラス

授業料ニ於テハ從來ノ小學校令ノ規定ハ之ヲ徵收スルヲ本體トシ唯各個人ニ對シテノミ減免ノ途ヲ存シタリシカ明治二十六年ニ至リ勅令第三十四號ヲ以テ學校基本財産等ノ收入アルトキハ府縣知事ノ許可ヲ受ケテ尋常小學校ニ於テハ之ヲ徵收セサルヲ得ルコト、セラレタリ然ルニ爾來時勢ノ進歩ニ察シ且義務教育ノ性質ニ考フルニ尋常小學校ノ授業料ヲ徵收セサルヲ本體ト定ムルハ當然ノコトニ屬スルヲ以テ改正令ニ於テハ特別ノ事情アリ府縣知事ノ認可ヲ受ケテ徵收スル場合ヲ除キ尋常小學校ニ於テハ授業料ヲ徵收セサルコトヲ得スト規定セラレタリ蓋就學ノ督促ヲ爲シ義務教育ノ普及ヲ圖ランカ爲ニハ授業料ヲ徵收セサルハ其ノ方法ノ一タラサルヲ得ス然レトモ授業料ノ收入ヲ以テ學校維持費ノ重要ナル財源ト爲シタル地方ニ在リテ違ニ之ヲ廢止セントシテ其ノ經濟上ニ大ナル影響ヲ生スルカ如キハ亦深ク戒メサルヘカラサル所ナリ宜ク土地ノ情況ヲ察シ緩急ヲ量リテ適當ノ施設ヲ爲シ小學校教育ノ實効ヲ擧クルヲ以テ旨トナサルヘカラス

小學校圖書審査委員會ニ於テハ其ノ組織ヲ改正シ從來加ヘタル所ノ府縣參事會員及小學校教員ヲ除キ新ニ府縣書記官、府縣立高等女學校長及郡視學ヲ加フルコト、セラレタリ蓋府縣參事會員ハ府縣ノ經濟ノ情況ニ通スルヲ以テ圖書審査ノ際成ルヘク府縣經濟ノ實況ニ伴ハシムル爲從來ハ之ヲ加ヘタリシ

モ多年ノ經驗ニ依リ今日ニ至リテハ最早參事會員ヲ加フルノ必要ナキヲ以テ之ヲ除カレタリ又從來小學校教員ヲ加ヘタリシハ圖書審査ノ際小學校ノ學科程度ニ適セシムルヲ要スルカ爲ナリシモ郡、府縣ニ視學ヲ置カレ之ヲ審査委員會ニ加ヘラレタル今日ニ於テハ最早教授ニ餘暇少キ小學校教員ヲ強テ加フルノ必要ナキニ至レルヲ以テ之ヲ除カレタリ而シテ更ニ府縣書記官ヲ加ヘラレタルハ之ヲシテ審査委員會ノ委員長ニ充テ審査會ヲ統轄セシムルノ必要アルヲ以テナリ高等女學校長及郡視學ヲ加ヘラレタルハ師範學校長、中學校長、及府縣視學等ト同様ノ職務上關係アルヲ以テナリ又施行規則ニ於テハ審査ノ旨趣ヲ明ニシ學校ノ種類、男女ノ區別又ハ學校所在地ノ情況ニ依リテ各別ニ適切ナル圖書ヲ選定スルコトヲ得シメ全府縣ヲ通シテ同一種類ノ圖書ヲ二種以上併用スルカ如キコトナカラシメン然レトモ市街地ト村落トノ如キ或ハ山間ト海邊トノ如キハ成ルヘク各々其ノ土地ノ情況ニ適切ナルモノヲ選ヒテ之ヲ用フルヲ可トス又府縣知事ニ於テ採定シタル圖書ハ之ヲ使用セントスル學年ノ開始ヨリ少クモ九十日以前ニ其ノ採定シタル圖書ニ關スル必要ノ事項ヲ公布セシムルコト、シテ學年開始ニ至リ採定シタル圖書ノ供給ヲ關キ教授ニ支障ヲ來スカ如キ憂ナカラシメンコトヲ期シタリ

小學校ノ職員ニ於テハ正准教員ノ外代用教員ヲ認メラレタリ是レ實際ノ情況ニ顧ミテ今日ノ時宜ニ應セラレタルニ外ナラス現在資格アル正教員ノ不足數夥シキ際ニ當リテハ代用教員即チ從來ノ雇員ヲ採用シテ之ヲ補充セサルヘカラス是レ今日ニ在リテハ已ムコトヲ得サル所ナリ而シテ又學校編制ノ規定ニ於テモ最モ教員ノ配置ニ注意シ小學校ニ於テハ單級小學校ト雖モ必ス正教員ヲ置クヲ本體トシ多級小學校ニ於テハ正教員ヲ得難キトキハ必スシモ學級毎ニ正教員ヲ置カスニ學級毎ニ一人ノ割合ヲ以テ之ヲ置クヲ得ルコト、シ以テ平均ニ資格アル正教員ノ配置ヲ爲スヲ得シメタリ故ニ能ク注意シテ獨リ都會ノ地ニ在ル小學校ニ資格アル教員集注シテ僻陬ノ地ニ在ル小學校ハ資格ナキ者ノミヲ以テ充タサ



ル、如キ弊ナカラシメンコトヲ要ス  
 改正小學校令中以上ニ示ス所ノ外猶從來ノ實驗ニ徴シ時勢ノ進歩ニ考ヘ必要ノ改正ヲ施サレタルモノ多シ然レトモ以上示ス所ノ如キハ其ノ最モ主要ナルモノナリ殊ニ改正小學校令ニ於テハ意ヲ用ヒテ從來ノ施設ヲ改造スルノ方法ヲ避ケ之ヲ補綴改善スルノ方針ヲ取ラレタリ蓋往々改正ニ伴フ通弊タル從前ノ施設ヲシテ無効ニ歸セシメ經濟上大ナル變動ヲ生スルニ鑑ミタルナリ而シテ其施行上ノ手續ノ如キハ之ヲ從來ノ經驗ニ徴シ務メテ簡便ニ從ハンコトヲ期セリ  
 小學校教育ノ事タル其ノ實効ヲ奏セント欲スレハ單ニ法規ノ整備ニノミ賴ルコトヲ得ス必スヤ小學校教員ニ其ノ人ヲ得學事ノ監督其ノ宜キヲ得サルヘカラス而シテ小學校教員ニ其ノ人ヲ得ント欲スレハ之ヲ優待スルノ道ヲ講スルト之ヲ鼓舞獎勵スルノ法ヲ設クルヲ要ス近年市町村ハ概テ教員ヲ優遇セントスルノ狀アリ政府モ亦年功加俸ノ制ヲ改メ特別加俸ノ制ヲ新設シ且教育資金ノ一部ヲ以テ教員獎勵ノ費ニ充ツルコトヲ許シタリ府縣知事ニ於テハ能ク教員ノ選任ニ注意シ有能ヲ獎メ有功ヲ推シ小學校教員ヲシテ各々樂ミテ其職ニ勵精セシメンコトヲ期圖スヘシ又學事ノ監督ニ關シテハ曩ニ地方官官制ノ改正ニ依リ郡、府縣ニ視學ノ官ヲ置カレタルヲ以テ學事監督ノ機關畧々備ハリタリ今ヤ小學校令ノ改正發布セラレ又小學校令施行規則ヲ發布シタルニ依リ府縣知事ハ能ク其ノ旨趣ヲ體認スルト共ニ深ク小學校教員ノ選任ト學事ノ監督トニ注意シ以テ小學校ノ教育ヲシテ益々實用ニ適セシメ國民教育ノ實効ヲ擧クルニ於テ遺算ナカラシムコトヲ務ムヘシ

○小學校令改正ノ要旨及其ノ施行上注意事項

明治四十年三月二十五日  
 文部省訓令第一號  
 北海道廳 府縣

今般勅令第五十二號ヲ以テ小學校令中ニ改正ヲ加ヘラレ文部省令第六號ヲ以テ小學校令施行規則ノ一部ヲ改正セリ今左ニ改正ノ要旨ヲ擧ケ且其ノ施行上特ニ注意ヲ要スル事項ノ大要ヲ示サン  
 義務教育ノ年限即チ尋常小學校ノ修業年限ヲ六箇年ニ延長スルハ改正令ノ主眼トスル所ナリ蓋シ從來ノ修業年限ヲ以テ義務教育ノ本旨ヲ全ワスルコトハ頗ル困難ナルニ因リ明治三十三年現行小學校令制定ノ際既ニ其ノ年限ヲ延長スルノ必要ヲ認メタルモ當時四箇年ノ義務教育スラ尙未タ普及スルニ至ラザリシカ故ニ將來ニ之カ實行ヲ期スルコトヲシ其ノ準備トシテ尋常小學校ニ修業年限二箇年ノ高等小學校ヲ併置スルコトヲ獎勵スルニ止メタリ爾來義務教育ハ著シク普及スルニ至レルノミナラス尋常小學校ニ高等小學校ヲ併置シタルモノ亦大ニ増加シ今ヤ改正ノ時機既ニ熟セルヲ認ムルト共ニ戰後益々國民ノ智徳ヲ上進スルノ必要アリ是レ義務教育ノ年限ヲ延長セラレタル所以ナリ固ヨリ今回ノ改正ハ未タ之ヲ以テ足レリトスルニアラスト雖モ我國現下ノ情況ハ遠ニ之ヲ六箇年以上ニ延長スルコトヲ許ササルヲ以テ暫ク之ニ満足シ其ノ完成ハ更ニ之ヲ他日ニ期セントス  
 尋常小學校修業年限ノ延長ハ現在ノ高等小學校第一學年第二學年ヲ尋常小學校ノ範圍内ニ移シタルニ外ナラス故ニ其ノ教科目ニ關シテハ多少ノ取捨ヲ爲シタリト雖モ概テ高等小學校第一學年第二學年ノ教科目ヲ加ヘラレタルニ過キス而シテ此等ノ教科目中手工ハ從來教育上ノ効果顯著ニシテ將來ハ必設ノ科目ト爲スノ期至ルヘキヲ以テ務メテ其ノ加設ヲ獎勵センコトヲ望ム  
 高等小學校ハ現在ノ第三學年第四學年ヲ其ノ第一學年第二學年トシテ仍之ヲ存續シ土地ノ情況ニ依リテハ三箇年ニ延長スルヲ得ルゴトナレリ蓋シ義務教育ハ他日再ヒ其ノ年限ノ延長セラレ、コトアルヘク又本來高等小學校ハ義務教育ヲ終リタル兒童ニ一層精深適切ナル普通教育ヲ施スヲ主トスルモノナレハ其ノ目的トスル所自ラ中學校高等女學校等ト同シカラス故ニ義務教育ヲ終リ尙二三箇年間教育



ヲ受ケントスル者ニシテ中學校若ハ高等女學校等ニ入り半途ニ退學スルカ如キ者ニアリテハ寧ロ初ヨリ高等小學校ニ入學シ適切ニシテ且完結セル教育ヲ受クルヲ以テ優レリトス若シ夫レ此ノ際義務教育年限ノ延長ニ伴ヒ既設ノ高等小學校ヲ廢止セントスルカ如キハ毫モ理由ナキコトナルノミナラス更ニ必要アル場合ニ於テハ却テ之カ新設ヲ躊躇スヘカラサルナリ

義務教育年限ノ延長ハ全國一齊ニ之ヲ實施スルハ固ヨリ望ム所ナレトモ市町村ノ情況ニ依リ違ニ之ヲ實行シ難キモノアラシコトヲ慮リ特別ノ事情アルモノハ當分仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ許サレタリ是レ市町村ノ經濟ヲ斟酌シ成ルヘク便宜ノ處置ヲ許スノ旨趣ニ外ナラス

此ノ如ク義務教育年限ノ延長ハ其ノ時機既ニ熟シ加フルニ市町村ノ情況ニ依リ仍從來ノ規定ニ依ルコトヲ得シムル等便宜ノ處置ヲ許スヲ以テ改正令ノ實施ハ甚シキ困難ナキヲ信スルモ之ニ伴ヒ學級數ヲ増シ隨テ校舍ノ増築ト教員ノ増加トヲ要シ經費ノ増額ヲ來スハ免レサルノ數ナリ然ルニ市町村ノ經濟ハ十分ノ餘裕アリト云フコトヲ得ス加フルニ時勢ノ進步ニ伴ヒ市町村ノ事業モ漸次多キヲ加フヘク單ニ教育上ノミニ就テ之ヲ見ルモ教員優待等經費ノ増加ヲ要スヘキモノアルヲ以テ此ノ改正令ヲ實施スルニ當リテハ務メテ節約ノ方法ヲ講スルヲ怠ルヘカラス即チ或ハ學級ノ編制ヲ整理シ或ハ二部教授ヲ施シ以テ校舍及教員ノ不足ヲ補フカ如キ適宜ノ方法ヲ設ケ改正令ノ實施ヲ圓滑ニスルヲ期セサルヘカラス蓋シ二部教授ハ之ヲ近年ノ研究ニ徵スルニ尋常小學校第一學年第二學年等幼年兒童ノ學級ニ行フ時ハ其教育上ノ効果ハ幾ント通常ノ教授ニ讓ラサルヲ見ル故ニ改正令實施ニ際シ經濟上必要アル場合ニ於テ一部ノ兒童ニ之ヲ行フハ時宜ニ適シタルモノタルヲ信ス殊ニ六箇年ノ單級教授ニ至リテハ若シ通學路程等ノ關係上格別ノ支障ナキ場合ニ於テハ之ヲ二部教授ト爲スヲ以テ却テ利アリトスヘシ補習教育ハ從來常ニ獎勵シタル所ナレトモ未タ十分ニ其ノ目的ヲ達スルニ至ラザリシハ遺憾トスル所

ナリ今ヤ尋常小學校ノ年限ヲ延長スルモ之ニ接續シテ設ケヘキ普通ノ補習教育及實業補習教育ハ益々之ヲ獎勵スルコトヲ怠ルヘカス今回補習科ノ教授時數ノ制限ヲ廢止シタルハ畢竟之カ施設ヲシテ一層地方ノ情況ニ適切ナラシメンカ爲ニ外ナラス

尋常小學校教員ノ試驗檢定ニ就テハ其ノ程度ヲ進メ且試驗ヲ闕クコトヲ得ル科目ノ數ヲ減シタリ是レ修業年限ノ延長ニ伴ヒ其ノ學力ノ程度ヲ進メサルヲ得サルニ至リタルヲ以テナリ而シテ從來四箇年ノ尋常小學校ノ教員タルヘキ資格ヲ有スル者ヲ以テ改正後直ニ六箇年ノ尋常小學校ノ教員タルヘキ資格ヲ認メタルカ故ニ之ニ對シテハ適當ノ方法ヲ設ケ理科其ノ他必要ナル學科目ヲ講習セシメ以テ其ノ學力ヲ補習セシメンコトヲ努ムヘシ

尋常小學校ニ於テハ授業料ヲ徵收セサルヲ本體トシ特別ノ事情アルカ爲之ヲ徵收スル場合ト雖モ學年ニ依リ其ノ額ニ差等ヲ設ケサルヲ原則トスルハ勿論ナリ然レトモ從來高等小學校ニ關シテハ授業料ノ收入ヲ以テ重要ナル財源ト爲セル地方少カラサルヲ以テ改正令實施ノ際高等小學校ニ於テ徵收スル授業料額ヲ超エサル限リハ尋常小學校ノ第五學年第六學年ニ於テ特ニ當分ノ内之ヲ徵收スルコトヲ許セリ是レ經濟上洵ニ已ムコトヲ得サルニ出テタルナリ而シテ之カ施行上ニ就キテハ慎重ノ查覈ヲ遂ケ適應ノ措置ヲ爲サンコトヲ要ス代用私立小學校ハ之ヲ既往ノ實驗ニ徵スルニ其ノ成績公立學校ニ比シ著シク劣ルモノアルノミナラス今ヤ全國ヲ通シテ市町村立學校ノ施設普及セルカ爲ニ其ノ數實ニ多カラシテ僅ニ一地方ニ偏在スルニ過キス故ニ特ニ之ヲ一ノ制度トシテ存置スルノ必要ヲ認ムル能ハサルニ至レリ是レ今回ノ改正令ニ於テ此ノ制ヲ廢セラレタル所以ナリ

本大臣ハ各地方長官カ能ク改正ノ旨趣ヲ體シ國運ノ發展ニ鑑ミ地方經濟ノ狀況ニ應シ施設誘導宜シキヲ得テ益々國民教育ヲ進歩セシメンコトヲ望ム



○小學校令施行規則改正ニ付注意ノ件 明治四十一年九月七日  
文部省訓令第十號  
(省略)

○小學校令施行規則中改正ニ關シ注意ノ件 明治四十一年十月五日  
大分縣訓令第三十四號  
師範學校 郡役所 小學校

今般文部省令第二十六號ヲ以テ小學校令施行規則中ニ改正ヲ加ヘラレタルニツキ左記ノ通り訓令セラレタリ事ニ兒童ノ教育ニ當ル者及之カ監督ノ任ニ在ル者ハ克ク其ノ意ヲ體シ以テ省令改正ノ趣旨ヲ貫徹センコトヲ期スヘシ  
文部省訓令第十號 (明治四十一)  
年九月七日

北海道廳 府 縣

今般文部省令第二十六號ヲ以テ小學校令施行規則中ニ改正ヲ加ヘ小學校ニ於テ教授ニ用フル假名及其ノ字体、字音假名遣竝ニ漢字ニ關スル規定ヲ削除セリ

假名ハ大体ニ於テ從來ノ規定ニ依ルヲ適當ト認ムルモ尙普通ニ行ハル、變体假名ヲ加ヘ授クルノ必要アリ漢字ノ數モ亦義務教育延長ノ結果相當ノ増加ヲ要ス是レ假名及其ノ字体竝ニ漢字ニ關スル規定ヲ削除シタル所以ナリ又字音假名遣ハ當初改正ノ際ハ兒童ヲシテ國語學習上ニ於ケル困難ヲ避ケシメントスル趣旨ニ出タルモノナレトモ實施ノ結果ニ鑑ミ豫期ノ目的ニ副フコト能ハサルヲ認メタルヲ以テ今回國定教科用圖書改正ノ時期ニ迫レルヲ機トシ之ヲ廢止セリ惟フニ假名遣ハ時勢ノ進歩ニ伴ヒ整理ヲ要スヘキコト勿論ナリト雖尙益々慎重ナル研究ヲ積ミ以テ其ノ目的ヲ達センコトヲ期ス  
省令改正ノ結果字音假名遣ハ小學校ニ於テモ他ノ學校ニ於ケルカ如ク古來慣用ノ例ニ依ルヘク教科用圖書亦之ニ依リテ編纂セラルヘシ然レトモ字音假名遣ノ爲徒ニ國語ノ學習ヲ艱澁ニシ兒童ノ心神ヲ過勞セシムルカ如キハ務メテ之ヲ避ケサルヘカラサルヲ以テ敢テ繩墨ニ拘泥スルヲ要セス便宜從前ノ假名遣ヲ許容スル等取捨其ノ宜シキニ從ヒ適當ノ教授ヲ施サンコトヲ要ス  
地方長官ハ事ニ兒童ノ教育ニ當ル者ヲシテ克ク此ノ意ヲ體シ以テ省令改正ノ趣旨ヲ貫徹セシメンコトヲ努ムヘシ

○小學校令及小學校令施行規則改正ニ關シ注意ノ件 明治四十四年七月卅一日  
文部省訓令第十三號  
北海道廳 府 縣

今般勅令第二百十六號ヲ以テ小學校令中ニ改正ヲ加ヘラレ文部省令第二十四號ヲ以テ小學校令施行規則中ニ改正ヲ施セリ因テ左ニ其ノ改正ノ要旨ト施行上特ニ注意ヲ要スル事項ノ大要トヲ舉示シ實施上遺漏ナカラシムコトヲ望ム

高等小學校ノ目的ハ義務教育ヲ終リタル兒童ニ對シ更ニ進ミタル普通教育ヲ施シ國民道德ヲ涵養スルト共ニ生活ニ必須ナル知識技能ヲ授ケ卒業後各種ノ事業ニ從事スルニ一層適切ナル性格ヲ得シムルニ在リ是レ從來其ノ教科目中ニ手工、農業、商業ヲ加ヘラレタル所以ナリ而シテ近時時勢ノ必要ニ應シ之ヲ加設スル高等小學校益々増加シ今ヤ小數ノモノヲ除ク外悉ク其ノ施設ヲ見ルニ至レルヲ以テ今回ノ改正ニ於テハ從來ノ隨意科目ヲ廢シテ必修科目ト爲シ兒童ニハ必ス手工、農業、商業ノ何レカ一ヲ



課スルコトトシ又其ノ教授時數ヲ増加シ以テ當該教科目教授ノ效果ヲ完カラシメ高等小學校本來ノ目的ヲ貫徹セントス又英語ハ從來獨立ノ一教科目トシテ土地ノ情況ニ依リ加設スルコトヲ得シメタルモ今回之レヲ改メ商業中ニ加ヘテ之ヲ授クルコトヲ得シメ以テ該科目ヲシテ實用上一層適切ナラシメンコトヲ期セリ故ニ從來既ニ此等ノ實業ニ關スル教科目ヲ設置セルモノハ改正ノ旨趣ニ依リテ益々教員設備等ノ改善ヲ圖リ其ノ未タ之ヲ設置セザルモノニ在リテハ速ニ適切ノ施設ヲ爲サシメンコトヲ要ス但シ地方ニ依リテハ適良ナル教員ヲ得難ク隨テ今遠ニ普ク之ヲ施設セシムルコト能ハサルモノアルヘキヲ察シ特別ノ事情アルモノハ特ニ府縣知事ノ認可ヲ受ケ之ヲ缺クコトヲ得シメタリ

代用教員ノ制ハ實際ノ狀況ニ顧ミ正教員ノ不足ヲ補充スルカ爲己ムヲ得スシテ設ケラレタルモノナルモ兒童教育上ノ影響ヨリ觀レハ毫モ正教員ト異ナルモノニアラス然ルニ從來其進退ハ郡市長ヲシテ之ヲ行ハシメタルヲ以テ之ヲ正教員ニ比スレハ著シク權衡ヲ失スルノミナラス代用教員ノ勤続期間ハ頗ル短クシテ交迭頻繁ナルカ爲教育上ノ影響モ亦實ニ憂フヘキモノアリ是レ今回代用教員ノ進退ニ關スル規定ヲ改正シ其ノ進退ハ府縣知事ヲシテ之ヲ掌ラシメ以テ一層其選任ヲ慎マシメ優良ナル人物ヲ得テ教育ノ改善ヲ期セントスル所以ナリ地方長官ハ宜シク此ノ旨ヲ體シ一方ニ於テ代用教員ノ人選ヲ慎重ト同時ニ地方經濟ノ狀況ニ應シ成ルヘク其ノ俸給額ヲ増シ適當ノ人物ヲ得ルニ努ムルト共ニ地方ニ於テハ正教員補充ニ關シ益々其ノ施設ヲ進メ速ニ其ノ不足ヲ補ヒ以テ小學校教育改善ノ實ヲ舉クンコトヲ期セラルヘシ

幼稚園ニ於ケル保育事項等ヲ小學校ニ於ケル教則其ノ他ノ如ク劃一ニ規定スルハ却テ保育ノ進歩發達ヲ促ス所以ニアラサルノミナラス往々ニシテ保育ノ本旨ヲ誤ルノ虞ナキヲ保セヌ又從來ノ如ク保育時數ヲ制限スルハ實際上不便ナルヲ以テ適宜之ヲ伸縮スルヲ得シムルノ要アリ尙從來ノ實驗上幼兒ノ定

員ヲ増加シテ實際ノ施設ニ便ナラシムルノ必要ヲ認メタリ是レ幼稚園ニ關スル規定ヲ改正シタル所以ナリ

此ノ他小學校ノ教則、休業日、教員檢定等ニ關スル規定ニ改正ヲ加ヘタルハ要スルニ從來ノ實驗ニ徴シ必要ナル改正ヲ施スト共ニ小學校教育ノ内容ノ充實改善ヲ期セントスルニ外ナラス

本大臣ハ地方長官カ施設監督宜シキヲ得小學校ノ教育ヲシテ其ノ本來ノ目的ヲ貫徹スルニ於テ益々適切ナラシメ其ノ効果ヲ舉ケ以テ今回改正ノ旨趣ニ副ハンコトヲ望ム

○町村立小學校設置標準

明治三十三年十月二十日  
大分縣訓令第二十九號

郡役所 町村役場

第一條 小學校ノ校數並位置ヲ増減變更スルノ必要アル場合ニ於テハ先ツ町村ノ資力通學ノ便否ヲ考察シ又能ク地形民情ヲ參酌シテ之ヲ定ムルコトヲ要ス

第二條 尋常小學校ノ設置ニ就テハ左ノ各號ニ準據スルコトヲ要ス

一 通學最遠距離凡一里以內タルコト

二 就學セシムヘキ兒童數凡四十人以上アルコト

從來設置セル尋常小學校分教場ニシテ現在就學兒童數凡四十人以上アルモノハ之ヲ本校ニ更ムルコトヲ要ス

第三條 町村學校組合ヲ設置シ又ハ兒童教育事務ヲ委託セシメントスル場合ハ其ノ習慣人情等ノ關係ヲ審ニシ深ク實際ノ便否將來ノ利害ヲ慮リ其ノ調査ヲ慎重ニスルコトヲ要ス



第四條 尋常小學校分教場ヲ設置スルノ必要アル場合ニ於テハ左ノ各號ニ準據スルコトヲ要ス

一 本校長ノ管理ニ屬スルコト

二 本校ヲ距ル凡一里以内ニ設クルコト

三 就學セシムヘキ兒童數十五人以上アルコト

四 一本校ニ付二分教場ヲ超過セサルコト

特別ノ事情アルトキハ前項第二號第四號ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

第五條 高等小學校ハ尋常小學校ヲ卒業シ尙ホ修學ヲ望ム者ヲシテ入學セシムルニ差支ナキヲ期スヘシ故ニ其ノ設置區域ハ一町村若ハ數町村トシ兒童ノ通學シ得ルヲ以テ限リト爲スコトヲ要ス

第六條 高等小學校ノ設置ニ就テハ永久維持ニ差支ナキノ資力ヲ要スルハ勿論先ツ尋常小學校ノ設備完全セシ上ニアラサレハ之ヲ設置スルコトヲ得ス

第七條 高等小學校ノ設置ニ就テハ左ノ例ニ準據スルコトヲ要ス

一 修業年限二ケ年ノ場合ニ於テハ就學セシムヘキ兒童數凡三十人以上アルコト

二 修業年限三ケ年又ハ四ケ年ノ場合ニ於テハ就學セシムヘキ兒童數凡五十人以上アルコト

第八條 高等小學校ニハ分教場ヲ設置スルコトヲ得ス

從來設置セル高等小學校分教場ハ明治三十五年三月三十一日迄ニ之ヲ本校ニ更ムルコトヲ要ス

第九條 高等小學校設置ノ有無ニ拘ハラズ尋常小學校ヲ卒業シ高等小學校ニ入學セサル者ノ爲成ヘク尋常小學校ニ補習科ヲ設置スルコトヲ要ス

尋常小學校ニ補習科ヲ設置スルコトヲ要ス

○小學校ニ於ケル體育及衛生ニ關スル注意方

明治二十七年八月二十九日  
文部省訓令 第六號

北海道廳 府縣

小學校ハ小學校令第一條ノ示ス所ニ依リ兒童ノ體育ニ留意シ教育ノ完成ヲ期セサルヘカラス我國舊來弓馬劍術ノ武藝盛ニ行ハレ體育ノ道ニ於テ缺クル所ナカリシモ維新後兵制變革ノ爲或種ノ武藝ハ其ノ必要ヲ失ヒタルト同時ニ體育ノ衰頹ヲ致セル事又教員及生徒カ學問智識ノ進歩ニ急ニシテ動モスレハ智育ノ一方ニ偏重セル事及社會一般ノ衛生ノ必要ヲ感スルコト未タ深切ナラサル事是等數多ノ原因ノ爲ニ各般ノ學校ニ於ケル體育及衛生ノ方法ハ仍不完全ナルヲ免レス殊ニ小學校教育ノ時ハ方ニ身體發育ノ期ニ當リ一タセ傷害ヲ受クルトキハ其ノ患ハ終身ニ及ヒ哀ムヘキノ情況ヲ呈セントス今小學校ニ於ケル體育及衛生ニ關シ訓令スルコト左ノ如シ

一 體育ハ及フタケ活潑ナル運動ヲ課スルヲ要スヘク普通體操ニ於テモ亦兵式體操ト同ク手足及全身筋力ノ運動ヲ活潑ニシ氣血ノ代謝ヲ促スト同時ニ生徒自個ニ於テ意氣快活ヲ覺ユルノ効果アラシムヘシ體操ノ弊ハ或ハ死法ニ流レ態勢ヲ整ヘ竝列ヲ正スカ爲ニ許多ノ時間ヲ費シ却テ生徒ヲシテ厭倦ノ氣ヲ生セシムルニ至ル此ノ如キハ却テ體操ノ精神ヲ失フモノナリ

二 高等小學校男生徒ニハ兵式體操ヲ課スルノ際軍歌ヲ用キ體操ノ氣勢ヲ壯ニスルコトアルヘシ又隨意科トシテ簡單ナル器械體操ヲ授クヘシ

三 小學校生徒ハ活潑ナル運動ニ便スル爲ニ不得已場合ノ外學校内ニ於テハ洋服又ハ和服ヲ問ハス都テ筒袖ヲ用キシムルヘシ

四 放課時間ニ於テ佇立閑語シテ經過スルニ終ラシムヘカラス男女トナク成ルヘク活潑ニ大氣中ニ



運動スルノ遊戯ヲ誘フヘシ或ハ大聲急走嬉戯ノ態ヲ以テ生徒ノ不良事ト爲シ沈靜ヲ以テ品行點ニ加フルカ如キハ當ヲ得タルモノニアラス  
生徒ヲシテ筆記及誦讀ヲ務メシムルハ過度ニ腦力ヲ勞ハシムルモノナレハ特ニ必要ノ場合ノ外之ヲ用キサランコトヲ要ス

六 小學校ノ課業ノ中生徒ノ尤困難ヲ感スル者ハ作文トス初級ノ生徒ニハ作文ヲ授クヘカラス若シ簡單ナル作文ヲ授クルモ此ヲ以テ試験ノ問題トスヘカラス

七 小學校ニ於テ施行スル所ノ試験法ハ或ハ褒貶ノ意味ニ偏シ點數ニ依リテ每期席順ヲ上下シ又ハ賞與ヲ與フル等過度ニ生徒ノ神經ヲ刺衝スルノ弊アリ此レ獨リ普通教育ノ主義ヲ誤ルノミナラス亦生徒ノ體育ヲ害スル者ナリ自今各學校ハ試験ニ依レル席順ノ上下ヲ廢スヘシ但各級ニ優等生若干人ヲ選拔シ以テ獎勵ヲ示スコトヲ妨ケサルヘシ

八 小學校ニ於テ生徒ハ喫烟スルコト及烟器ヲ夾帶スルコトヲ禁スヘシ

九 華奢安逸ハ自然ニ軟弱ヲ招クモノナリ都會ノ生徒ノ學校ニ往來スル者或ハ車ニ乘ルカ如キハ學校紀律ノ外ニ係ルト雖校長及教員ハ注意ヲ加ヘテ成ルヘク歩行セシムルコトニ誘導スヘシ

○小學校生徒体育及衛生ニ關スル件

明治二十七年十一月三十日  
大分縣訓令第五十九號

郡役所 町村役場 小學校

明治二十七年八月文部省訓令第六號ヲ以テ小學校ニ於ケル體育及衛生ニ關シ左ノ通訓令相成候ニ付テハ小學校長及教員ハ該主旨ヲ體シ兒童身體ノ發達ニ留意スヘシ  
(文部省訓令第六號ハ略ス)

○小學校修身科教授上ニ關スル注意方

明治四十三年三月二十八日  
文部省訓令第二號

北海道廳 府 縣

今般小學校ニ於ケル修身教科書ヲ修正編纂セリ此ノ修正ニ就キテハ教育ニ關スル 勅語ノ旨趣ニ基キ忠孝ノ大義ヲ明ニシ國民固有ノ特性ヲ發揮セシムルニ於テ特ニ意ヲ致セリ自今小學校ヲシテ此教科書ヲ用ヒ兒童ヲシテ反復誦讀克ク其ノ要領ヲ會得シ深ク之ヲ心ニ銘セシメ以テ實踐躬行ニ資センコトヲ努メシムヘシ然リト雖モ修身科ハ教育ノ主腦ニシテ德育ハ教員ノ最要ノ任務ナリ宜シク教員ヲシテ教科書ニ依リ兒童ニ道德上ノ智識ヲ與フルノミナラス常ニ德性ノ涵養ニ留意シ時ニ隨ヒ機ニ應シ切實ナル指導訓誨ヲ與ヘ躬ヲ以テ範ヲ兒童ニ示シ薰染感化ノ効ヲ收メ以テ克ク此ノ重要ナル教科ノ目的ヲ貫徹センコトヲ期セシムヘシ

○小學校祝日大祭日用唱歌詞及樂譜ノ認可等

明治二十四年十月八日  
文部省訓令第二號

北海道廳 府 縣

一 小學校ニ於テ祝日大祭日ノ儀式ヲ行フノ際唱歌用ニ供スル歌詞及樂譜ハ特ニ其採擇ヲ慎ムヘキモノナルヲ以テ北海道廳長官府縣知事ニ於テ豫メ本大臣ノ認可ヲ經ヘシ但文部省ノ撰定ニ係ルモノ及他ノ地方長官ニ於テ一旦本大臣ノ認可ヲ經タルモノハ此限ニ在ラス  
一 前項唱歌用ノ歌詞及樂譜ハ漸次文部省ニ於テ撰定頒布スヘシ

○檢定ヲ經タル小學校唱歌教科書中ノ歌詞及樂譜祝日大祭日唱歌



二供用方

明治二十六年十月二十日  
文部省訓令第十號

北海道廳 府 縣

(一、二、ハ之ヲ省ク)

三 文部大臣ノ檢定ヲ經タル小學校唱歌教科書中ノ歌詞及樂譜ハ北海道廳長官府縣知事ニ於テ明治二十四年文部省訓令第二號ノ手續ヲ要セスシテ小學校ニ於テ祝日大祭日ノ儀式ヲ行フノ際唱歌用ニ供セシムルコトヲ得

○小學校儀式唱歌用歌詞及樂譜

明治二十六年八月十二日  
文部省告示第三號

小學校ニ於テ祝日大祭日ノ儀式ヲ行フノ際唱歌用ニ供スル歌詞並樂譜別冊ノ通撰定ス(樂譜略ス)  
(別冊)

君が代	勅語奉答	神嘗祭	天皇節	元始祭
君が代は。ちよにやちよに。さぶれいしの。巖となりて。	あやに畏き皇の。あやに畏き皇の。あやに畏き皇の。あやに畏き皇の。	あやに畏き皇の。あやに畏き皇の。あやに畏き皇の。あやに畏き皇の。	あやに畏き皇の。あやに畏き皇の。あやに畏き皇の。あやに畏き皇の。	あやに畏き皇の。あやに畏き皇の。あやに畏き皇の。あやに畏き皇の。

是ぞめでたき 是ぞめでたき あやに畏き あやに畏き	是ぞめでたき 是ぞめでたき あやに畏き あやに畏き	是ぞめでたき 是ぞめでたき あやに畏き あやに畏き	是ぞめでたき 是ぞめでたき あやに畏き あやに畏き	是ぞめでたき 是ぞめでたき あやに畏き あやに畏き
是ぞめでたき 是ぞめでたき あやに畏き あやに畏き	是ぞめでたき 是ぞめでたき あやに畏き あやに畏き	是ぞめでたき 是ぞめでたき あやに畏き あやに畏き	是ぞめでたき 是ぞめでたき あやに畏き あやに畏き	是ぞめでたき 是ぞめでたき あやに畏き あやに畏き



なびきふしけん 第二章

大御世を。

仰ぐ今日こそ

たのしけれ。

海原なせる 第三章

埴安の。

池のおもより

猶ひろき。

めぐみの波に 第三章

浴みし世を。

あふぐけふこそ

たのしけれ。

天津ひつぎの 第四章

高みくら。

千代よろづよに

動きなき。

もとの定めし 第四章

そのかみを。

仰ぐけふこそ

たのしけれ。

空にかどやく 祭

日のもとの。

萬の國に

たぐひなき。

國のみはしら 祭

たてし世を。

あふぐけふこそ

たのしけれ。

五十鈴の宮の 祭

大前に。

今年の秋の

朝日かげ。

御酒御帛を 祭

たてまつり。

祝ふあしたの

めでたけれ。

靡く御旗も 祭

かどやきて。

賑ふ御代こそ

めだけれ。

天長節

大君の。

うまれたまひし

吉き日なり。

今日の吉き日は 祭

御ひかりの。

さしたまひし

吉き日なり。

今日の吉き日は 祭

ひかり遍ねき

いはへ諸人

もろとも。

めぐみ遍ねき 祭

御饌につくりて

新垂穂の稲の祭

尊美しあ。

新嘗祭

や。

○小學校唱歌用歌詞及樂譜ノ採用ニ關スル制限  
明治二十七年十二月二十八日  
文部省訓令第七號  
北海道廳 府 縣

○小學校唱歌用歌詞及樂譜ノ件

明治二十八年一月十一日  
大分縣訓令第一號

郡役所 町村役場 小學校

小學校ニ於テ唱歌用ニ供スル歌詞及樂譜ハ文部大臣ノ檢定ヲ經タル小學校教科用圖書中ニ在ルモノ又ハ  
文部省ノ撰定ニ係ルモノ及地方長官ニ於テ本大臣ノ認可ヲ受ケタルモノ、外ハ採用セシムヘカラス但  
他ノ地方長官ニ於テ一旦本大臣ノ認可ヲ經タルモノハ此限ニ在ラス



○高等小學校農業商業兩科目加設ノ趣旨貫徹方

明治四十三年十二月廿四日  
文部省訓令第廿六號

近來各地方ノ高等小學校ニ於テ概ネ農業又ハ商業ノ教科目ヲ加設スルニ至レルハ尋常小學校卒業者ニ對シ更ニ普通教育ヲ施シ品性ヲ陶冶シ常識ヲ進ムルト共ニ其將來ノ生活ニ緊要ナル素養ヲ與フルニ於テ最モ適當ノ施設ナリトス然レトモ農業科加設ノ學校ニシテ往々實習地ノ設備ヲ缺クモノアルハ頗ル遺憾トスル所ナリ抑農業科ニ於テハ兒童ヲシテ其ノ學ヲ所ヲ實地ニ應用セシムルニ非ラサレハ農業ノ趣味ヲ領得セシメ勤勞ヲ尊重スル習性ヲ養ハシムルニ足ラサルヲ以テ自今力メテ實習地ヲ設置シ教員自ラ兒童ヲ率キテ耕耘ニ從事シ以テ本教科目加設ノ趣旨ヲ貫徹セシメント期セラレヘシ但實習地ハ必スシモ學校ノ附屬地タルヲ須ヒス適當ナル土地ヲ借入レテ之ニ充ツルモ亦可ナリ若シ已ムヲ得サル場合ニ在リテハ兒童ヲシテ各自父兄ノ農作地ニ於テ實習ヲ爲サシムル等便宜ノ方法ニ據ルコトヲ妨ケス要ハ町村ノ經濟ト地方ノ事情トヲ斟酌シテ相當ノ施設ヲ爲サシムルニアリ又商業科ニアリテハ其教授ヲシテ土地ノ實際ニ適切ナラシムルト共ニ商業道德ノ涵養ニ努メシメ以テ本教科目ノ成績ヲ擧ケンコトヲ期セラレヘシ

○高等小學校農業商業兩科目加設ノ趣旨貫徹方

明治四十四年一月二十日  
大分縣訓令第第一號

郡役所 町村役場 公立小學校

高等小學校ニ於テ農業又ハ商業ノ教科目ヲ加設スルハ尋常小學校卒業者ニ對シ更ニ普通教育ヲ施シ品性ヲ陶冶シ常識ヲ進ムルト共ニ其ノ將來ノ生活ニ緊要ナル素養ヲ與フルニ於テ最モ適當ノ施設ナリトス然ルニ農業科加設ノ學校ニシテ往々實習地ノ設備ヲ缺クモノアルハ頗ル遺憾トスル所ナリ抑々農業

科ニ於テハ兒童ヲシテ其ノ學ヲ所ヲ實地ニ應用セシムルニ非サレハ農業ノ趣味ヲ領得セシメ勤勞ヲ尊重スルノ習性ヲ養ハシムルニ足ラサルヲ以テ自今力メテ實習地ヲ設置シ教員自ラ兒童ヲ率キテ耕耘ニ從事シ以テ本教科目加設ノ趣旨ヲ貫徹セシメント期セラレヘシ但實習地ハ必スシモ學校ノ附屬地タルヲ須ヒス適當ナル土地ヲ借入レテ之ニ充ツルモ亦可ナリ若シ已ムヲ得サル場合ニ在リテハ兒童ヲシテ各自父兄ノ農作地ニ於テ實習ヲ爲サシムル等便宜ノ方法ニ據ルコトヲ妨ケス要ハ町村ノ經濟ト地方ノ事情トヲ斟酌シテ相當ノ施設ヲ爲スニ在リ又商業科ヲ加設シタルモノニ在リテハ其ノ教授ヲシテ土地ノ實際ニ適切ナラシムルト共ニ商業道德ノ涵養ニ努メ以テ本教科目ノ成績ヲ擧ケンコトヲ期スヘシ

○害蟲驅除豫防教授方ノ件

明治三十四年五月七日  
訓示學第六七四號

農ハ國ノ大本ニシテ農作ノ豐凶ハ直ニ國力ノ消長ニ關ス故ニ本縣下ノ如キ農作物ヲ以テ生産力ノ大部分ヲ占メタル地方ニ於テハ進テ之カ改善發達ノ途ヲ講スルト同時ニ其ノ危害ヲ除去シ以テ之ヲ保護スルハ最モ必要ノ事ニシテ國民ノ義務亦實ニ茲ニ存ス近時蟲害ノ慘毒ヲ流スコト甚シク現ニ昨三十三年ハ管内何レモ豐年ナリト唱ヘシニ忽チ稻作ニ非常ナル蟲害ヲ被ムリ其被害價格ノ見積高ハ百二十六万七千三百十六圓其他驅除豫防費見積高ハ三十八万二千四百二十二圓トナル實ニ恐ルヘキ巨額ノ損害ト云ハサルヘカラス若シ此ノ如クニシテ年々蟲害ヲ受ケ國ノ生産力ヲ減スルトキハ終ニ之ヲ救済スルノ途ナキニ至ル依テ從來數々害蟲驅除豫防ノ方法ヲ講スル所アリシト雖モ尙ホ自今町村立小學校ニ於テハ別冊田圃害蟲驅除豫防ニ關スル教授要旨並ニ其方法及出圃害蟲驅除豫防方法ニ依リ兒童ニ蟲害ノ恐ルヘキヲ説キ之カ驅除豫防ノ方法ヲ授ケ害蟲ヲ驅除シテ國ノ生産力ヲ減セシメサルハ國民タルモノ、義務



ニシテ即チ愛國ノ精神ニ適フ所以ヲ了解セシメ尙進テ一般人民ニモ害蟲驅除豫防ノ必要ナルヲ觀念セシメ國ノ生産力ヲ減スルノ不幸ヲ救済スルノ効ヲ奏スル様精々注意スヘシ  
(別冊ハ之ヲ畧ス)

○小學校修學旅行ニ關スル件

明治四十二年四月十日  
大分縣訓令第十二號

小學校ニ於テ修學旅行ヲ爲サントスルトキハ左記ノ手續ニ依ルヘシ  
郡役所 町村役場 小學校  
一 宿泊ヲ要スル旅行ニツキテハ學校長ニ於テ其ノ目的地、豫定日數、學年並男女別人員、引卒教員氏名及經費支辨ノ方法ヲ具シ管理者ヲ經テ郡長ノ認可ヲ受クルコト但シ該旅行ハ特別ノ場合ヲ除ク外尋常小學校第四學年以上ノ男兒ニ限リ其ノ日數ハ三日以内トス  
二 宿泊ヲ要セサル旅行ニツキテハ學校長ニ於テ其ノ目的地、學年別人員、引卒教員氏名ヲ具シ管理者ヲ經テ郡長ニ届出ルコト

○小學校ノ學級編制届書ニ校地校舍平面圖ヲ添付スヘキ件

明治三十六年一月廿九日  
大分縣訓令第四號

小學校令施行細則第二十條ニ依リ小學校ノ學級編制又ハ其ノ變更ノ届書ニハ左記雜形ニ準據シタル校地校舍ノ平面圖ヲ添付スヘシ



○複式編制用國定尋常小學修身書採定ノ件

明治三十九年一月三十一日  
大分縣令第六號

小學校教科用圖書中國定尋常小學修身書ハ單級若ハ第一學年ト第二學年トヲ合セテ一學級トシ第二學年ト第四學年トヲ合セテ一學級トシタルニ學級編制ノ學校ニ限リ本年四月一日ヨリ複式編制用國定尋



常小學修身書ニ變更シ全學年ノ兒童ニ用ヒシム

○高等小學校新制第三學年書キ方手本採定ノ件 明治四十一年四月二十五日 大分縣令第二十八號

小學校教科用圖書中高等小學校新制第三學年用書キ方手本左記ノ通採定ス

書名	冊數	著作發行者
高等小學書キ方手本 新制第三學年用種	二冊	文部省

○尋常小學校書キ方手本採定ノ件 明治四十三年一月十五日 大分縣令第一號

小學校教科用圖書中尋常小學校書キ方手本左記ノ通採定シ各學年使用開始ノ時期ヲ明治四十三年四月一日トス

書名	冊數	著作發行者
尋常小學書キ方手本 第一學年用種	一	文部省
第二學年用種	二	全
第三學年用種	二	全
第四學年用種	二	全
第五學年用種	二	全
第六學年用種	二	全

全	第五學年用種	二	全
全	第六學年用種	二	全

○小學校建築圖案附建築仕様書概要 明治四十二年五月二十日 大分縣報(彙報)

文部省普通學務局ニ於テ小學校建築圖案附建築仕様書概要ヲ左ノ通り印刷シ各府縣ニ配付セリ

凡例

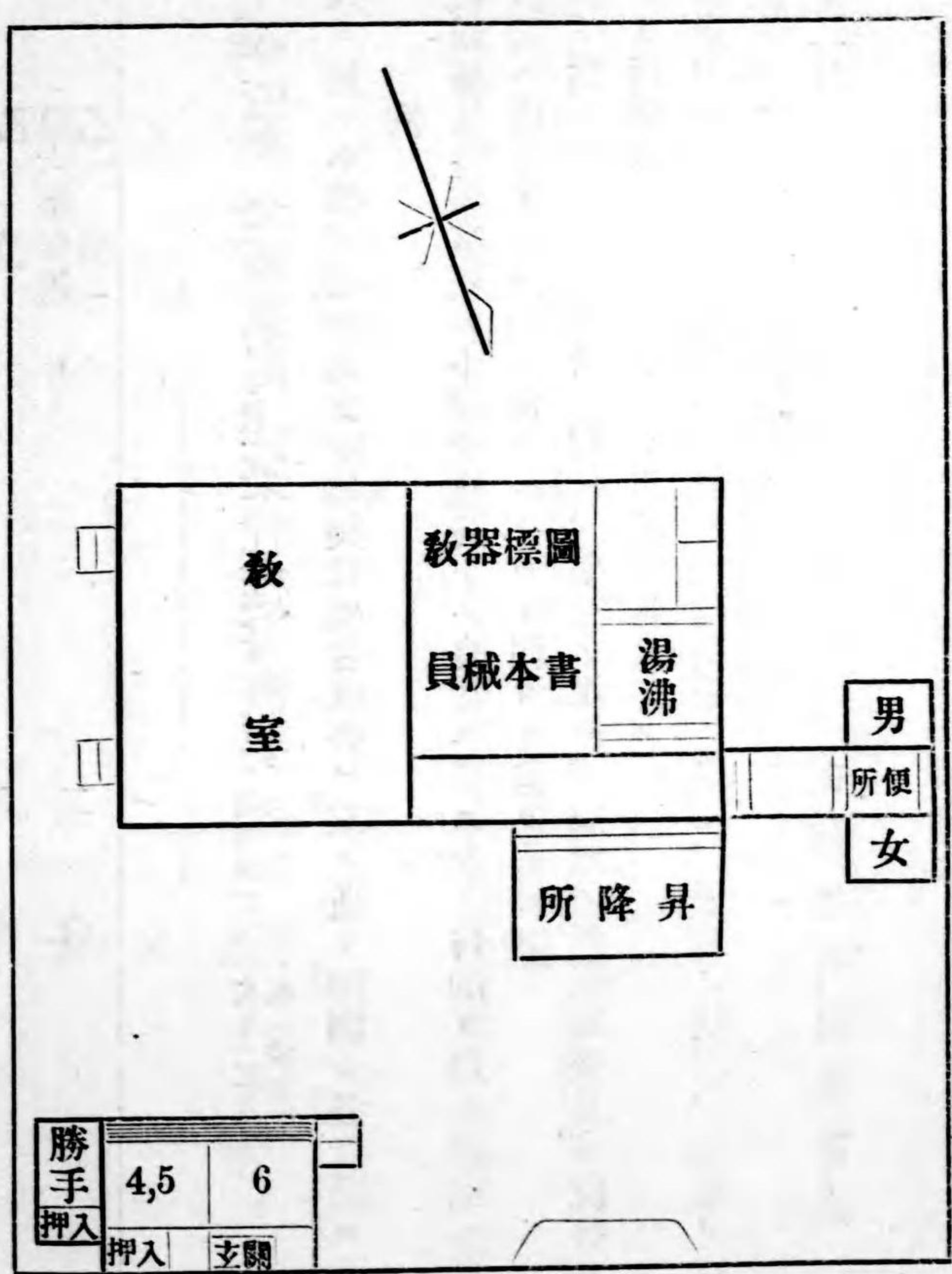
- 一、本圖案及學校建築仕様書概要ハ小學校建築上ノ參考ニ資スルノ目的ヲ以テ印刷ニ付シタルモノニシテ土地ノ狀況ニ依リ便宜斟酌ヲ加フヘキコト固ヨリ言フ俟タス
- 一、本圖案ヲ七種ト爲シタルハ小學校ノ規模、學級ノ編制、敷地ノ形狀廣狹及方位等ニ依リ成ルヘク適當ナルモノヲ選擇スルノ便ニ供センカ爲ニ外ナラス
- 一、本圖案中ノ講堂、屋内體操場、兒童控所等ハ建築費ノ多寡、土地ノ狀況、氣候ノ寒暖等ニ依リ必スシモ之ヲ設クルヲ要セサルハ勿論ナリ

文部省普通學務局

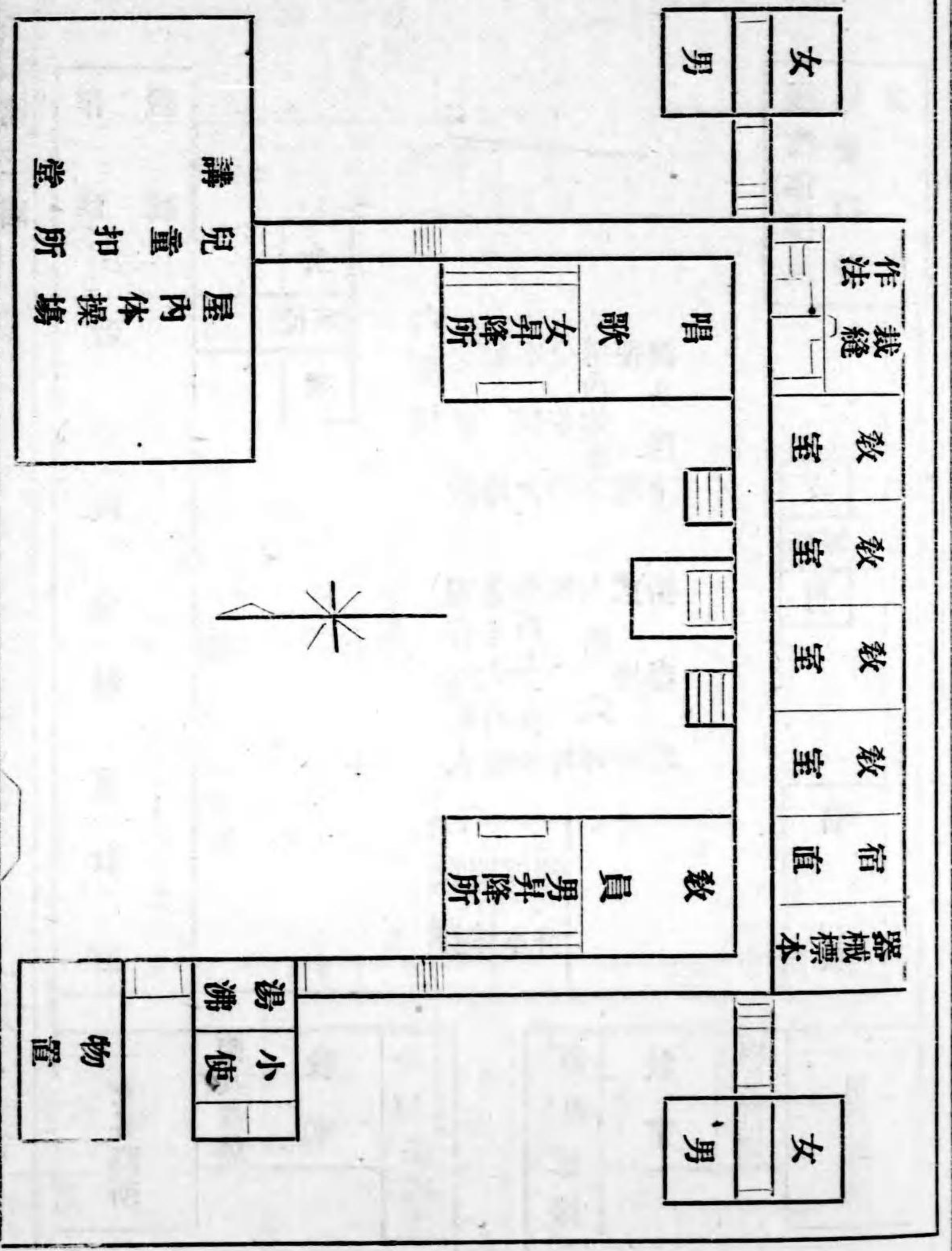
明治四十二年二月



第一圖 單級敷校舎地五參百拾八坪  
 便所廊下住宅 四坪貳拾貳  
 四坪五合



三三二



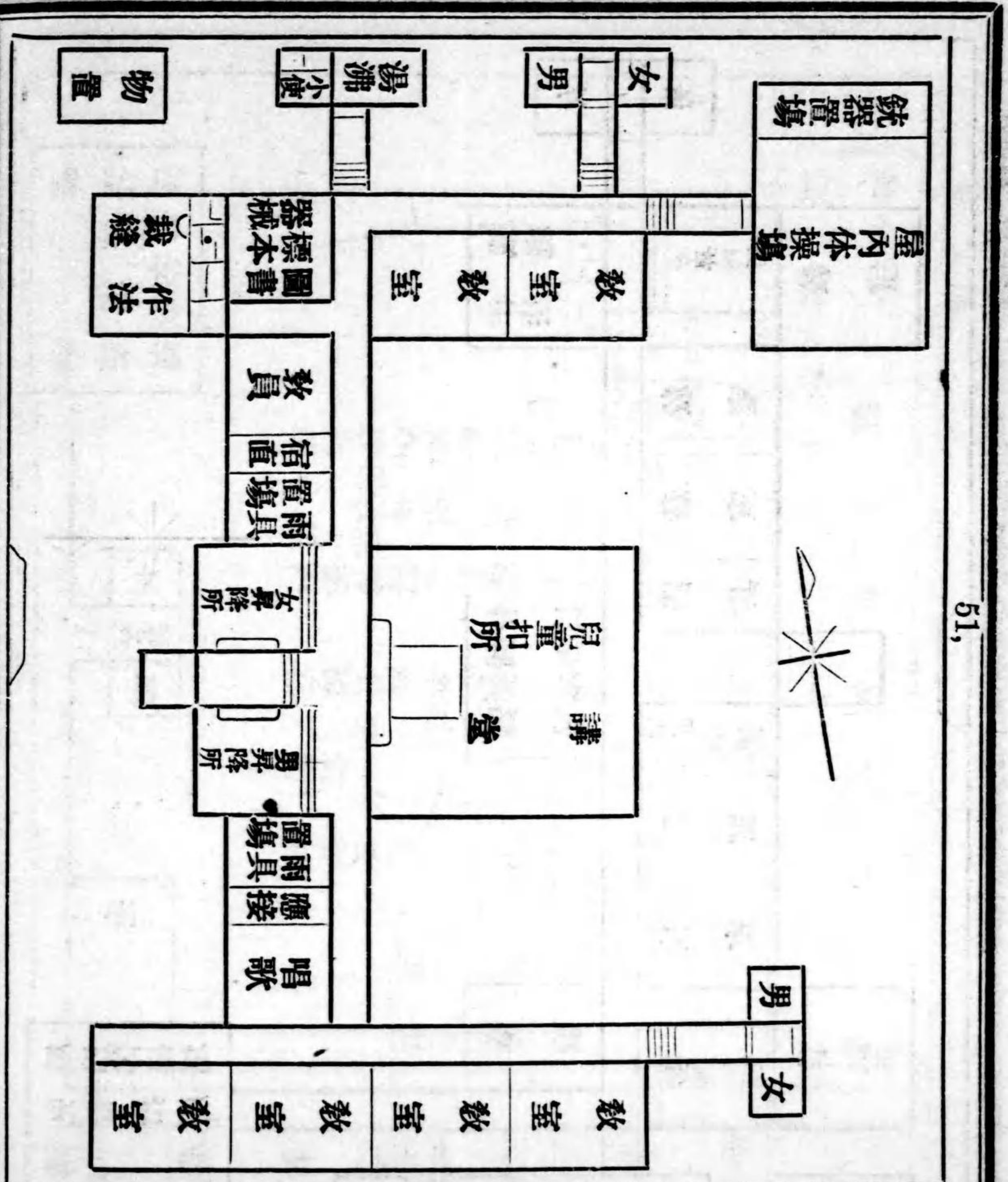
第二圖 四學級兒童數 六拾八入拾六坪  
 全敷校舎地數 參百貳拾八坪  
 本校關舎地數 四拾貳坪  
 屋內運動場 六拾坪  
 屋內運動場下置所 參百九拾六坪  
 渡り廊下置所 參百九拾六坪  
 物小便湯沸 參百九拾六坪





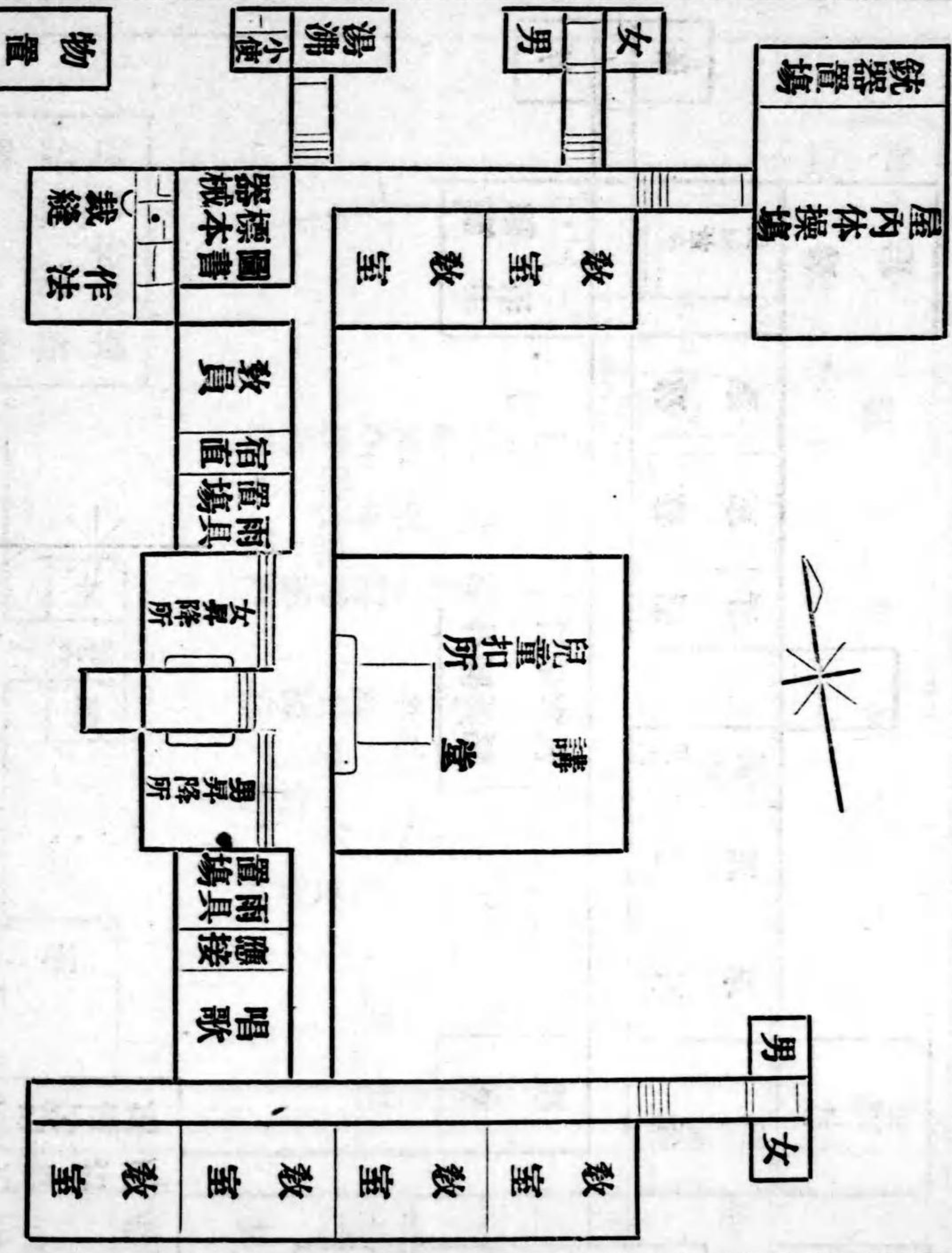


第五圖

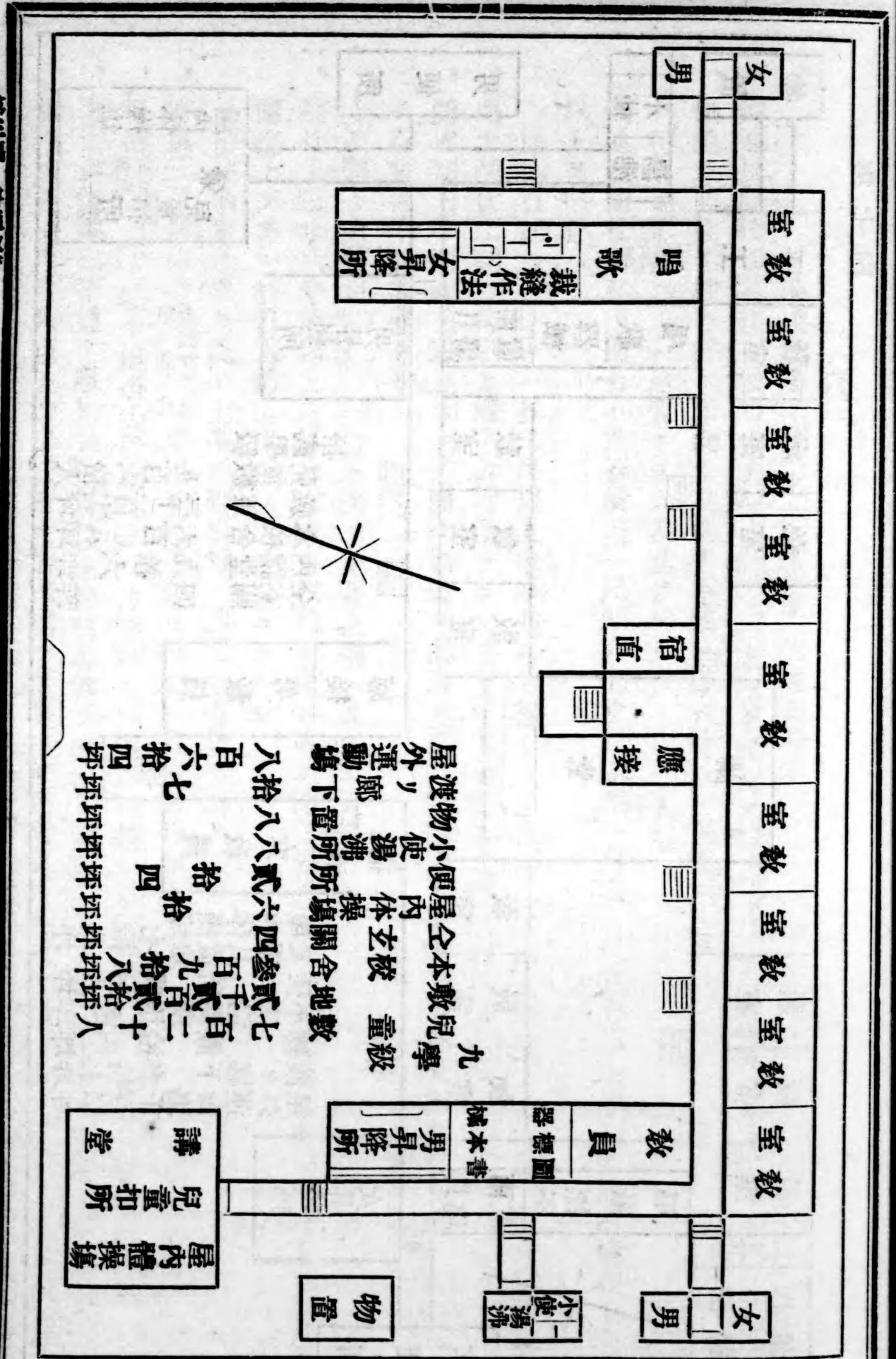


兒童數 四百八十八  
 本校舍地數 二千三百九十五坪  
 內講堂舍地數 四百八十八坪  
 屋內體操場 四十二坪  
 室內立校 四十二坪  
 小便湯所 十二坪  
 渡物便湯所 十二坪  
 屋外運動場 六十二坪

級學六



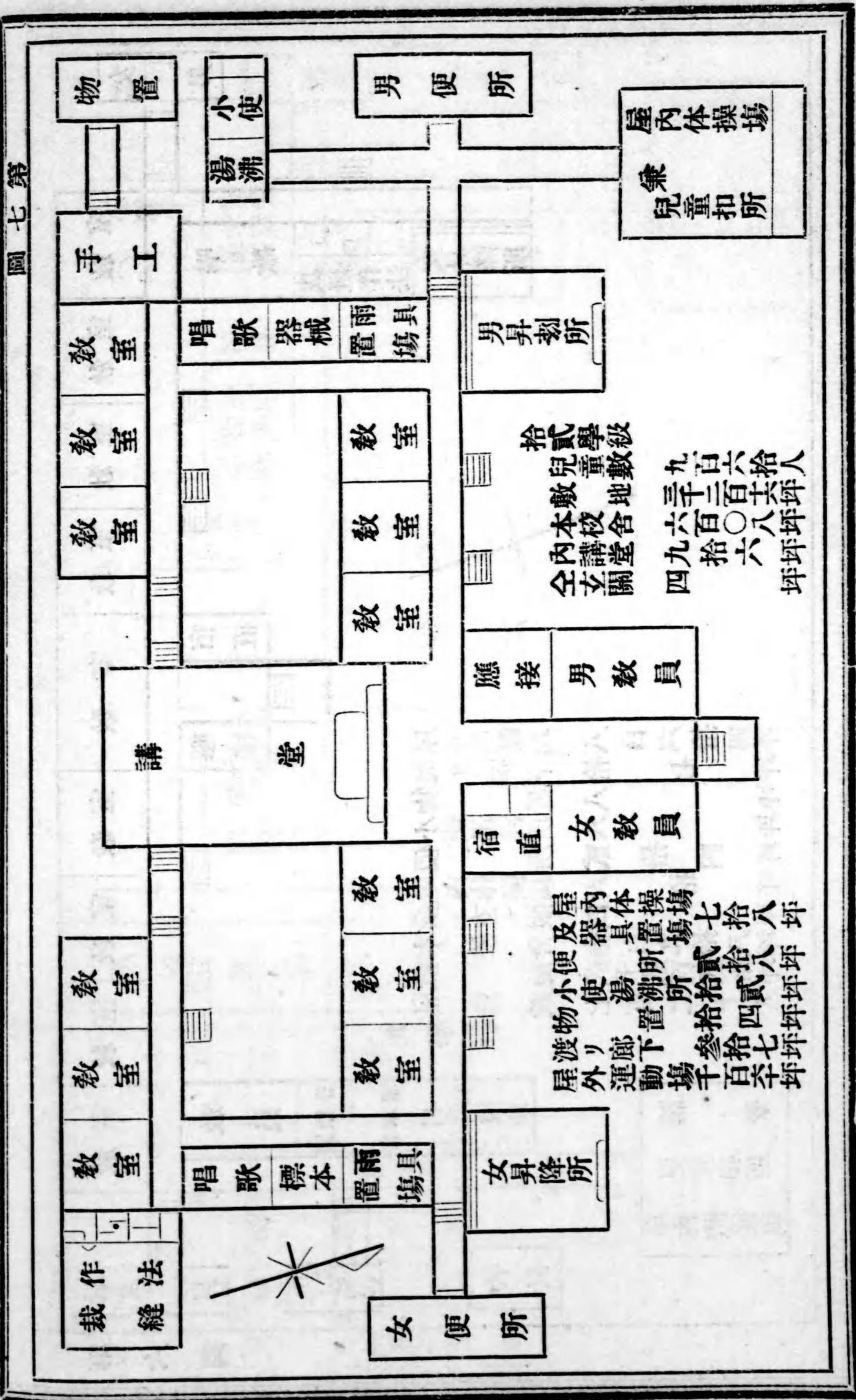
第六圖



兒童數 七百二十八  
 本校舍地數 二千三百九十五坪  
 室內立校 四百八十八坪  
 屋內體操場 四十二坪  
 小便湯所 十二坪  
 渡物便湯所 十二坪  
 屋外運動場 八拾七坪







附錄

學校建築(和式木造平家建)仕様書概要

- 一、側通及間仕切共柱下根切大サ<sup>上ロ一尺五分方</sup>深<sup>同</sup>寸床<sup>同</sup>下<sup>同</sup>大サ<sup>上ロ一尺方</sup>、壺堀ニスヘシ
- 一、側通及間仕切柱下并ニ床<sup>同</sup>下共割栗石或ハ砂利等入レ突堅ムヘシ  
但シ地形及堀方ハ地質ニヨリ差異アルヘシ
- 一、側通及間仕切柱下据石ハ丸石横差一尺厚六七寸以上或ハ角石一尺立方以上床<sup>同</sup>石同石横差シ七寸以上ヲ据付ヘシ  
但側石据ヘノトキハ長二尺以上巾厚共八寸程ノモノ根入二寸以上合口「モルタル」入レ据付ヘシ
- 一、側土臺仕上四寸角以上繼手金輪繼キニシ隅ハ片木柄差シ入割榑打ニスヘシ
- 一、間仕切土臺四寸角以上ニシテ間仕切毎ニ置渡シ繼手鎌繼側土臺等ハ柄差抜割榑打チ或ハ蟻掛ニシテ石付馴染能据付クヘシ
- 一、土臺隅々火打貫<sup>巾五分</sup>厚<sup>一寸八分</sup>以上隅々土臺上端ヘ欠込ミ大釘打ニスヘシ
- 一、柱仕上三寸六分角以上六尺間以内ニ取建壁散リ決リ深二分ツ、トシ六尺間以内ニ取建下モ土臺下端迄上ノ方ハ軒桁上端迄柄差抜込打ニスヘシ  
但柱柄差通難キ處ハ土臺并軒桁等ヘ四寸手遠鏡ヲ以テ留方スヘシ
- 一、通貫三尺間以内<sup>巾三分</sup>厚<sup>九分</sup>差通シ繼手亂ニ榑或ハ込釘打ニスヘシ
- 一、軒桁<sup>成五寸</sup>厚<sup>四寸</sup>以上繼手追掛大榑繼キニシ方形造リハ隅々柄差シ鐵物當テ「ボルト」締ニスヘシ
- 一、間仕切梁並廊下通リ敷桁共<sup>成五寸</sup>厚<sup>四寸</sup>以上仕口等都テ軒桁ト同斷ニシテ間仕切毎ニ置渡スヘシ
- 一、隅々火打梁六寸角以上仕口軒桁へ柄差或ハ渡腰ニシテ大釘打ニスヘシ



一、小屋梁ハ梁間五間ノトキ挽立材<sup>厚五寸</sup>成<sup>八寸</sup>梁間四間半ノトキハ<sup>厚五寸</sup>成<sup>七寸</sup>以上軒桁へ渡リ腮ニシテ六尺間以  
内ニ配置シ梁鼻ハ軒桁真ヨリ八寸以上延シ置クヘシ

但丸太材ノトキハ長五間末口七寸以上兩側面付ニスヘシ

一、真椽ハ五寸角以上上下杓差シ真椽及梁兩面へ鐵板或ハ添木ヲ抱合セ逆目釘ニテ繫止ムヘシ

一、合掌ハ<sup>厚五寸</sup>成<sup>七寸</sup>以上上下モ小屋梁上端ヲ五分程欠キ踏止リ杓差入上ノ方真椽へ五分以上「スクイ」込杓  
差入取付クヘシ

但小屋梁ヨリ合掌真椽ヨリ合掌ノ各兩面へ鐵板或ハ添木ヲ抱キ合セ逆目釘ニテ繫キ止ムヘシ

一、隅合掌ハ<sup>厚五寸</sup>成<sup>八寸</sup>以上仕口前同斷ニスヘシ

一、枝椽四寸角真椽及合掌へ杓差入上下錠留メニスヘシ

一、棟木ハ四寸角真椽上端へ「ワナギ」込渡腮トシ繼手同上端ニテ鎌繼トスヘシ

一、旅桁ハ棟木ト同寸ニシテ小屋梁上端へ渡リ腮トシ繼手ハ前同斷ニスヘシ

一、母屋前同寸角以上三尺間以内ニ合掌上端へ渡リ腮トシ繼手前同斷一ト通り置キ繼手ノ位置ヲ換へ  
置キ渡スヘシ

但母屋轉留メハ二寸角以上長六七寸程合掌上端へ大釘打ニスヘシ

一、挾椽<sup>中四寸</sup>厚<sup>二寸</sup>以上合掌及小屋梁へ馴染能ク兩面ヨリ抱合セ逆目釘打ニスヘシ

一、隅木ハ杓取リ三寸五分角以上繼手ハ蟻掛ニシテ母屋へ合欠キトシ大釘打ニスヘシ

一、梁挾ハ四寸角以上一通リ小屋梁上端渡リ腮繼手追掛大柱繼上端大釘打ニスヘシ

一、椽ハ二寸角一尺五寸間以内繼手亂ニ母屋上端ニテ「ソギ繼」ニシテ上端ヨリ大釘打ニスヘシ

一、野地ハ<sup>中二寸</sup>厚<sup>四分</sup>二寸明ニ打付ヘシ

一、廣小舞鼻隱ハ<sup>中三寸</sup>厚<sup>八分</sup>及種形ハ<sup>中七寸</sup>程ノモノ取付ヘシ

一、土居葺及柿葺杉扮板ノ類或ハ杉皮葺トシ押縁并ニ瓦棧共打付ケ尤杉皮葺ハ一重子足毎ニ押縁打ニ  
スヘシ

一、間柱ハ一尺八分角以上一尺五寸間以内取建釘打ニスヘシ

一、側通り筋違ハ<sup>中三寸</sup>厚<sup>八分</sup>分柱外部へ欠合セ間柱及通貫等へ大釘打ニスヘシ

但筋違取付方ハ凡曲子勾配トス

一、床大引ハ長二間末口四寸五分丸太或ハ四寸角以上ヲ以テ繼手蟻掛二尺間以内ニ配置シ柱へ杓差入  
込栓打ニスヘシ

一、床椽ハ末口三寸五分以上丸太ノ類上杓付四尺間以内ニ取建同根搦ミ貫<sup>中三寸</sup>厚<sup>二分</sup>六分縦横ニ打廻スヘシ

一、根太掛<sup>中三寸</sup>厚<sup>八分</sup>打廻シ抱椽同木同寸柱へ添付釘打ニスヘシ

一、根太及際根太ハ二寸角以上一尺五寸間以内繼手亂ニ「ツギ」繼上端ヨリ大釘打ニスヘシ

一、床板厚八分板以上巾六七寸敷目板或ハ合決ニシテ張立ツヘシ

但二重床ノトキハ野床板厚三分板ヲ以テ根太間へ切入レ張立或ハ根太下端へ羽重子又ハ目板打ニ  
張揚ケ押縁三尺間ニ取付クヘシ

一、天井廻リ縁ハ一尺六分角以上隅々襟輪納入下端留ニシテ差廻シ繼手目違入レ取付クヘシ

一、竿縁<sup>中九分</sup>厚<sup>八分</sup>以上繼手「イスカ」繼ノ類トシ一尺五寸間以内ニ廻縁へ彫込釘打ニスヘシ

一、天井板ハ厚三分板羽掛リ正五分ツ、廻縁竿縁等へ二寸間以内ニ釘打張立ツヘシ

一、釣木裏棧ハ一寸角以上又釣木受ハ杉丸太長二間末口三寸以上四尺五寸以内ニ取付釘打ニスヘシ

一、窓敷居鴨居ハ<sup>中三寸</sup>厚<sup>四分</sup>中央回轉無目同寸ニシテ柱へ片納入一方待杓ニシ留釘打尤モ敷居内部へ水



返シ及左右柱戸付外部へ付樋端共取付又回轉方立ハ厚一吋三分上下寄蟻ニシテ取設ケ回轉障子ノ戸當細縁ヲ取付クヘシ

但引違建欄間ニスルモ差支ヘナシ

一、窓雨戸建ノトキハ一筋敷居一吋八分角敷居并ニ回轉無目横面ヘ大釘打ニシ戸袋等雨仕舞宜シク取設クヘシ

一、窓上下雨押厚中三分六分勾配ニ取付ヘシ

一、入口鴨居厚中三分四分竹柄入一方履蟻トシ留釘打ニスヘシ

一、敷居厚中三分六分片内柄一方横栓止釘打トスヘシ

一、付鴨居一吋六分角柱間ヘ切込上端ヨリ大釘打ニスヘシ

一、入口引戸一筋一吋六分角以上無目横面ヘ大釘ヲ以テ取付戸當一吋二分角以上釘打ニスヘシ

一、内部巾木板厚中三分八分上端羽目板付決リ欠キ柱間ヘ切込一方柄入一方忍釘打スヘシ

一、羽目板受胴縁一吋八分二通以上柱ヘ彫入釘打ニスヘシ

一、腰羽目笠木一吋六分角以上切面取下端羽目板小穴突柱間ヘ柄入一方待柄立見ヘ隠レヨリ釘打胴縁左右柱ヘ彫込釘打羽目板厚三分板笠木并ニ巾木板柱等ヘ小穴入胴縁毎ニ釘打張立目板同板巾一寸六分ニシテ打付ヘシ

一、土臺上雨押厚中三分勾配ニ取付ヘシ

一、外部下見板厚三分板ヲ以テ羽掛正八分ツ、柱間柱等ヘ釘打張立押縁厚中一分六分一尺五寸間以内ニ取付釘打ニスヘシ

一、軒通り面戸板厚三分板欄間ヘ切リ入レ釘打スヘシ

一、同旅桁下綿板厚七分以上同桁下并左右梁間ヘ小穴入切レ釘打同下見板止リ縁二寸角上端勾配ニ水垂レ付下端板決リシテ繼手目違柄入レ大釘ニテ取付ヘシ

一、床下通風窓太サ中一尺腰通リヘ凡二間窓中真ヘ取設クヘシ

一、昇降口及廊下便所等本家ヘ取付ノ庇ハ種掛厚中四分柱又ハ釣楯ヘ欠キ合セ大釘打腕木ハ柱及釣楯ヘ柄差抜割棧ヲ出シ桁三寸腕木ヘ柄差シ屋根板厚中八分目板同板挽割リ鼻搦等取付ヘシ

一、壁下地塗小舞厚中三分以上三尺間以内間渡シ竹一寸二分廻リ以上上下左右共彫入レ通貫等ヘ釘打小舞ヲ搔立ツヘシ

一、壁下付裏返塗大直シ村直シ塗中塗上塗共塗立ツヘシ

但側通間仕切共總テ土臺上端迄塗立ツヘシ

一、建具窓引違硝子障子或ハ紙張障子ノ内建合スヘシ

一、同上欄間廻轉若ハ引違硝子障子或ハ紙張障子ノ内釣合スヘシ

一、窓雨戸(欄間ヲ除ク)横棧一尺二寸間以内トシ指立建合スヘシ

一、昇降口及各入口板戸ハ横棧七本以上雨戸若クハ唐戸仕立ニシテ建合スヘシ

一、下見廻リハ生澁塗リトス

一、軒樋堅樋共便宜鐵板竹樋ノ類ニテ釣リ設クヘシ

一、家根瓦葺キトシ同漆喰ハ總漆喰又ハ軒踏下ケ漆喰共二返塗以上ニスヘシ

一、家根谷ヘハ亞鉛引鐵板ノ類ニシテ雨仕舞能ク張立ツヘシ

一、本文木材取付用釘長ハ都テ木厚ノ二倍半以上トス

一、本文木材太サ寸法ハ削上及挽立寸法ニシテ土臺ハ檜栗ノ類雜作廻リハ杉材ノ類小屋材等ハ松材ヲ



使用シタル設計ノ程度ヲ示セルモノトス

○女子就學上ノ注意並裁縫教員採用方

明治二十六年七月二十二日  
文部省訓令第八號

北海道廳 府 縣

普通教育ノ必要ハ男女ニ於テ差別アルコトナク且女子ノ教育ハ將來家庭教育ニ至大ノ關係ヲ有スルモノナリ現在學齡兒童百人中修學者ハ五十人強ニシテ其ノ中女子ハ僅ニ十五人強ニ過キス今不就學女子ノ父兄ヲ勸誘シテ就學セシムルコトヲ怠ラサルヘキト同時ニ女子ノ爲ニ其ノ教科ヲ益々實用ニ近切ナラシメサルヘカラス裁縫ハ女子ノ生活ニ於テ最モ必要ナルモノナリ故ニ地方ノ情況ニ依リ成ルヘク小學校ノ教科目ニ裁縫ヲ加フルヲ要ス  
裁縫ノ教員正當ノ資格アル者ヲ得難キノ場合ニ於テ一時雇員ヲ以テ之ニ充ツルモ妨ナシト雖其ノ人ノ性行ニ關シテ採用ノ際深ク注意ヲ加ヘンコトヲ要ス

○學齡未滿兒童就學取締方ノ件

明治二十九年八月十七日  
文部省訓令第六號

北海道廳 府 縣

學齡未滿ノ兒童ヲ小學校ニ就學セシムルハ學校管理上ニ於テ不都合アルノミナラス兒童身神ノ發育上其害尠カラサルヲ認メ曩ニ學校衛生顧問ニ諮詢シタルニ之ヲ嚴禁スルノ必要ナルコトヲ答申セリ就テハ自今深ク注意シ學齡未滿者ヲ就學セシムルカ如キコトナキ様嚴重ニ取締ルヘシ

○學齡未滿兒童就學取締方ノ件

明治二十九年八月二十八日  
大分縣訓令第三十一號

文部省ニ於テ學齡未滿ノ兒童ヲ小學校ニ就學セシムルハ學校管理上ニ於テ不都合アルノミナラス兒童身神ノ發育上其害尠カラサルヲ認メ曩ニ學校衛生顧問ニ諮詢セラタルニ之ヲ嚴禁スルノ必要ナルコトヲ答申セルニ就テハ深ク注意シ學齡未滿者ヲ就學セシムルカ如キコトナキ様取締方訓令相成候ニ付自今嚴重取締ルヘシ

○學齡兒童就學及出席獎勵法

明治三十五年十二月廿六日  
訓令 學 第一八六二號

郡 役 所

第一條 郡長ハ毎月郡内各小學校兒童出席歩合比較表ヲ調製シ町村役場及小學校ニ配布シ全時ニ知事ニ報告スヘシ但シ本表ニハ各町村就學歩合ヲ記入スヘシ  
第二條 小學校ニ於テハ父兄懇話會、通俗教育講話會、教育品展覽會、兒童朗讀會、唱歌會又ハ幻燈會等ヲ開催シ家庭トノ連絡ヲ圖ルヘシ  
第三條 小學校教員ハ毎年二回以上兒童ノ家庭ヲ訪問シ其ノ狀況ヲ家庭訪問録ニ記入シ學校長ノ檢閲ヲ經ヘシ  
第四條 小學校ニ於テハ部落別學級別ノ出席歩合及個人ノ出席並ニ缺席日數ヲ調査シ適宜ノ方法ヲ以テ兒童ノ出席ヲ獎勵スヘシ  
第五條 小學校ニ於テハ土地ノ狀況ニヨリ兒童ノ組合ヲ設ケ出席獎勵ノ機關トナスヘシ  
第六條 貧困者ノ兒童ニハ町村ヨリ學用品及雨具等ヲ貸與セシムヘシ



第七條 就學歩合九十五以上ニシテ出席歩合九十二達シタルモノハ賞與ヲナスコトアルヘシ但シ就學歩合九十五ニ達セサルモ前年度ニ比シ著シク其ノ歩合増加シタルモノニ限リ特ニ賞與ヲナスコトアルヘシ

第八條 就學及出席獎勵ニ關シ功績顯著ナルモノアルトキハ特ニ賞與ヲナスコトアルヘシ

○學齡兒童就學事務取扱規程

明治三十五年十二月二十七日  
大分縣訓令第四十一號

郡役所 町村役場

第一條 町村長ハ毎年十二月二十日マテニ區長又ハ學務委員ヲシテ學齡兒童就學豫定表ノ材料ヲ調査セシムヘシ

第二條 町村長ハ毎年一月二十日マテニ學務委員ヲ招集シテ左ノ事項ヲ諮問スヘシ但シ同時ニ學務委員ニアラサル小學校長ノ意見ヲ聞クヘシ

一 設備ニ關スルコト

二 經費豫算ノ調製ニ關スルコト

三 特別教育ノ方法及其設備ニ關スルコト

第三條 郡長ハ郡吏員ヲシテ毎年一月六日ヨリ二月二十日マテニ各町村ニ就キ就學豫定表學齡簿及學籍簿ヲ戸籍簿及身分登記簿等ニ對照検査セシムヘシ

第四條 町村長ハ毎年二月二十日マテニ町村吏員區長又ハ學務委員ヲシテ其町村内ノ學齡兒童保護者ニ就キ兒童ノ就學屆書又ハ就學義務ノ猶豫若ハ免除ニ關スル願書ヲ徵セシムヘシ

第五條 町村長ハ毎年二月二十五日マテニ學務委員ヲ招集シテ學齡兒童就學義務ノ免除又ハ猶豫ニ關

シ其ノ意見ヲ聞クヘシ但シ同時ニ學務委員ニアラサル部内關係小學校長ノ意見ヲ聞クヘシ

第六條 町村長ハ毎年二月末日マテニ學齡兒童就學義務ノ免除又ハ猶豫ニ就キ郡長ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 町村長ハ毎年三月二十五日マテニ其ノ年四月ニ就學スヘキ學齡兒童中就學義務ノ免除若ハ猶豫ヲ許ササル、モノノ保護者ニ對シ其旨ヲ通知スヘシ

第八條 町村長ハ毎年四月一日ヨリ皆就學ニ至ルマテ町村吏員又ハ學務委員ヲシテ毎日部内尋常小學校ニ就キ就學スヘキ學齡兒童就學ノ有無ヲ取調ヘ就學ノ督促ヲ爲サシメ仍就學セサルモノアルトキハ其旨町村長ニ報告セシムヘシ

町村長ハ小學校令施行規則第九十三條ニヨリ二回ノ督促ヲ爲シ若シ之ニ應セサルトキハ直ニ郡長ニ報告スヘシ其就學シタルモノニシテ正當ノ事由ナク缺席シタルモノアルトキ亦同シ

第九條 郡長ハ毎年五月十日ヨリ六月十日マテニ町村長ヲ招集シ學齡兒童就學成績表、學齡簿、學籍簿、尋常小學校兒童出席簿及就學ニ關スル書類ヲ調査スヘシ

第十條 町村長ハ毎年十二月二十日マテニ翌年四月一日ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ學齡兒童ヲ調査シ學齡簿ヲ調製スヘシ

第十一條 郡長ハ毎年一月ヨリ四月ニ至ル期間ニ於テ郡吏員ヲシテ二回以上各町村ヲ巡視シ就學事務ヲ監督セシムヘシ

○就學兒童出席獎勵ノ件

明治三十六年二月廿五日  
大分縣訓令第十號

郡役所 町村役場



明治四十四年  
大分縣令第六  
十一號ヲ以テ  
尋常小學校特  
別學級規程廢  
止

本縣ノ就學歩合ハ年ヲ逐フテ増加シ最近ノ調査ニ依ルニ既ニ九十一人以上ニ達シタルモ之ヲ他府縣ニ比スレハ尙遜色ナシトセス依テ客年十二月以降小學校令施行細則ヲ改正シ且就學事務取扱規程並學齡兒童就學及出席獎勵法ヲ設定シ今又尋常小學校特別學級規程ヲ定メ專ラ義務教育普及ノ實ヲ擧ケンコトヲ期シタリ蓋シ就學督勵ノ事タル多數人ノ盡力ヲ待ツニアラサレハ其効果ヲ收ムルコト難キモノナルヲ以テ獨リ擔任吏員ノミニ委スルコトナク官民一致ノ上誠意誠心斯道ニ盡瘁セシムルコトヲ要ス而シテ特別學級規程ハ專ラ貧民子弟並年長兒童教育ノ爲ニ設ケタルモノナレハ正教科ノ如ク一定ノ規定ニ據ルコトナク勉メテ伸縮ノ餘地ヲ與ヘ兒童ヲシテ容易ニ就學ノ便宜ヲ得シメント期セリ故ニ其教授ハ時季ヲ限リ又ハ每週教授時數ヲ減ジ其終始ノ時刻ノ如キモ亦定時ニヨラスシテ父兄ノ業務ヲ察シ朝夕若ハ夜間ニ於テスルコトトシ適當ニ之カ實行ヲ爲ストキハ良効果ヲ奏スルコト信シテ疑ハサル所ナリ今ヤ新學年ノ開始モ目睫ニ切迫シ就學督勵ノ時季ニ該當スルヲ以テ郡及町村ニ於テハ事務ノ緩急ト土地ノ事情トヲ參酌シ此時機ヲ逸スルコトナク十分ニ盡力シ皆就學ニ至ラシメント期スヘシ又出席ノ狀況ヲ見ルニ其歩合就學ノ歩合ト常ニ逆比例ヲ爲シ其ノ最モ少キハ百中ノ五十二達セサルモノアリ是等ノ點ニ就キテハ深ク注意ヲ加ヘ少ナクトモ日々出席平均數ヲシテ百中九十以上ニ達セシメシコトヲ勉ムヘシ

○他府縣ヨリ轉入セシ學齡兒童ノ學籍ニ關シ回答方ノ件

明治四十一年四月三十日  
大分縣訓令第十三號  
町 村 役 場

他府縣在籍ノ學齡兒童中就學義務未了者本縣ニ轉住ノ爲メ本籍市町村長ヨリ學籍ヲ送付シ回答ヲ求メ來ルトキハ相當ノ手續ヲ爲シ速ニ回答スヘシ

○學齡兒童保護會規則標準

明治四十一年九月五日  
大分縣訓令第二十七號

郡役所 町村役場 小學校

近年本縣ニ於ケル學齡兒童ノ就學及出席ハ頗ル良好ノ成績ヲ現ハシ來ルモ貧家ノ子弟ニシテ尙不就學ノ境涯ニ在ル者尠カラズ殊ニ本年四月末ノ調査ニ依レバ前學年ニ於テ尋常小學校ヲ卒業シタル兒童ハ男八千九百七十三人女七千七百三十五人計一萬六千七百八十八人内第五學年ニ入學セシ者男七千六百八十四人女四千六百八十八人計一萬二千二百九十二人ニシテ其ノ百分比例男八十五人六分三厘女五十九人五分七厘男女七十三人五分七厘ニ過キズ是ニ由リテ考フレバ義務教育年限延長ノ爲一層不就學兒童ノ増加ヲ來スノ傾向アリ是等兒童ヲ保護シテ學用品ヲ給與シ又ハ貸與スル等務メテ其ノ就學及出席ヲ容易ナラシムルハ當ニ義務教育普及ノ本旨ヲ達スル上ニ於テ裨補スル所多大ナルノミナラズ郷黨隣保相扶ケ相憐ムノ美風良俗ヲ助長スルコト亦鮮少ナラザルヘシ

學齡兒童保護會規則標準

第一條 本會ハ家庭貧困ノ爲就學若クハ出席スルコト能ハサル學齡兒童ヲ保護シ就學並出席セシムルヲ以テ目的トス  
第二條 本會ハ町村内ノ篤志者ヲ以テ組織ス



第三條 本會ハ何々(町村又ハ大字等ノ地名)學齡兒童保護會ト稱シ事務所ヲ何所ニ置ク

第四條 本會ハ若干ノ役員ヲ置キ會務ヲ處理ス

第五條 役員ハ會員多數ノ意見ニ依リ之ヲ定ム

第六條 毎年一回乃至二回總會ヲ開キ左記ノ事項ヲ舉行ス

一、兒童保護實行ノ件

二、役員選定ノ件

三、會務報告ノ件

四、其他必要ノ事項

役員會ハ必要ニ應シ之ヲ開ク

第七條 第一條ノ目的ヲ達センカ爲兒童ニ學用品ヲ給與若クハ貸與ス

特別ノ事情アルモノニハ前項ノ外食料及被服料ヲ給與スルコトアルヘシ

第八條 前條ニ依リ給與又ハ貸與セラルヘキ者及給與又ハ貸與ノ程度ハ役員會ノ決議ニ依リテ之ヲ定メ總會ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第九條 本會ノ經費ハ會員ノ負擔及篤志者ノ寄附、公共團體ノ補助金等ヲ以テ之ニ充ツ

### ○小學校准教員養成規程

明治三十四年九月廿三日  
大分縣令第四十三號

#### 第一章 總 則

第一條 本令ハ郡ニ於テ尋常小學校准教員養成所ヲ設置維持スル場合ニ限り之ヲ適用ス

第二條 小學校教員養成所ヲ設置セントスルトキハ郡長ハ左ノ各號ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

一 名 稱

二 生徒定員

三 開校年月及修業期間

四 經費及維持ノ方法

五 校地及校舍ノ圖面

六 學 則

第三條 小學校教員養成所ヲ廢止セントスルトキハ生徒ノ處分方法ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

#### 第二章 修業期間、學科課程、教授時數及休業日

第四條 修業期間ハ一箇年以上トス(四十一年縣令第八號ヲ以テ本條中改正)

第五條 學科目其ノ程度及教科用圖書ハ尋常小學校准教員檢定試驗科目其程度及參考用圖書ニ依リ教授時數ハ每週三十時以上三十六時以下トス(四十一年縣令第八號ヲ以テ本條改正)

第六條 休業日ハ町村立小學校ノ例ニ依ル

#### 第三章 入學、退學及服務義務

第七條 入學志願者ハ身體健全、品行方正ニシテ修業年限二箇年ノ高等小學校ヲ卒業シタル者又ハ之

ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニ限ル(四十一年縣令第八號ヲ以テ本條改正)

第八條 入學及退學ハ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 小學校准教員養成所ヲ卒業シタル者ハ二年間其郡小學校教員タルノ義務ヲ負フ但シ私費生ニ

關シテハ郡長ハ便宜義務年限ヲ短縮スルコトヲ得(三十五年縣令第二十四號ヲ以テ但シ書追加)

第十條 學資金ノ貸附、給與及償還等ニ關スル規則ハ郡長ノ定ムル所ニ依ル



第十二條 小學校准教員養成所ノ生徒ハ授業料ヲ徴收セス

第四章 試驗

第十二條 各學科ノ滿點ハ一百トス

第十三條 卒業試驗ニ於テ各科四十點以上平均六十點以上ヲ得タル者ヲ及第トス

第十四條 卒業試驗ヲ行ハントスルトキハ郡長ハ試驗二十日前ニ試驗ヲ受クヘキ生徒ノ員數及試驗日

割ヲ具シ知事ニ開申スヘシ

第十五條 知事ハ小學校教員檢定委員又ハ其他ノ吏員ヲ派遣シテ卒業試驗ニ立會ヲ爲サシム但シ答案

ハ委員又ハ吏員ノ査閱ヲ經ヘシ

前項ノ委員又ハ吏員ニ於テ試驗ノ方法不適當ト認ムルトキハ之ヲ變更シ又ハ變更セシムルコトアル

ヘシ

第十六條 卒業試驗ハ小學校教員檢定委員會會長ノ送附シタル問題ニ依リ之ヲ行フヘシ

第十七條 (三十五年縣令第二十四號ヲ以テ削除)

第十八條 所長ハ卒業試驗ヲ受ケ及第シタル者アルトキハ其ノ族籍、氏名、生年月及採點表ヲ具シ遲

滯ナク知事ニ届出ツヘシ

第五章 職員

第十九條 小學校准教員養成所ニハ少クモ左ノ職員ヲ置キ郡長之ヲ任免ス

一所長

一教員

一書記

第二十條 所長ハ郡長自ラ之ニ當リ又ハ教員ヲ以テ之ニ充テ書記ハ郡吏員ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

ヘシ

第二十一條 教員中少クモ一人ハ小學校本科正教員免許狀又ハ師範學校教員免許狀ヲ有スルモノタル

ヘシ

第六章 懲戒

第二十二條 生徒ニシテ校則ヲ犯シタル者又ハ不良ノ行爲アル者ハ其輕重ニ從ヒ之ヲ懲戒ス

第二十三條 懲戒ヲ分チテ戒飭、謹慎、停學、放校ノ四種トス

第二十四條 本令施行ニ關スル細則ハ郡長之ヲ定ム

第二十五條 本令發布前ニ於テ小學校准教員養成所ヲ設置シタル郡ニ於テハ本令施行ノ日ヨリ二週間

以內ニ第二條ノ各號ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

○小學校教員免許狀褫奪處分ヲ受ケタル者所在不明ノ

場合ニ關スル件

明治四十一年六月十日  
大分縣訓令第二十二號

郡役所 警察署 町村役場

他ノ道廳府縣又ハ本縣ニ於テ小學校教員免許狀褫奪處分ヲ爲シタルモ本人所在不明ノ爲免許狀ノ褫奪

ヲ爲シ能ハサルトキハ自今其氏名ヲ本縣報彙報欄ニ掲載スヘキニ依リ本縣内ニ於テ所在發見シタルト

キハ該免許狀ヲ取付ケ當廳ニ差出スヘシ



○小學校教員檢定參考用書 明治四十一年十二月十五日  
大分縣告示第三百二十八號  
(小學校本科正教員ノ檢定參考用書ハ之ヲ定メス)

尋常小學校本科正教員ノ部

科目	書名	著者	發行所
修身	師範修身教科書 卷一、二	吉田 靜致	寶文館
修身	教育聖論 教本	湯原 元一	金港堂
教育	實用教育學提綱	小山左 文治	松邑三松堂
國語	師範國文教科書 卷一、二、三、四、五	吉田 彌平	光風館
算術	普通算術教科書 卷上、下	高木 貞治	開成館
歷史	中學本邦史略	下村三四吉	成美書店
歷史	日本歷史 上級用	新保 磐次	金港堂
地理	最近合帝國地理 師範學校用 近統合外國地理 師範學校用 最近統合外國地理 卷上、下全附圖	山上萬次郎	大日本圖書株式會社

第三編 普通教育

科目	書名	著者	發行所
普通	普通物理解	原田 長松	吉川半七
普通	普通化學附礦物	原田 長松	吉川半七
植物界	植物界新教科書	藤堂 忠次郎	全
動物界	動物界新教科書	後藤 嘉之	六盟館
生理衛生	生理衛生新教科書	全	全
圖書	圖書教科書 中學校第二級用 三冊	圖書教育會	鐘美堂
音樂	小學唱歌集 自一編 至三編	音樂學校	大日本圖書株式會社
音樂	小學唱歌 卷一、二、三、四、五、六	伊澤 修二	全
音樂	近世樂典教科書	田村 虎藏	開成館
音樂	オルガン教科書 卷一、二	全	同文館
(右ノ外適宜ノ書籍ニツキ進行ノ曲隨意ニ曲以上ヲ練習シ置クヲ可トス)			
體育ノ理論ト實際	井口アグリ	外五名	國光社
小學校体操教授細目	大分縣高等小學校長會	忠文堂	忠文堂
小學校体操教科書	可坪 兒井 玄 徳道	大日本圖書株式會社	大日本圖書株式會社



體

操

各	體	四十年改正草案 步兵操典	陸	陸	省厚	生	堂
個	操	軍刀ノ持方	武	陸	省全	堂	堂
各	教	練	武	軍	省全	堂	堂
個	範	內	武	省	省全	堂	堂
練	範	武	武	省	省全	堂	堂
內	全	武	武	省	省全	堂	堂
武	厚	武	武	省	省全	堂	堂
武	忠	武	武	省	省全	堂	堂
軍	文	武	武	省	省全	堂	堂
事	生	武	武	省	省全	堂	堂
教	堂	武	武	省	省全	堂	堂
育	堂	武	武	省	省全	堂	堂
會	堂	武	武	省	省全	堂	堂

右ノ外小學校國定教科書兒童用及教師用ハ各科目共ニ之ヲ加フ

小學校准教員ノ部

科

目

目	圖	書	名	著	譯	者	發	行	所
改	訂	小學	教授	法	大	戶	榮	吉	六
圖	畫	教科	書	中	學校	第二	級	用	圖
書	用	器	書	教科	書	（平	面	幾	何）
井	汲	陸	次	郎	金	港	堂	堂	堂

教

育

育	實	用	教	育	學	內	堀	維	文
師	範	修身	教科	書	勅	語	要	義	吉
田	靜	致	實	文	館	所	所	所	所

圖

書

圖	畫	教科	書	中	學校	第二	級	用	圖
井	汲	陸	次	郎	金	港	堂	堂	堂

其ノ他ハ總テ尋常小學校本科正教員ノ部ニ同シ

尋常小學校准教員ノ部

科

目

目	圖	書	名	著	譯	者	發	行	所
吉	田	靜	致	實	文	館	所	所	所

修

身

修	身	教科	書	勅	語	要	義	吉	田
實	用	教	育	學	內	堀	維	文	館

教

育

教	育	實	用	教	育	學	內	堀	維
實	業	教	科	研	究	組	合	館	所

國

語

國	語	中	等	教	育	明	治	讀	本
訂	正	卷	一	二	三	四	五	芳	賀
矢	一	富	山	房	館	所	所	所	所

算

術

算	術	普	通	教	科	書	卷	上	下
高	木	貞	治	開	成	館	所	所	所

地

理

地	理	最	統	合	帝	國	地	理	師
範	學	校	用	同	附	圖	山	上	萬
次	郎	大	日	本	圖	書	株	式	會
社	會	社	會	社	會	社	會	社	會

理

科

理	科	理	化	學	綱	要	倉	櫻	井
源	禮	四	郎	助	三	省	堂	堂	堂

圖

書

圖	畫	教科	書	中	學校	第一	年	級	用
三	冊	圖	畫	教	育	會	鐘	美	堂

體

操

體	操	小	學	校	體	操	教	授	細
目	目	大	分	縣	高	等	小	學	校
長	會	德	道	大	日	本	圖	書	株
式	會	社	會	社	會	社	會	社	會

各

個

各	個	教	練	內	武	武	軍	事	教
育	會	會	會	會	會	會	會	會	會

右ノ外小學校國定教科書兒童用及教師用ハ各科目共ニ之ヲ加フ



小學校專科正教員ノ部

科	科目	著者	發行所
圖 書	普通教育學	佐藤善治郎	同文館
	用器書教科書 <small>(自在畫ハ之ヲ定メス)</small>	井汲陸二郎	金港堂
	小學唱歌集 <small>自一至三編</small>	音樂學校	大日本圖書株式會社
	小學唱歌卷一、二、三、四、五、六	伊澤修二	全
	近世樂典教科書	田村虎藏	開成館
	オルガン教科書卷一、二	全	同文館
	<small>(右ノ外適宜ノ書籍ニツキ進行ノ曲隨意ニ曲以上ヲ練習シ置テ可トス)</small>		
	體育ノ理論及實際	井口・アグ 外五名	國光社
	小學校体操教科書	坪井 兒立	大日本圖書株式會社
	小學校体操教授細目	大分縣高等小學校長會	忠文堂
四十年改正草案 第一部及附錄 步兵操典 軍刀ノ持方	陸軍省	厚生堂	
體操	全	全	

第三編 普通教育

裁縫	手工	農業	農藝化學
各個教練	武內	武	軍事教育會
再訂裁縫教授書	谷田部	順	目黒書房
裁縫教科書 卷上、下	全	全	全
小學校裁縫教科書 教師用	谷田部	目黒	美書房
裁縫教科書 卷一、二、三	渡邊辰五郎	東京裁縫女學校	全
小學校に手工教授の理論及實際 於ける	岡山	寶文館	全
手工科教授書	棚橋源太	寶文館	全
農業原論	横井時敬	東洋文社	全
修正林學教科書	佐々木祐太郎	興文社	全
修正果樹栽培教科書	本多靜六	學海指針社	全
修正果樹栽培教科書	大脇正諄	六	全
蔬菜栽培教科書	全	全	全
最新農具論	明峯政夫	全	全
實用昆蟲學	小貫信太郎	成美	堂
農藝化學實驗法	澤村真興	文	社



農作物病學教科書	堀 正太郎	成 美堂
農業教育ノ實施法	廣 瀨 益 見 忠	文 忠 堂
ナショナル 第一、二、三、四、五	齊 藤 秀 三 郎	興 文 社
イングリッシュ、ランゲージ、ブリー	齊 藤 秀 三 郎	興 文 社
マ	齊 藤 秀 三 郎	興 文 社
ブラクテイカル、イングリッシュ	齊 藤 秀 三 郎	興 文 社
、レックス	齊 藤 秀 三 郎	興 文 社
テクストブック、ラブ、イングリ	齊 藤 秀 三 郎	興 文 社
ツシユ、グラムマ	齊 藤 秀 三 郎	興 文 社
英 語	齊 藤 秀 三 郎	興 文 社
發 音 學 大 綱	岡 倉 由 三 郎	三 省 堂
各科教授法精義(英語ノ部)	森 岡 常 藏	同 文 館

○私立留心學舎及私立習說校ノ卒業生ニ對シ小學校教員無試驗檢  
定ヲ行フノ件 明治四十三年十一月十五日 大分縣告示第三百八十一號

大分縣下毛郡中津町私立留心學舎教員養成部及大分縣西國東郡田原村私立習說校准教員養成科優等卒業者(明治四十四年三月以後卒業シタル者ニ限ル)ニ對シ小學校令施行規則第七條第一項第六號ニ依リ尋常小學校准教員ノ無試驗檢定ヲ行フ

○小學校教員心得 明治十四年六月十八日 文部省達第十九號

小學校教員心得別冊ノ通相定候條右旨趣ニ基キ懇篤教誨ヲ加ヘ教員ノ本分ヲ誤ラシメサル様可致此旨相達候事 (別冊)

小學校教員心得

小學教員ノ良否ハ普通教育ノ弛張ニ關シ普通教育ノ弛張ハ國家ノ隆替ニ係ル其任タル重且大ナリト謂フヘシ今夫小學教員其人ヲ得テ普通教育ノ目的ヲ達シ人々ヲシテ身ヲ修メ業ニ就カシムルニアラスンハ何ニ由テカ尊

王愛國ノ志氣ヲ振起シ風俗ヲシテ淳美ナラシメ民生ヲシテ富厚ナラシメ以テ國家ノ安寧福祉ヲ増進スルヲ得ンヤ小學教員タル者宜ク深ク此ノ意ヲ體スヘキナリ因テ其恪守實踐スヘキ要款ヲ左ニ揭示ス苟モ小學教員ノ職ニ在ル者夙夜匪懈服膺シテ忽忘スルコト勿レ

一人ヲ導キテ良善ナラシムルハ多識ナラシムルニ比スレハ更ニ緊要ナリトス故ニ教員タル者ハ殊ニ道德ノ教育ニ力ヲ用ヒ生徒ヲシテ

皇室ニ忠ニシテ國家ヲ愛シ父母ニ孝ニシテ長上ヲ敬シ朋友ニ信ニシテ卑幼ヲ慈シ及自己ヲ重ンスル等凡テ人倫ノ大道ニ通曉セシメ且常ニ己カ身ヲ以テ之カ模範トナリ生徒ヲシテ德性ニ薰染シ善行ニ感化セシメンコトヲ務ムヘシ

一 智心教育ノ目的ハ專ラ人々ヲシテ智識ヲ廣メ材能ヲ長シ以テ其本分ヲ盡スニ適當ナラシムルニ在リ豈徒ニ聲名ヲ博取シ奇功ヲ貪求セシメンカ爲メナランヤ故ニ教員タル者ハ宜ク此旨ヲ體認シ以テ生徒智心上ノ教育ニ從事スヘシ